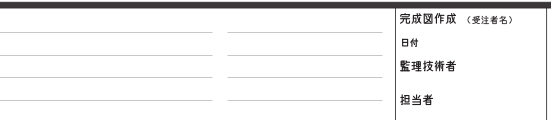


ゲート表示 S=1/10(A1)

EV内サイン $S=1/10(A1)$ 観客席 案内表示 $S=1/10(A1)$ 

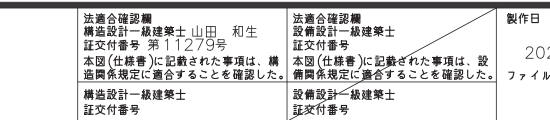
受付サイン $S=1/10、1/40(A1)$



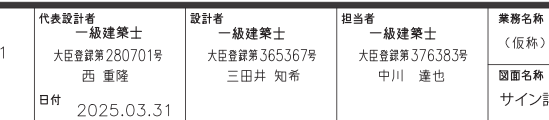
観客席 ブロック表示 S=1/5、1/20(A1)



ランニング走路用床m表示



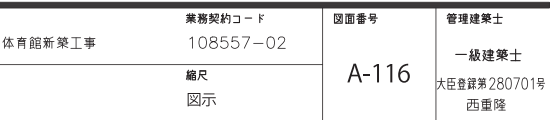
揭示板 S=1/20(A1)

$$S=1/10, 1/100(A1)$$


利用案内サイン $S=1/10(A1)$



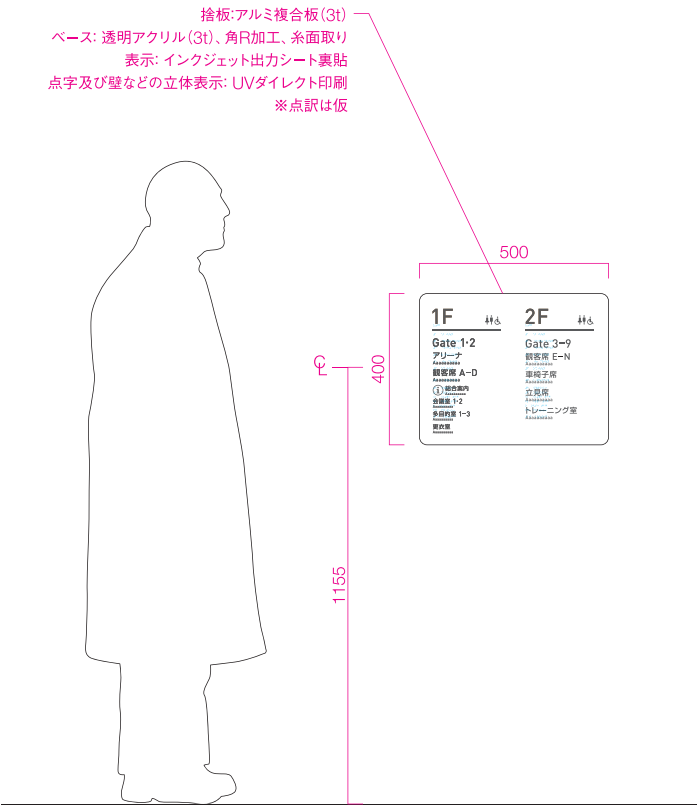
衝突防止サイン $S=1/10(A1)$



Sign_35

点字フロアリスト S=1/10(A1)

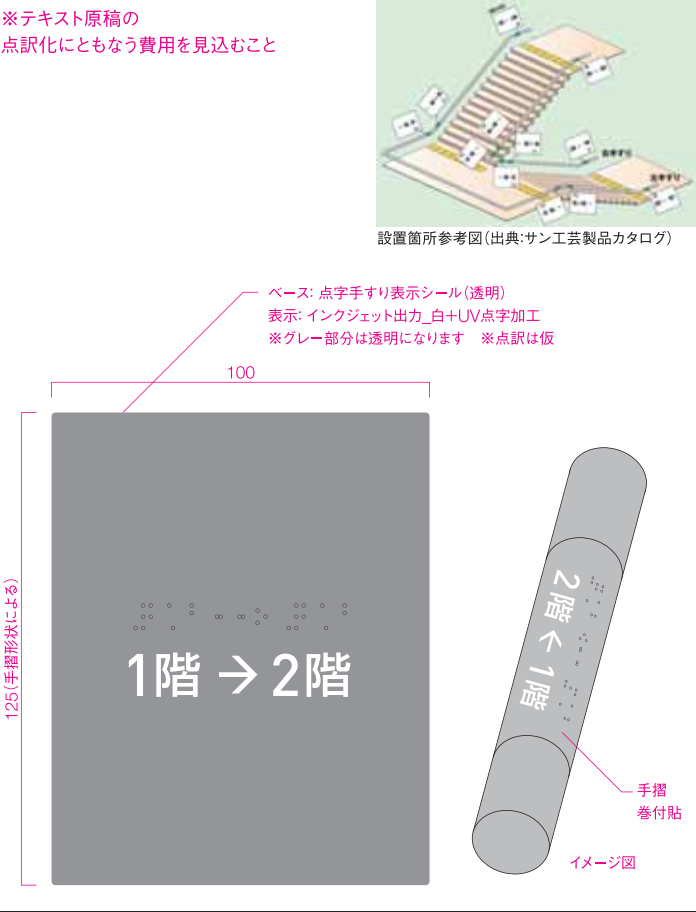
※テキスト原稿の点訳化にともなう費用を見込むこと



Sign_36

階段手すり点字 S=1/1(A1)

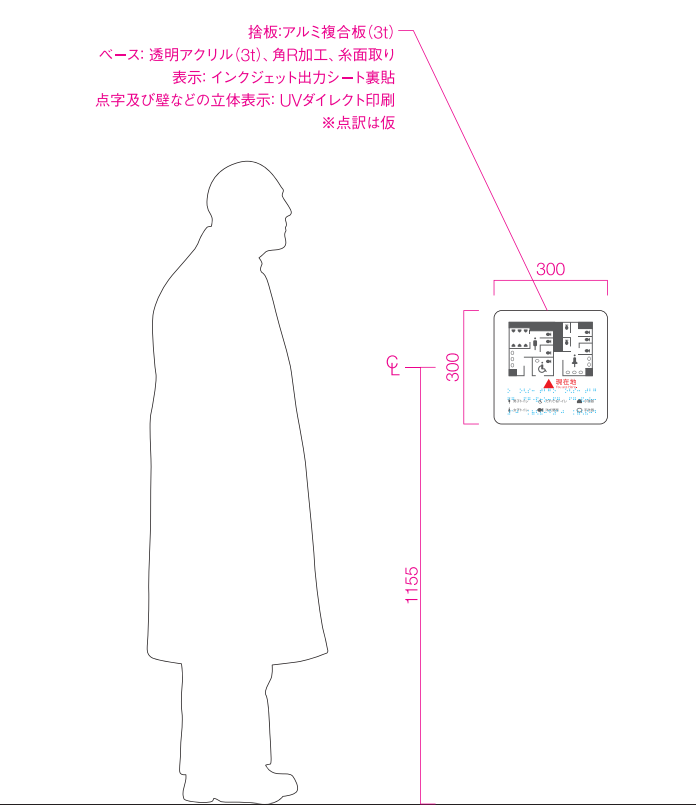
※テキスト原稿の点訳化にともなう費用を見込むこと



Sign_37

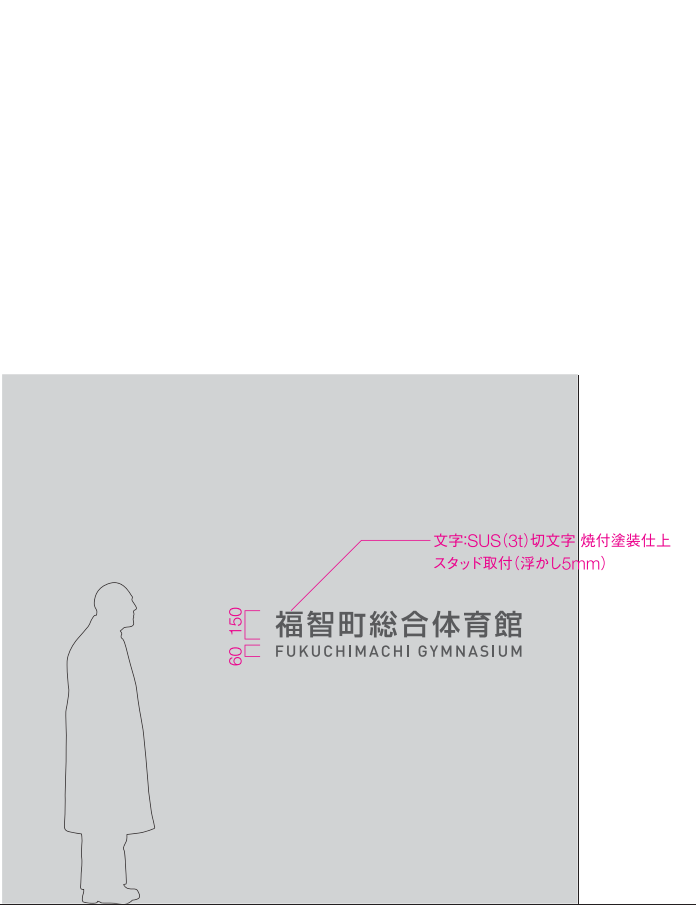
トイレ触地図 S=1/10(A1)

※テキスト原稿の点訳化にともなう費用を見込むこと



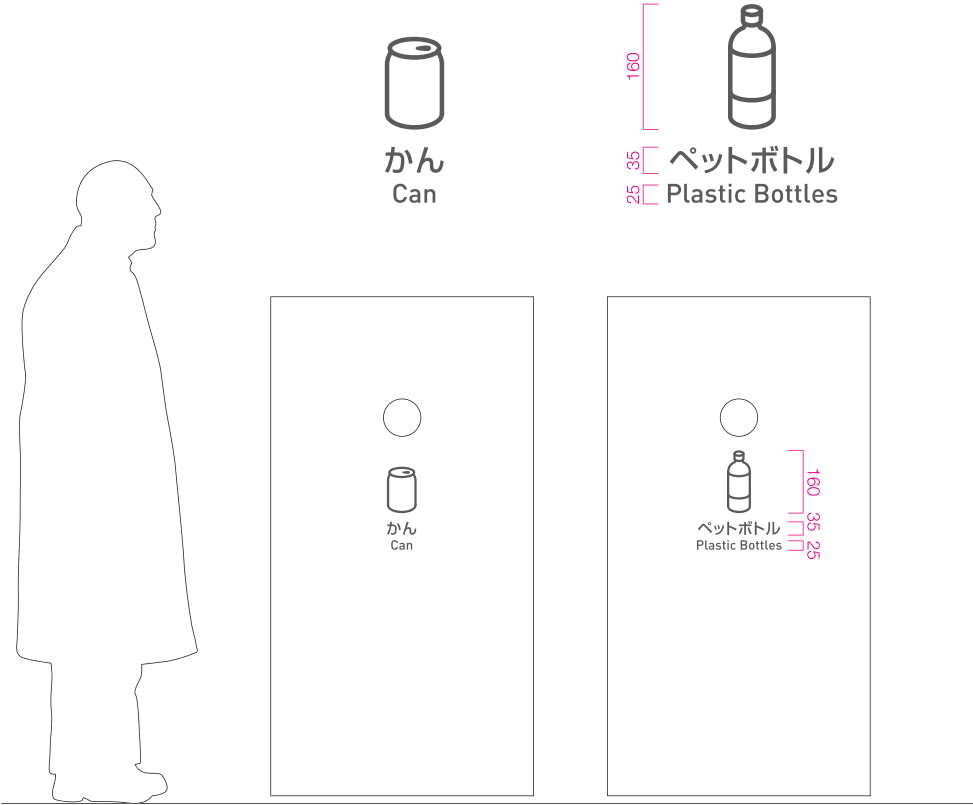
Sign_38

施設名称サイン S=1/10(A1)



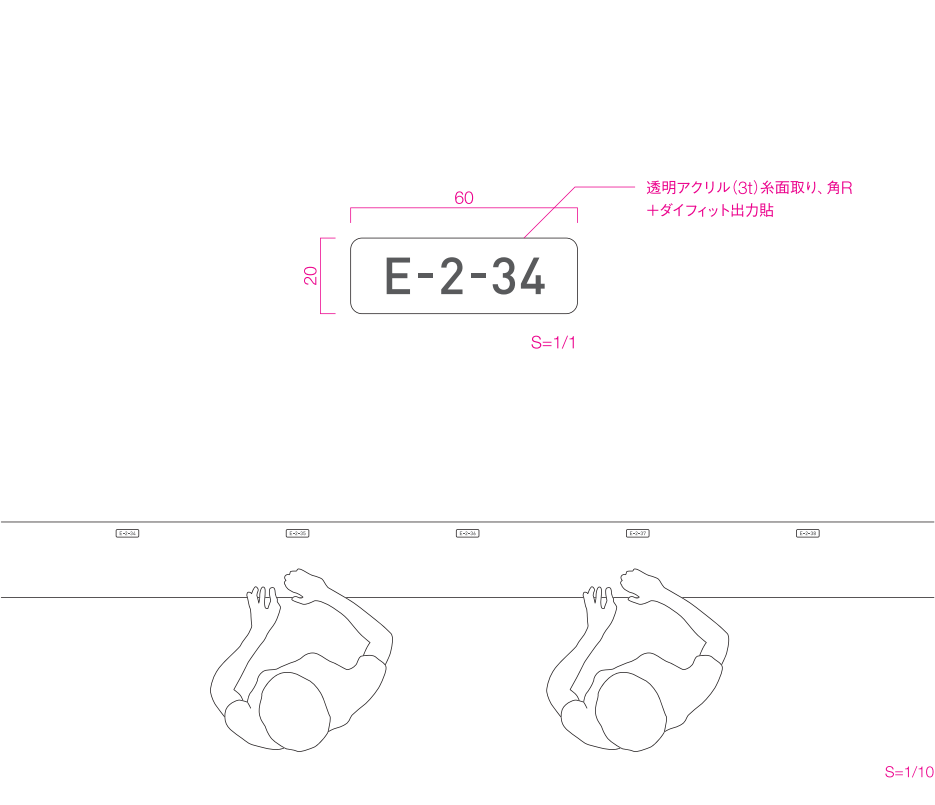
Sign_39

ゴミ箱サイン S=1/10(A1)



Sign_41

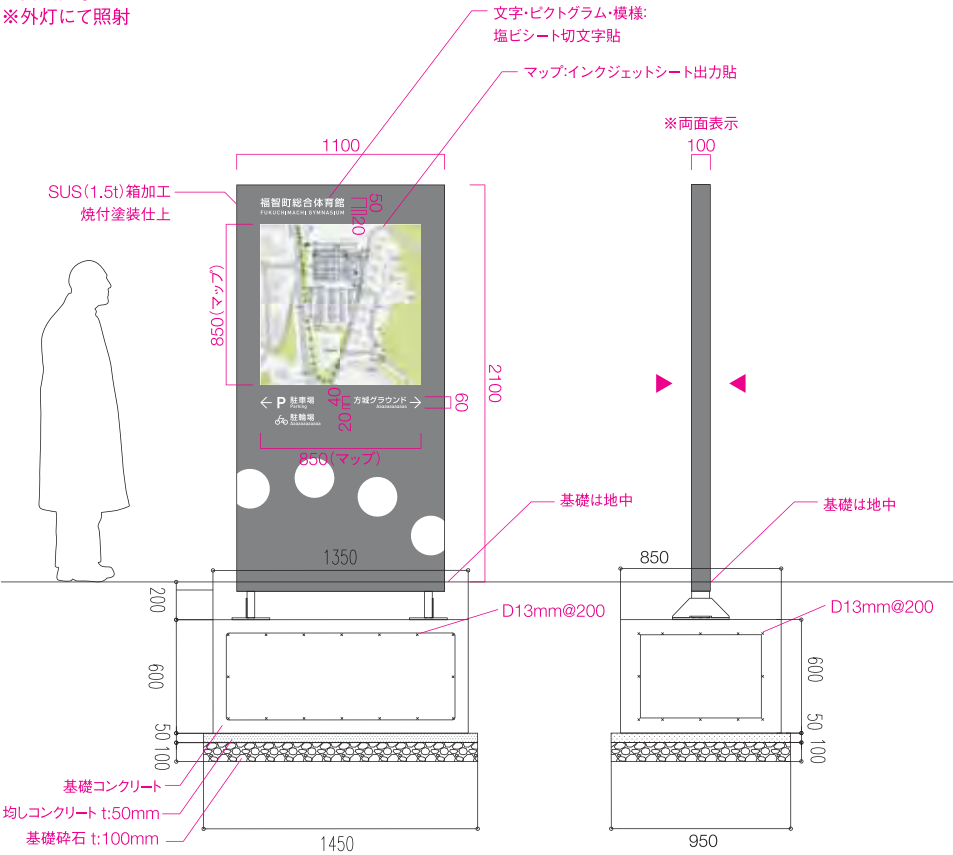
立見席サイン S=1/1、1/10(A1)



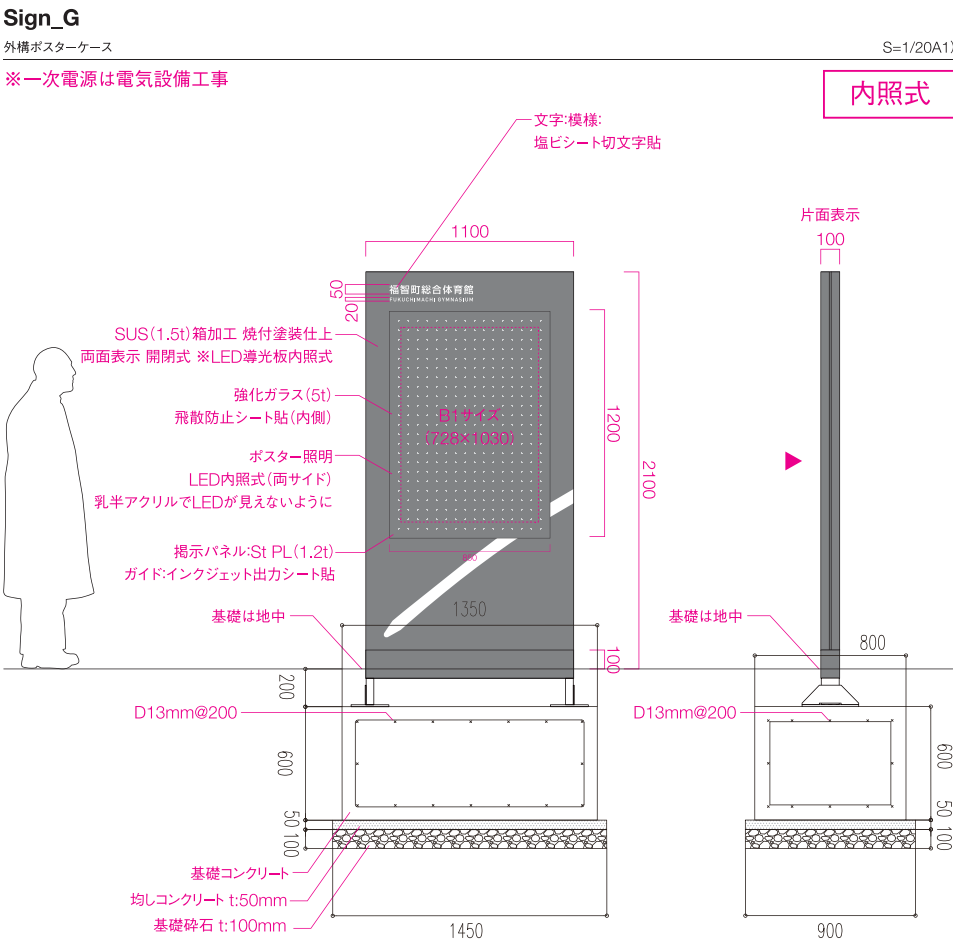
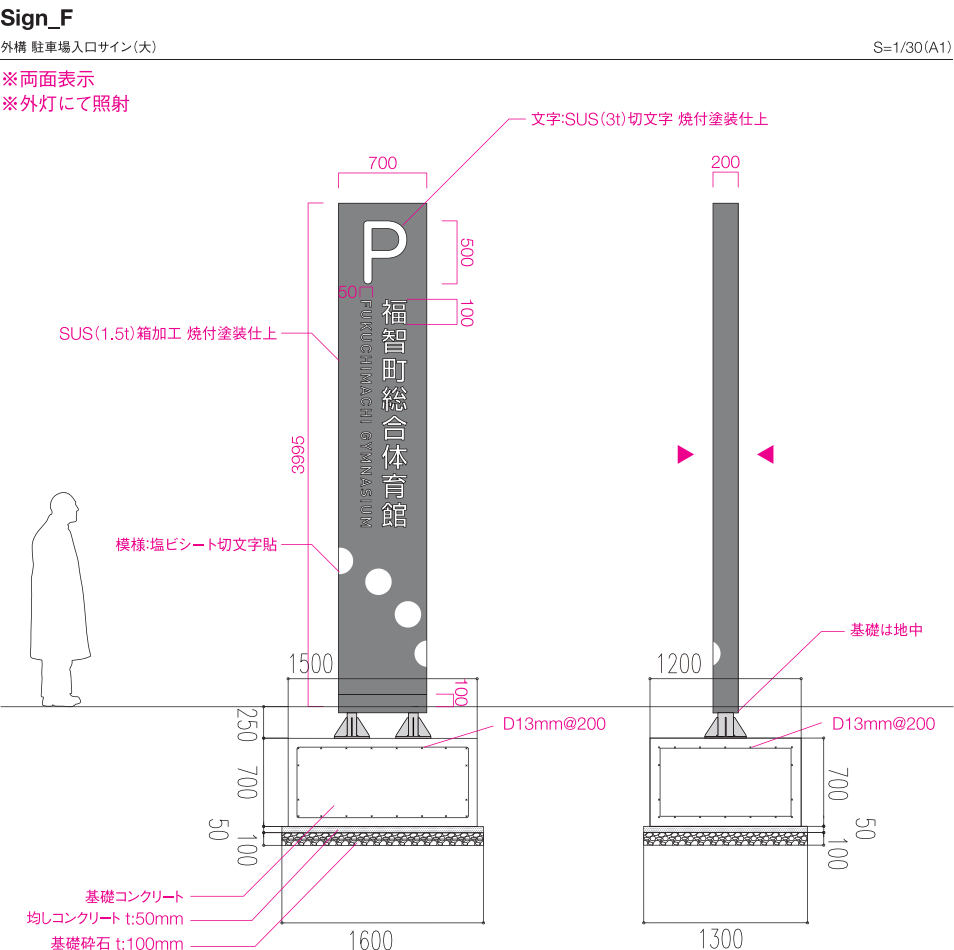
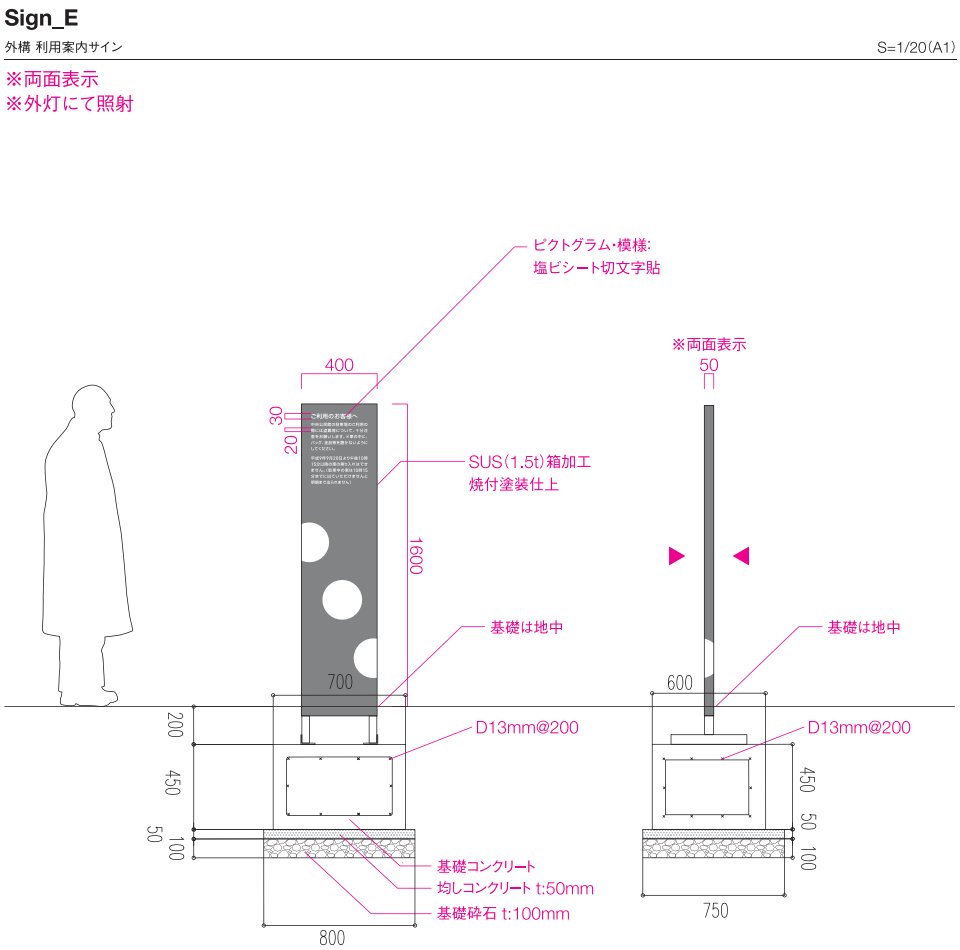
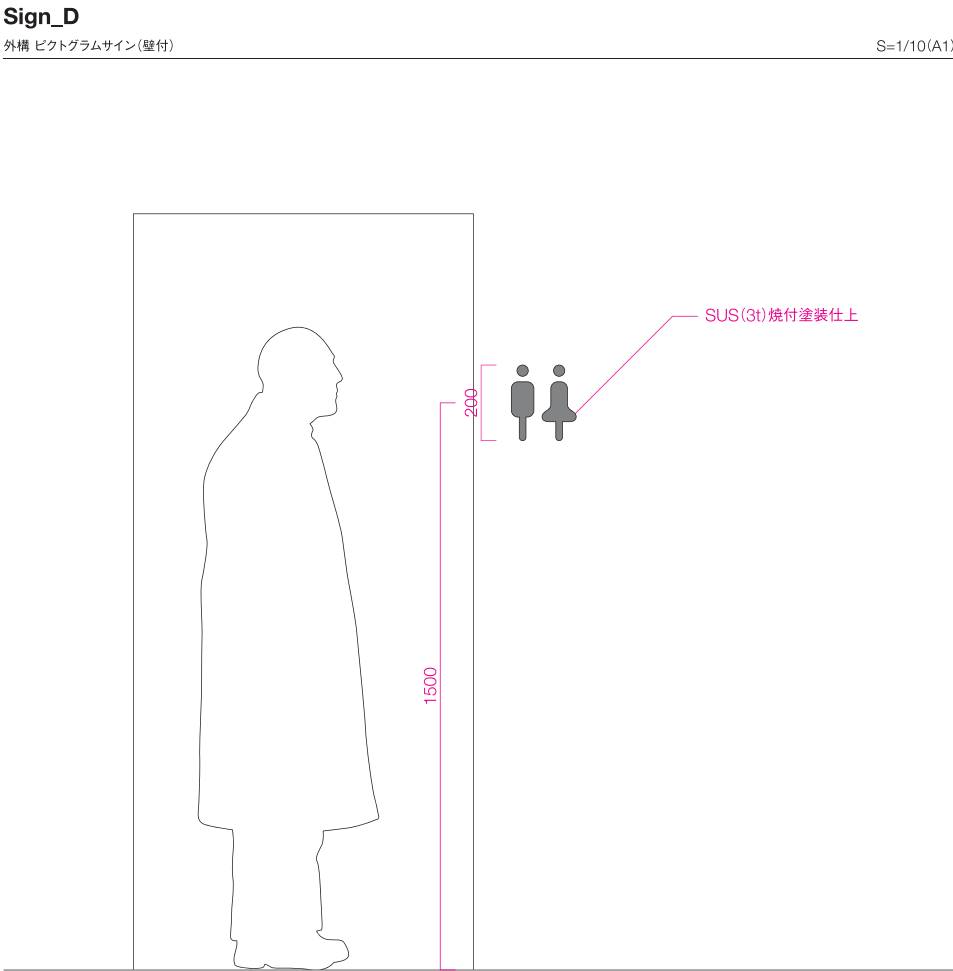
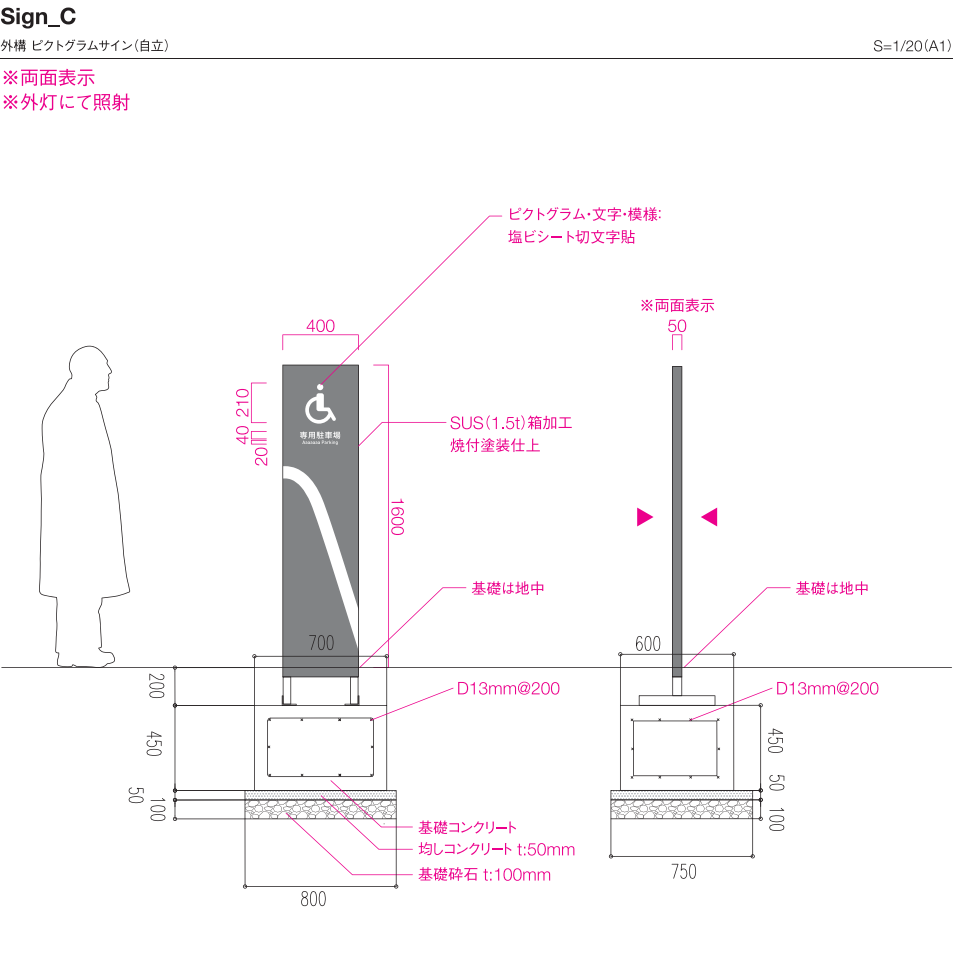
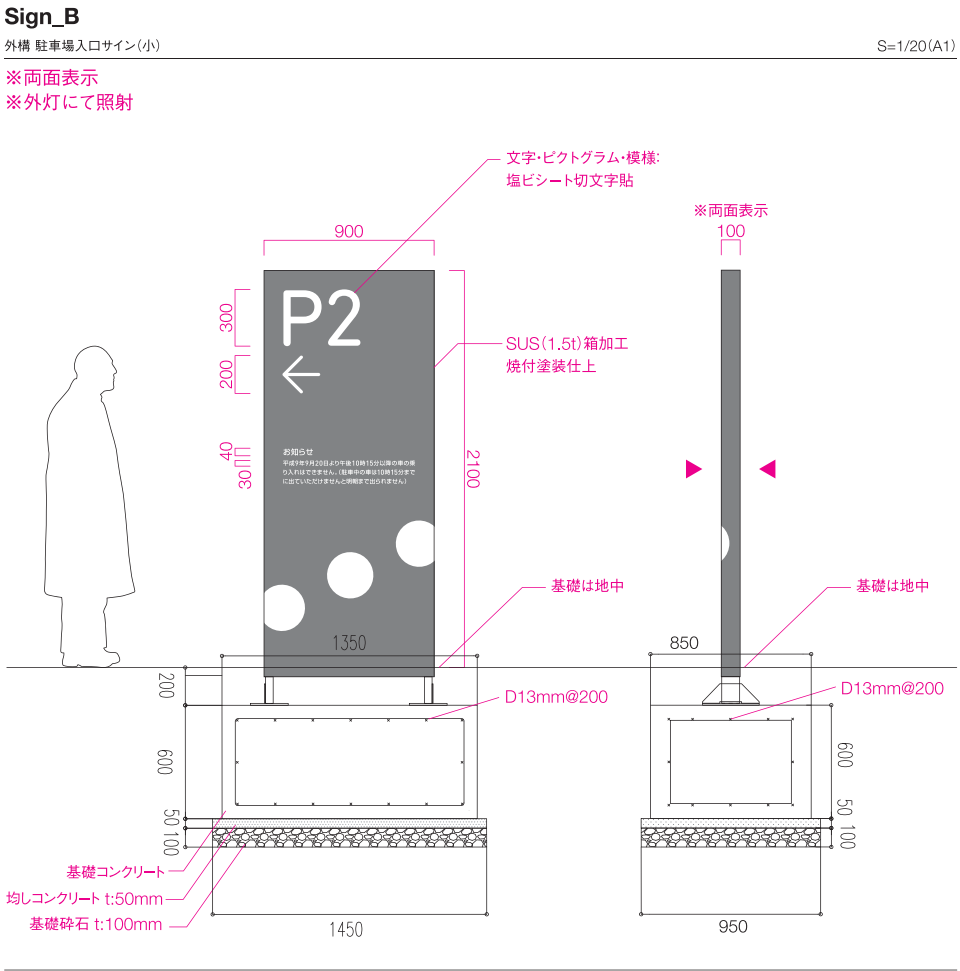
Sign_A

外構 総合案内サイン S=1/20(A1)

※両面表示
※外灯にて照射



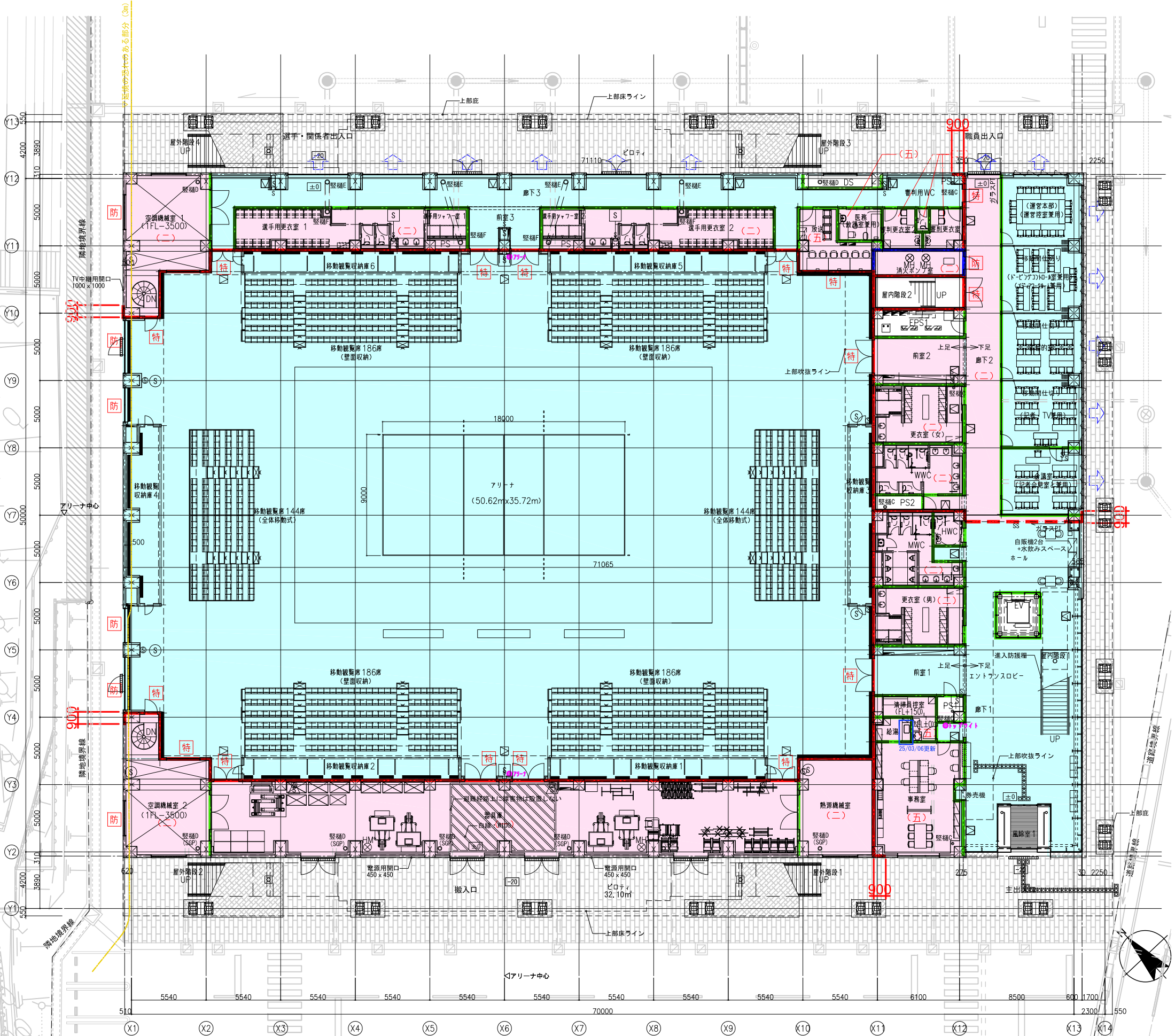
 石本建築事務所 ISHIMOTO architectural & engineering firm, inc.	履歴	完成図作成 (受注者名)		完成図承諾		法適合確認 構造設計一級建築士 山田 和生 証交付番号 第 11279号 本図(仕様書)に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。	法適合確認 設備設計一級建築士 証交付番号 本図(仕様書)に記載された事項は、設備関係規定に適合することを確認した。	製作日 2025.03.31 ファイル名	代表設計者 一級建築士 大臣登録第280701号 西 重隆 日付 2025.03.31	設計者 一級建築士 大臣登録第365367号 三田井 知希	担当者 一級建築士 大臣登録第376383号 中川 達也	業務名称 (仮称) 福智町総合体育館新築工事 図面名称 サイン詳細図-5	業務契約コード 108557-02 縮尺 図示	図面番号 A-118	管理建築士 一級建築士 大臣登録第280701号 西重隆
		日付		日付											
		監理技術者		監理者											
		ver.20221201		担当者											



 石本建築事務所 ISHIMOTO architectural & engineering firm, inc.	履歴 _____ _____ _____ ver.20221201	完成図作成 (受注者名)	完成図承諾	法適合確認欄 構造設計一級建築士 山田 和生 証文付番号 第 11279号	法適合確認欄 設備設計一級建築士 証文付番号	製作日 2025.03.31 ファイル名	代表設計者 一級建築士 大臣登録第280701号 西 重隆 日付 2025.03.31	設計者 一級建築士 大臣登録第365367号 三田井 知希	担当者 一級建築士 大臣登録第376383号 中川 達也	業務名称 (仮称) 福智町総合体育館新築工事 図面名称 サイン詳細図-6	業務契約コード 108557-02 縮尺 図示	図面番号 A-119	管理建築士 一級建築士 大臣登録第280701号 西重隆
		日付	日付	証文付番号 第 11279号	証文付番号								
		監理技術者	監理者	構造設計一級建築士 山田 和生 証文付番号 第 11279号	設備設計一級建築士 証文付番号								
		担当者	担当者	構造設計一級建築士 証文付番号	設備設計一級建築士 証文付番号								

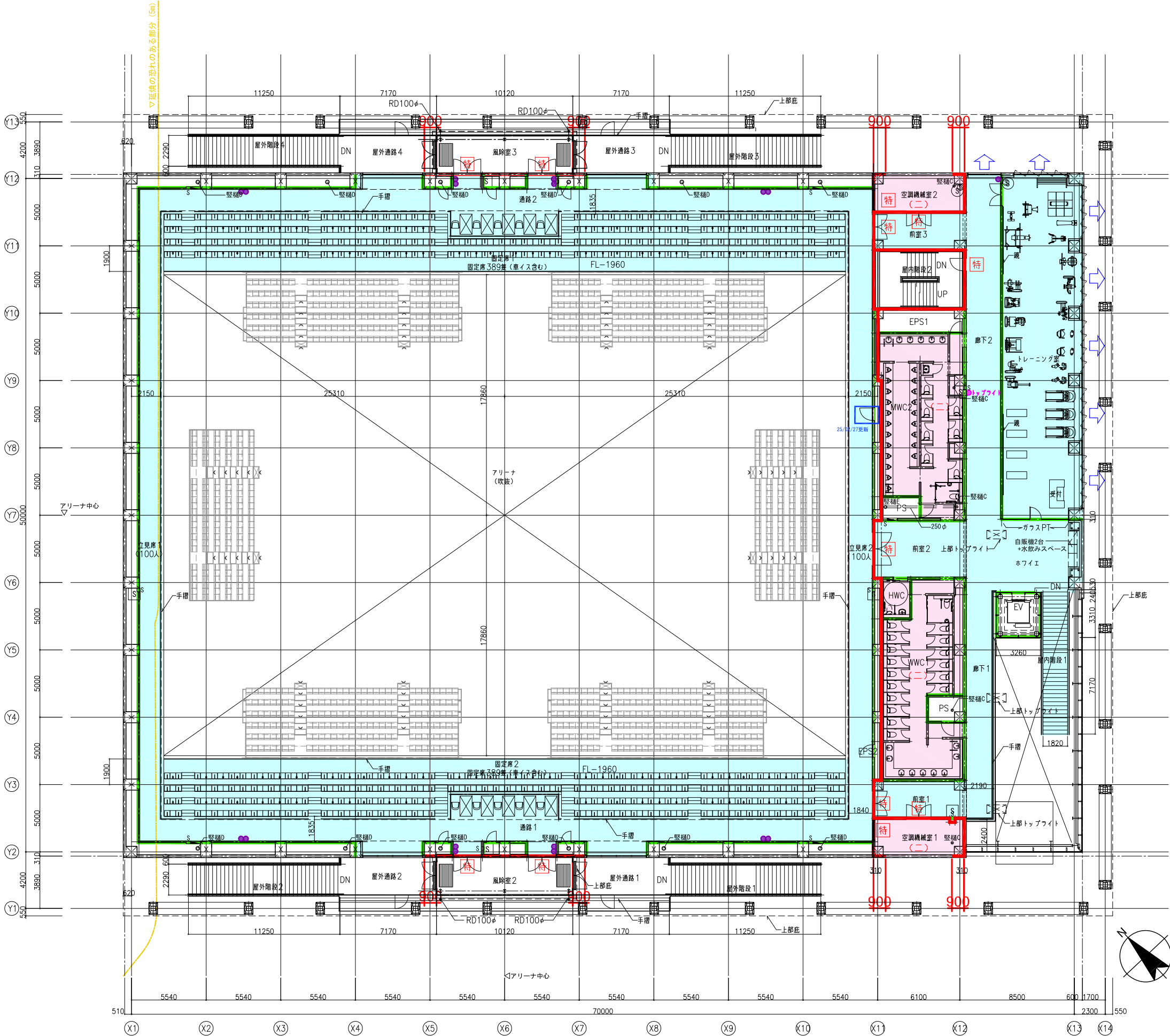
屋内階段 1	
路面：300mm以上	
蹴上：160mm以下	
幅員：1,500mm以上	
踊場幅：1,400mm以上	
踊場路幅：1,200mm以上	
手摺：1,100mm以上	
屋内階段 2	
(1～2階)	(2～PH階)
路面：260mm以上	路面：210mm以上
蹴上：180mm以下	蹴上：220mm以下
幅員：1,400mm以上	幅員：750mm以上
踊場幅：1,400mm以上	踊場幅：750mm以上
手摺：1,100mm以上	手摺：1,100mm以上
屋外階段 1・2・3・4	
路面：260mm以上	
蹴上：180mm以下	
幅員：1,400mm以上	
踊場幅：1,400mm以上	
踊場路幅：1,200mm以上	
手摺：1,100mm以上	
移動観覧席・固定席 段床	
段幅：800mm以上	
段高：500mm以下	
通路高低差：3,000mm以下	

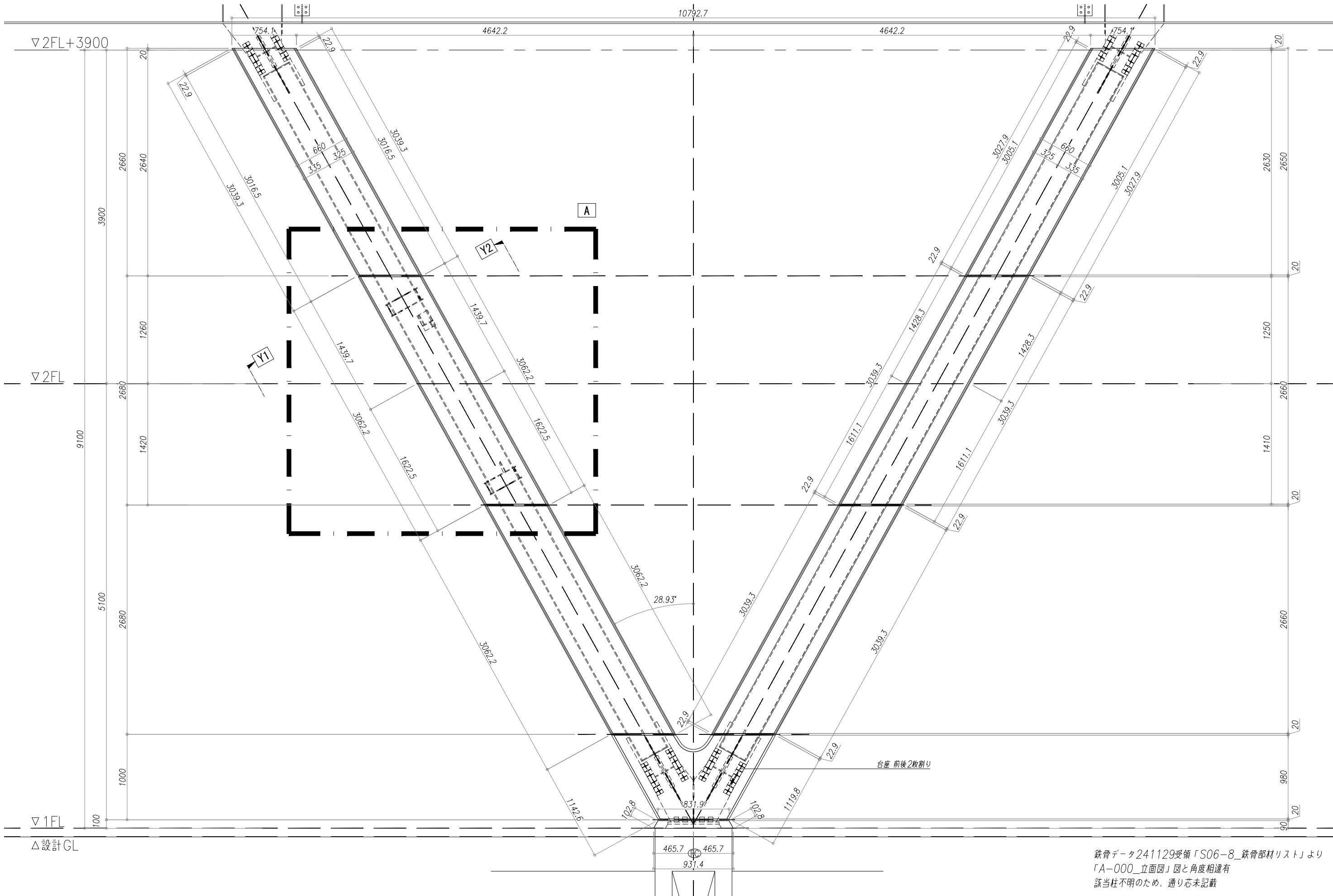
凡例	
赤	防火区画（令112条）乾式耐火遮音間仕切
緑	防煙区画（間仕切壁）（不燃）垂れ壁H500以上
黄	延焼の恐れのある部分
青	消防法施行規則 第12条1項四号(二)（不燃）（防火設備）
(二) ピンク	H12建設省告示1436-4へ(二)による排煙免除（100㎡以内とする）
(五) ピンク	H12建設省告示1436-4へ(五)による排煙免除（100㎡以内とする）
(一) 水色	H12建設省告示1436-4へ(一)による排煙免除
水色	自然排煙 ↑ 排煙方向
特	常時閉鎖式特定防火設備
特	常時閉鎖式・遮煙性能を有する特定防火設備（令112条第19項の二）
防	常時閉鎖式防火設備
S	消火器ボックス 埋込型
S	消火器ボックス 床置型
△	大型消火器 床置型
●	排煙口手動開放装置 床面から0.8m以上、1.5m以下
●	排煙口電動開放装置（ステンレス化龍プレート付き）床面から0.8m以上、1.5m以下



屋内階段 1	
路面：300mm以上	
蹴上：160mm以下	
幅員：1,500mm以上	
踊場幅：1,400mm以上	
踊場路幅：1,200mm以上	
手摺：1,100mm以上	
屋内階段 2	
(1～2階)	(2～PH階)
路面：260mm以上	路面：210mm以上
蹴上：180mm以下	蹴上：220mm以下
幅員：1,400mm以上	幅員：750mm以上
踊場幅：1,400mm以上	踊場幅：750mm以上
手摺：1,100mm以上	手摺：1,100mm以上
屋外階段 1・2・3・4	
路面：260mm以上	
蹴上：180mm以下	
幅員：1,400mm以上	
踊場幅：1,400mm以上	
踊場路幅：1,200mm以上	
手摺：1,100mm以上	
移動観覧席・固定席 段床	
段幅：800mm以上	
段高：500mm以下	
通路高低差：3,000mm以下	

凡例	
赤	防火区画（令112条）乾式耐火遮音間仕切
緑	防煙区画（間仕切壁）（不燃）垂れ壁H500以上
黄	延焼の恐れのある部分
青	消防法施行規則 第12条1項四号(二)（不燃）(防火設備)
(二) ピンク	H12建設省告示1436-4-へ(二)による排煙免除（100㎡以内とする）
(五) ピンク	H12建設省告示1436-4-へ(五)による排煙免除（100㎡以内とする）
(一) 水色	H12建設省告示1436-4-へ(一)による排煙免除
水色	自然排煙 ↑ 排煙方向
特	常時閉鎖式特定防火設備
特	常時閉鎖式・遮煙性能を有する特定防火設備（令112条第19項の二）
防	常時閉鎖式防火設備
S	消火器ボックス 埋込型
S	消火器ボックス 床置型
A	大型消火器 床置型
●	排煙口 手動開放装置 床面から0.8m以上、1.5m以下
●	排煙口 電動開閉装置（ステンレス化龍プレート付き）床面から0.8m以上、1.5m以下





(裏面側)

(正面側)

Y1 矢視図

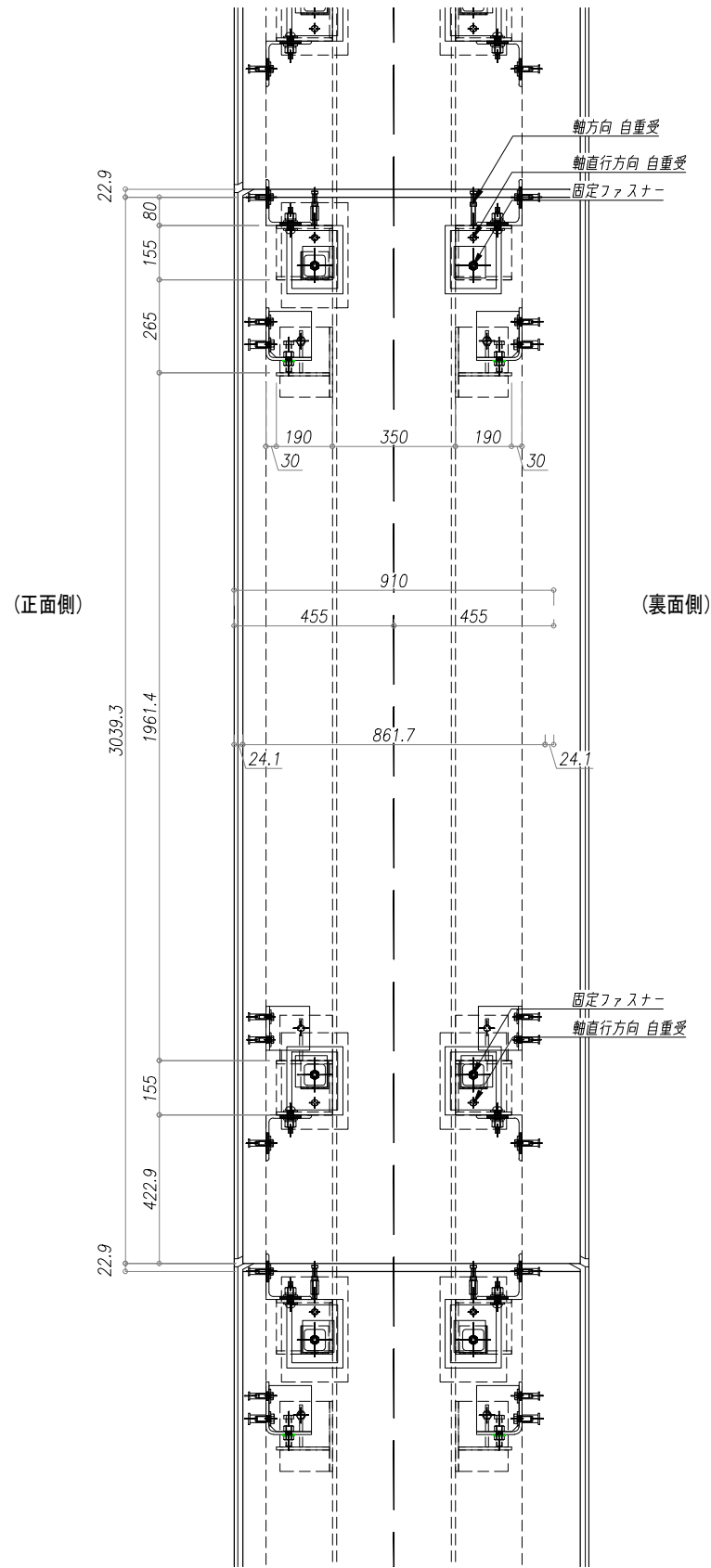
A部 詳細図

(正面側)

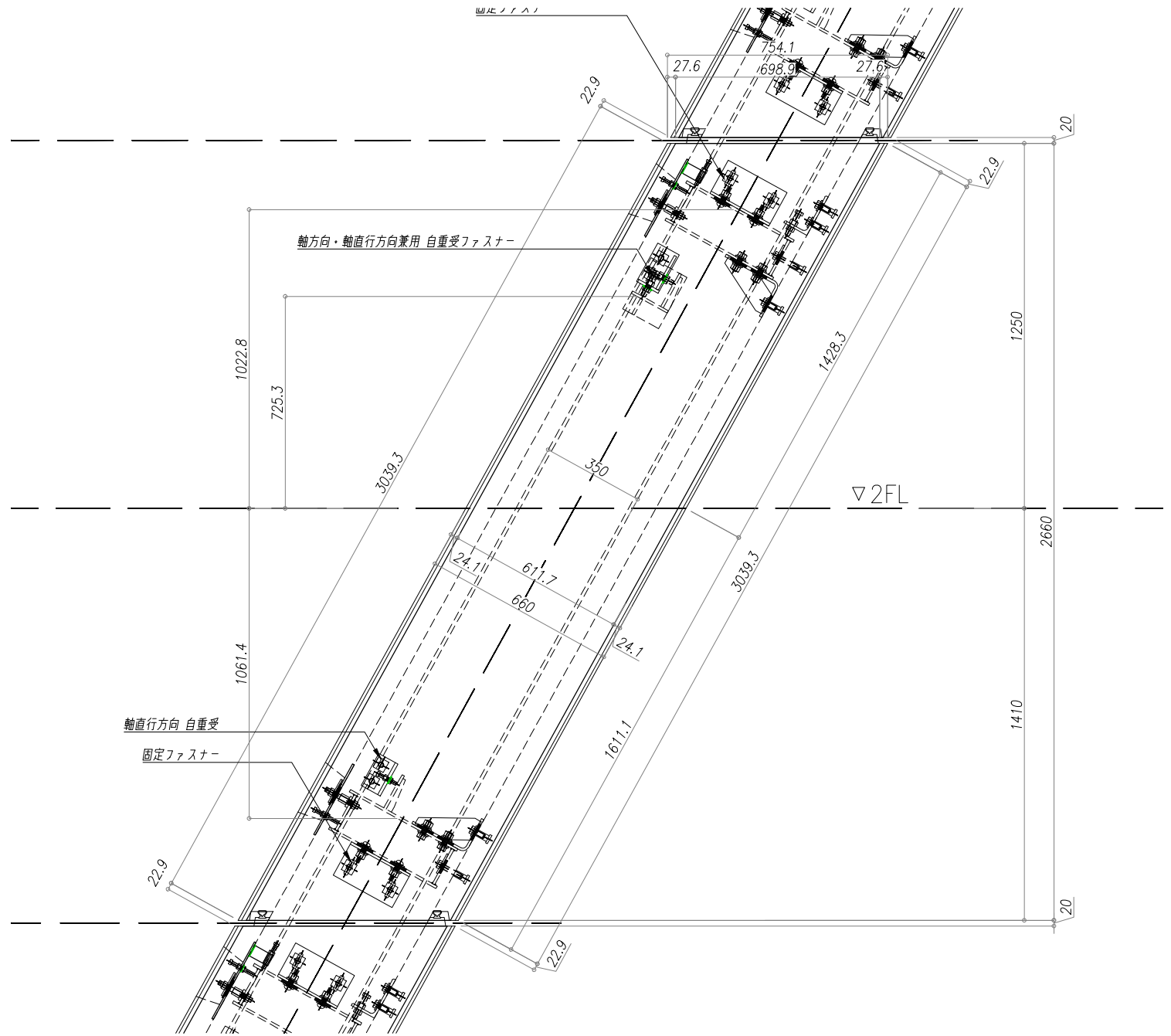
X1 断面図

X2 断面図

X3 断面図

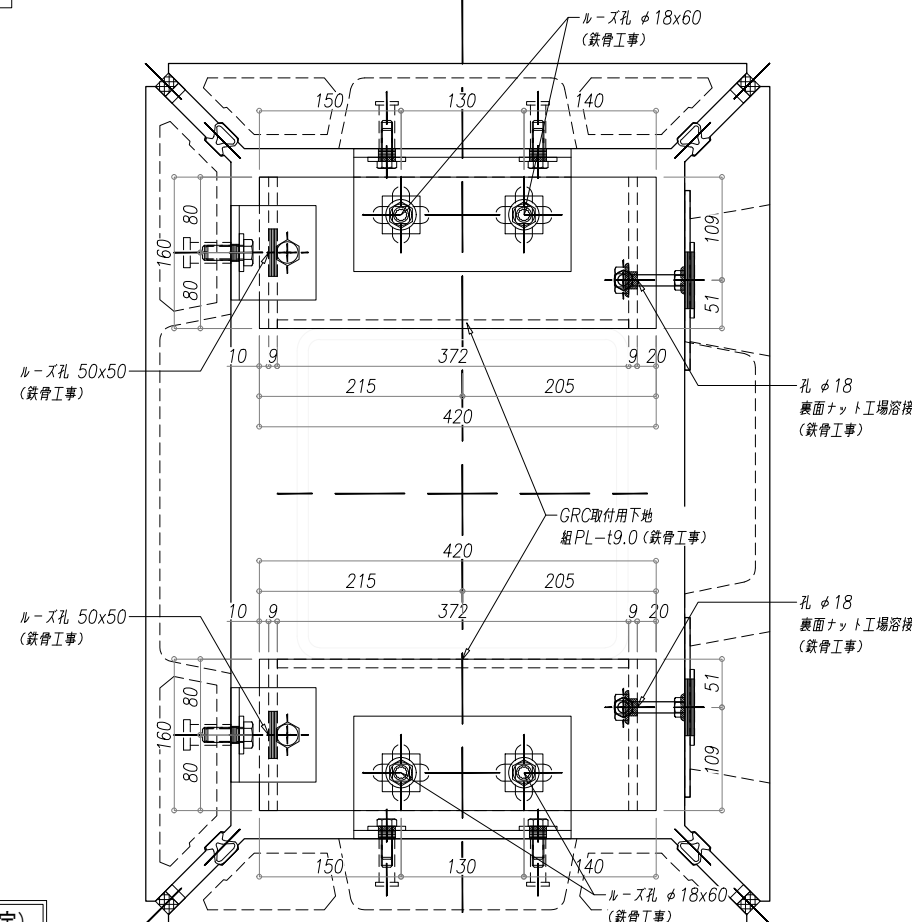


Y2 矢視図

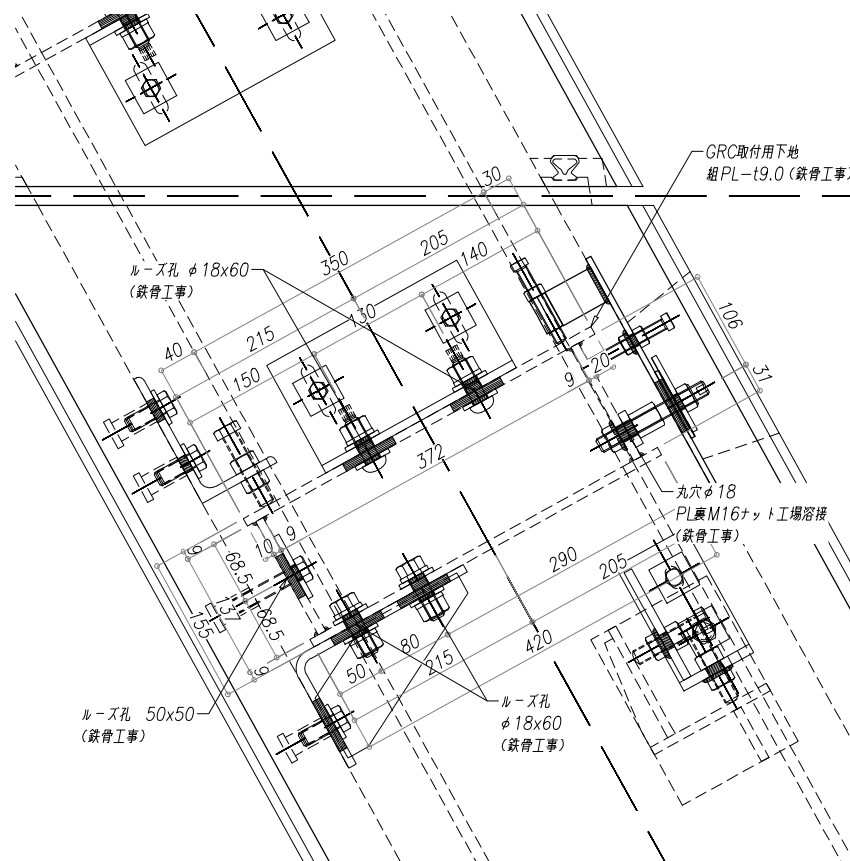
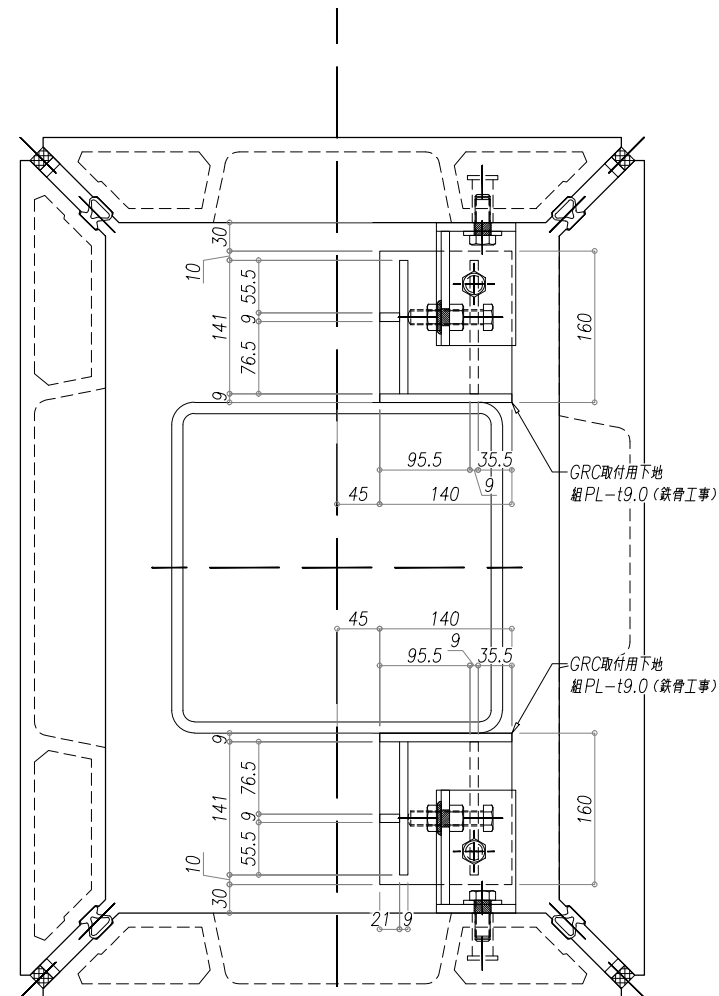
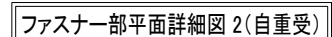


B部 矢視図

(裏面側)

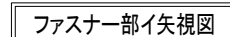


ファスナー部平面詳細図 1 (固定)

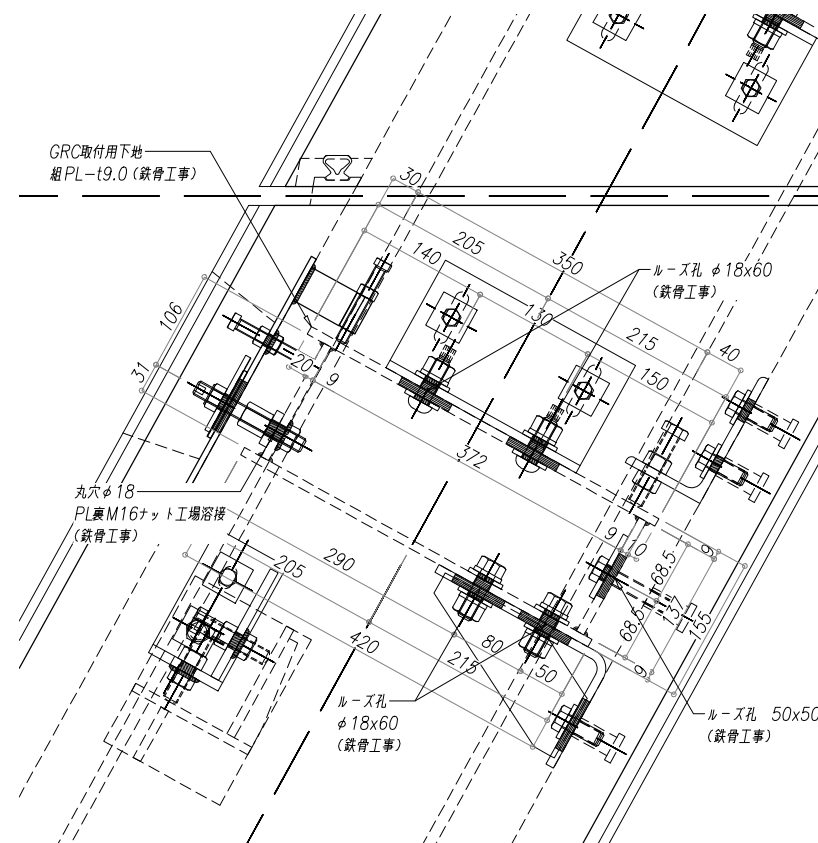


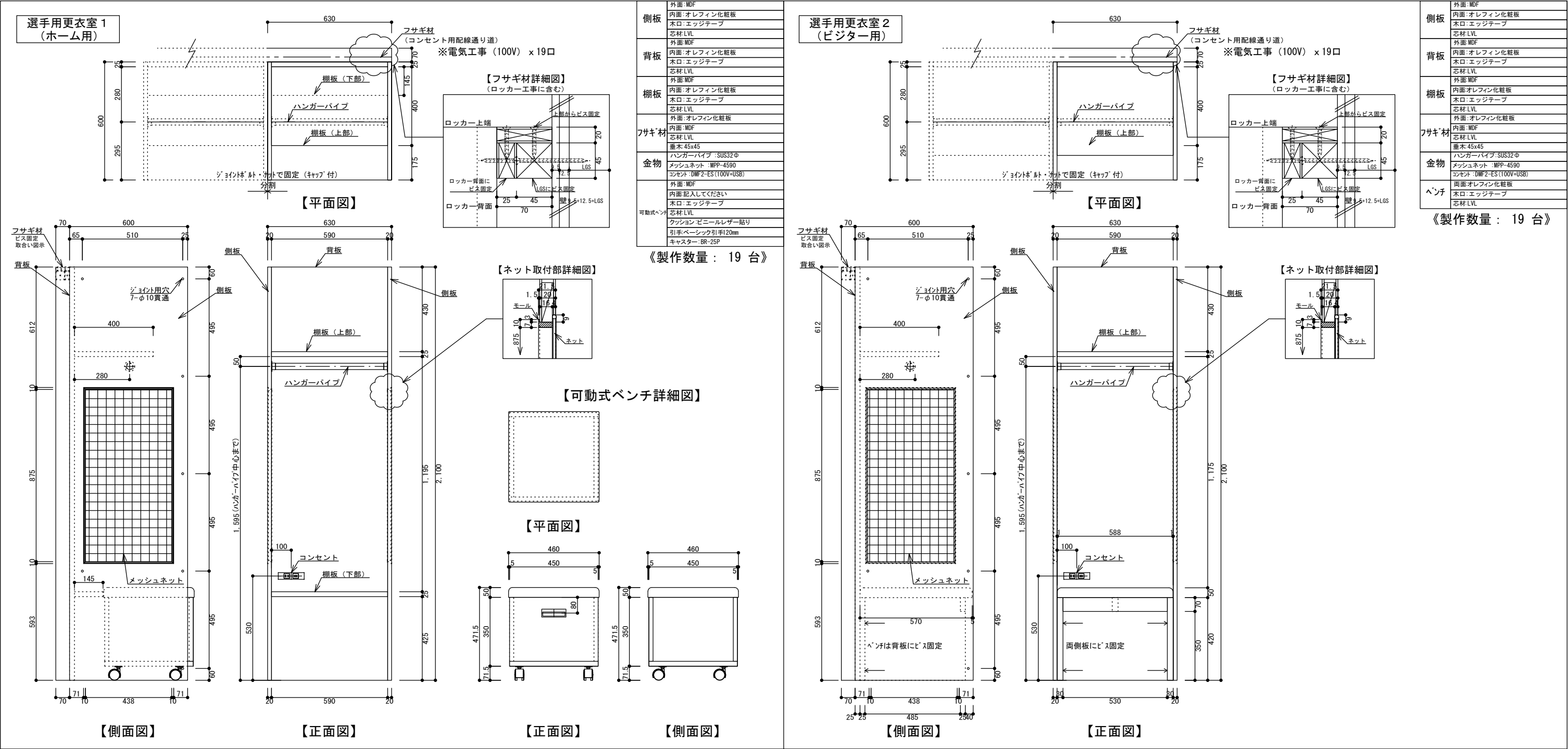
ファスナー一部矢視図

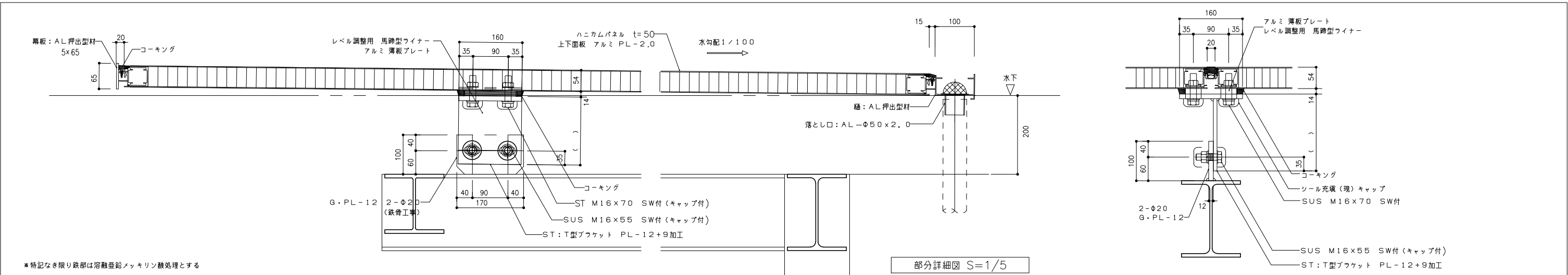
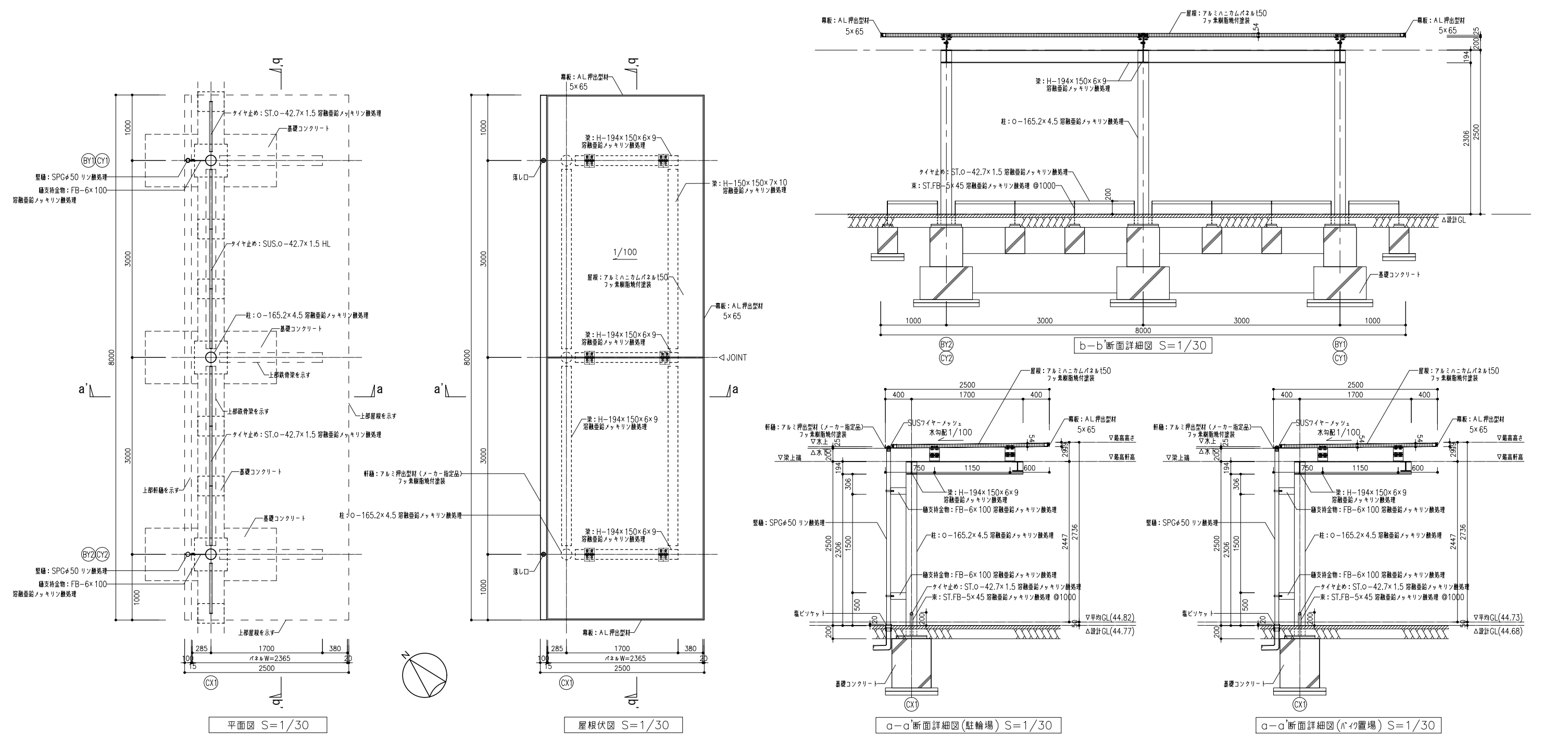
(正面側)



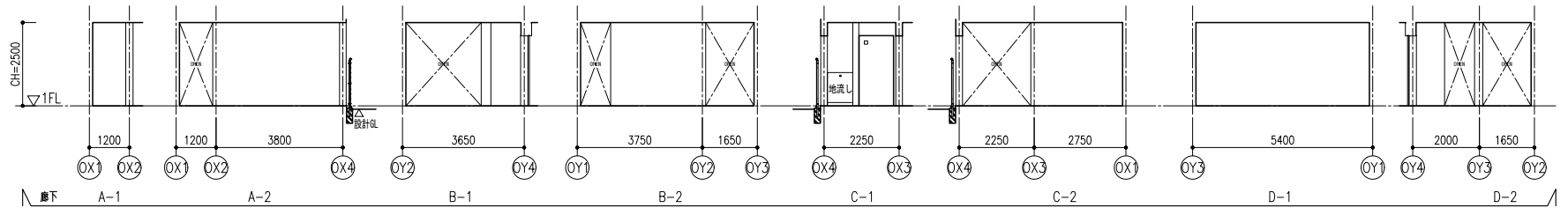
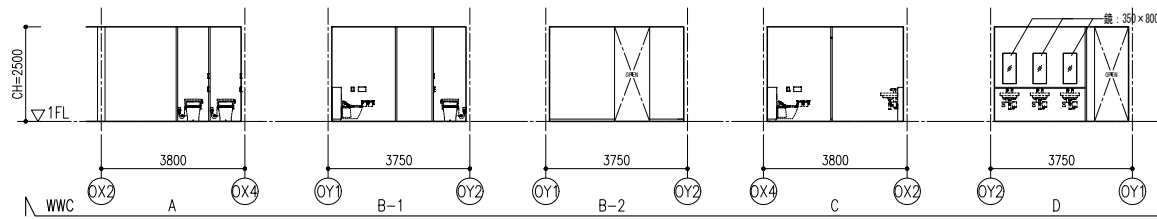
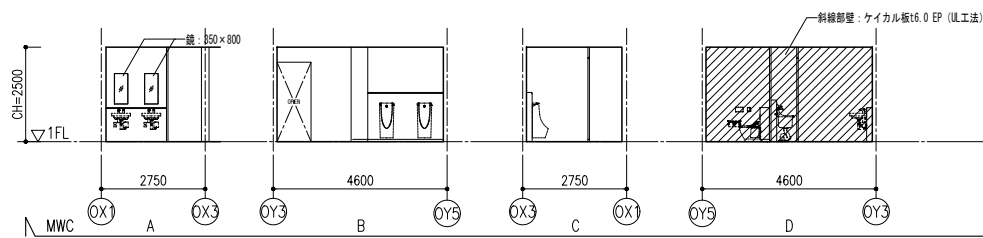
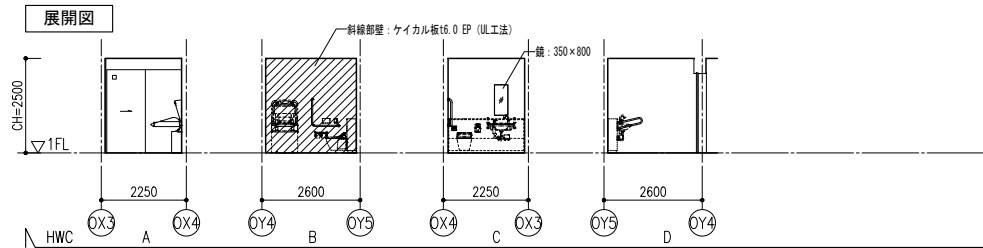
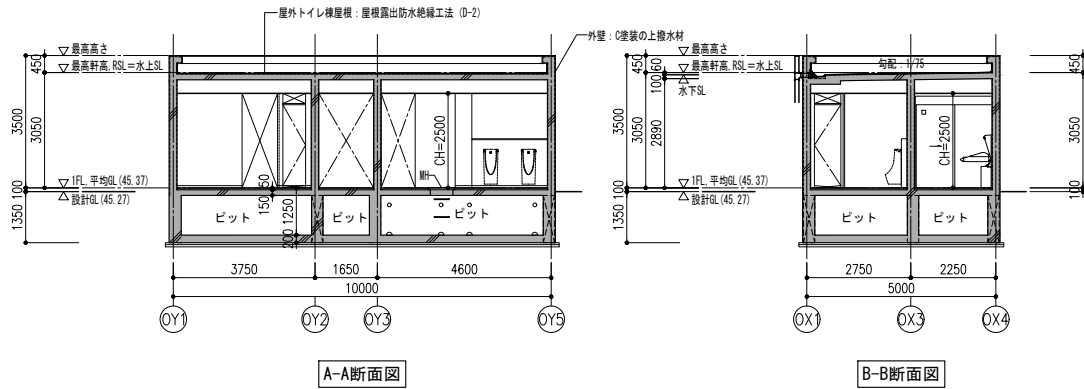
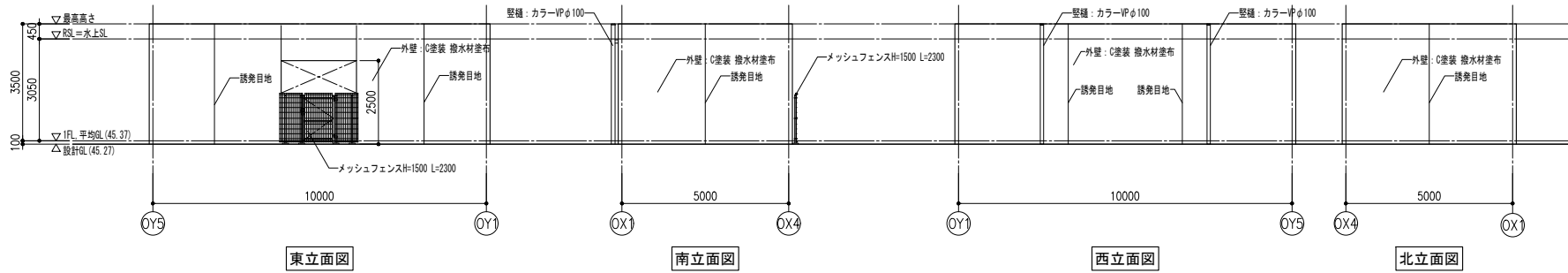
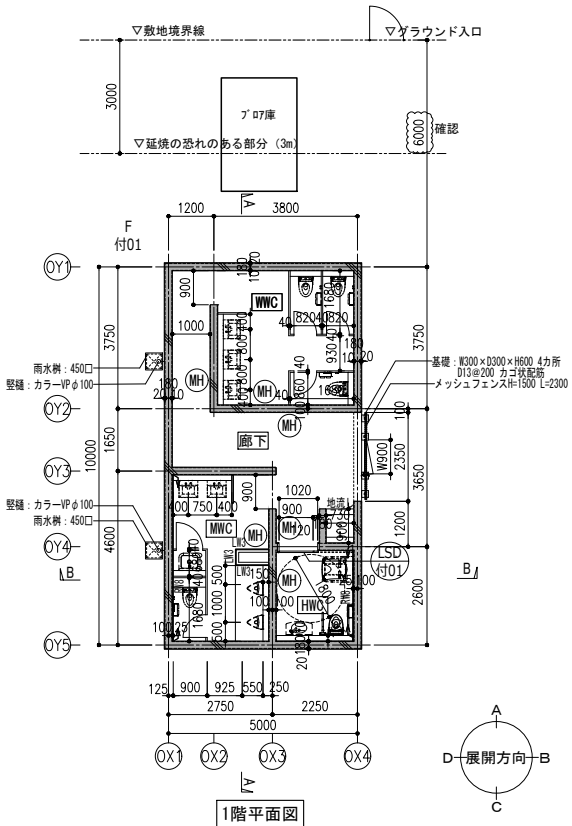
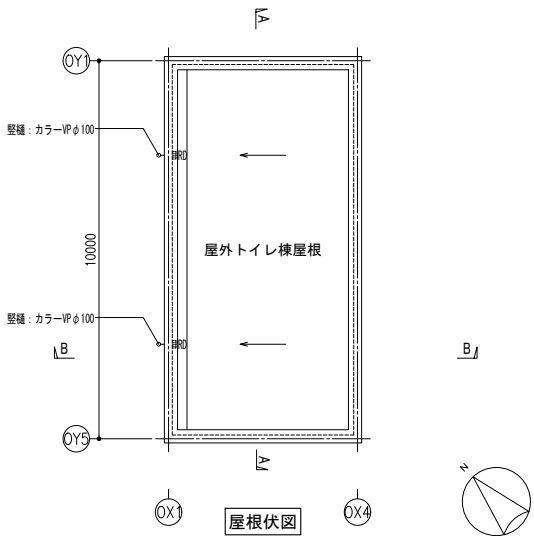
(裏面側)







 石本建築事務所 ISHIMOTO architectural & engineering firm, inc.	原題	完成図作成 (受注者名)	完成図承諾	法適合確認 構造設計一級建築士 山田 和生 証交付番号 第 11279号 本図(仕様書)に記載された事項は、構 造関係規定に適合することを確認した。	法適合確認 構造設計一級建築士 山田 和生 証交付番号 第 11279号 本図(仕様書)に記載された事項は、設 計関係規定に適合することを確認した。	製作日 2025.03.31 ファイル名	代表設計者 一級建築士 大臣登録第280701号 西 重隆 日付 2025.03.31	設計者 一級建築士 大臣登録第365367号 三田 知希	担当者 一級建築士 大臣登録第376383号 中川 達也	業務名称 (仮称) 福岡市総合体育館新築工事 図面名称 駐輪場 詳細図	業務契約コード 108557-02 縮尺 A1:1/30 A3:1/60	図面番号 A-128	管理建築士 一級建築士 大臣登録第280701号 西重隆
	ver.20221201	日付 整理技術者 担当者	日付 整理者 担当者	構造設計一級建築士 証交付番号	設計者 証交付番号								



建具表

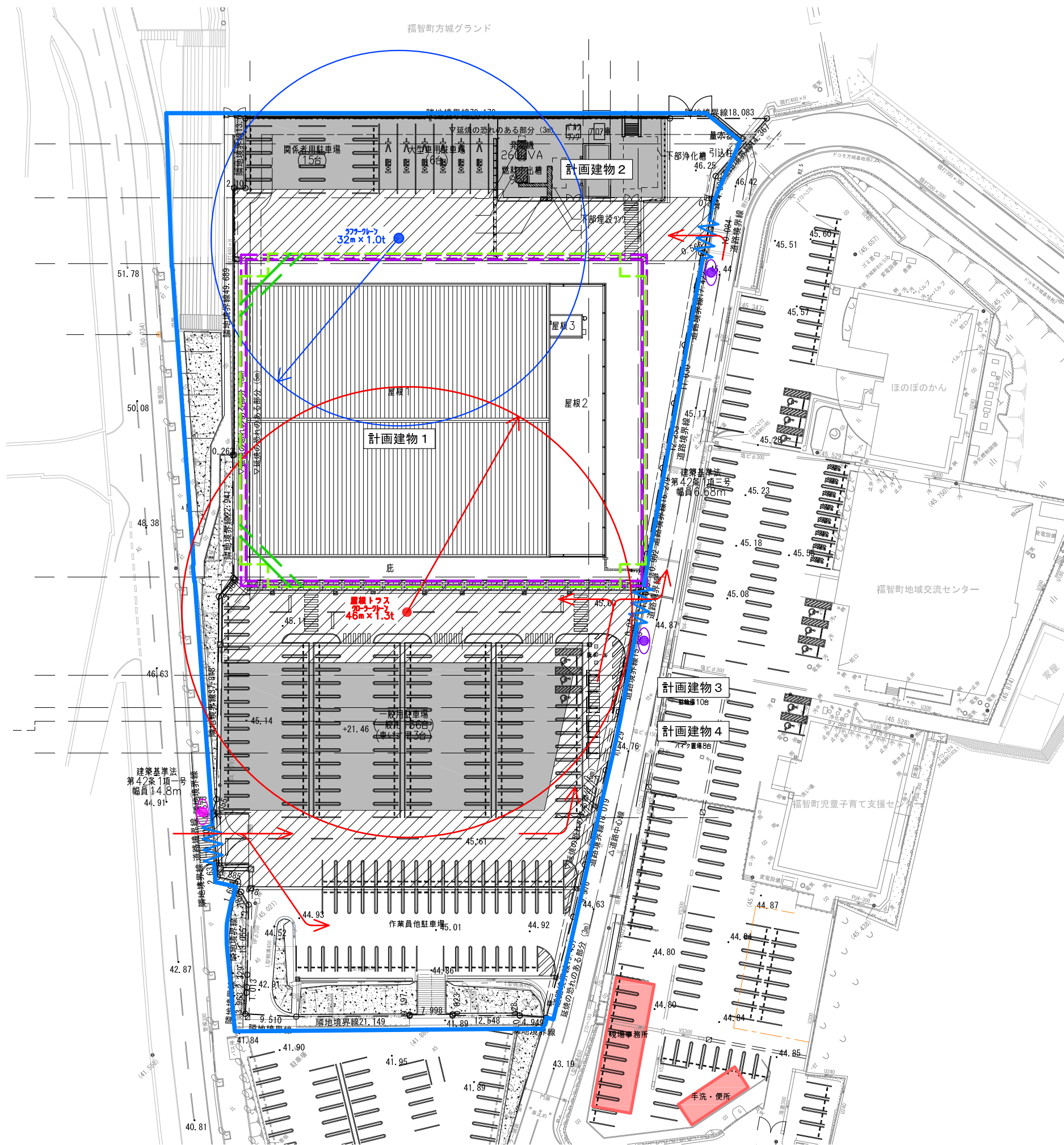
符号・形式・数量	(LSD 401) 外引きハンガー戸	1		
取付位置	屋外トイレ棟 HWC			
形状・寸法				
枠見込	270	40		
材質・仕上	樹脂	S・SOP	-	
ガラス	性能	F-5		
枠廻り	額縁			
施錠	DC	表示錠	B2	
引合わせ	ガウリ			
建具金物等				
備考				

外部仕上表

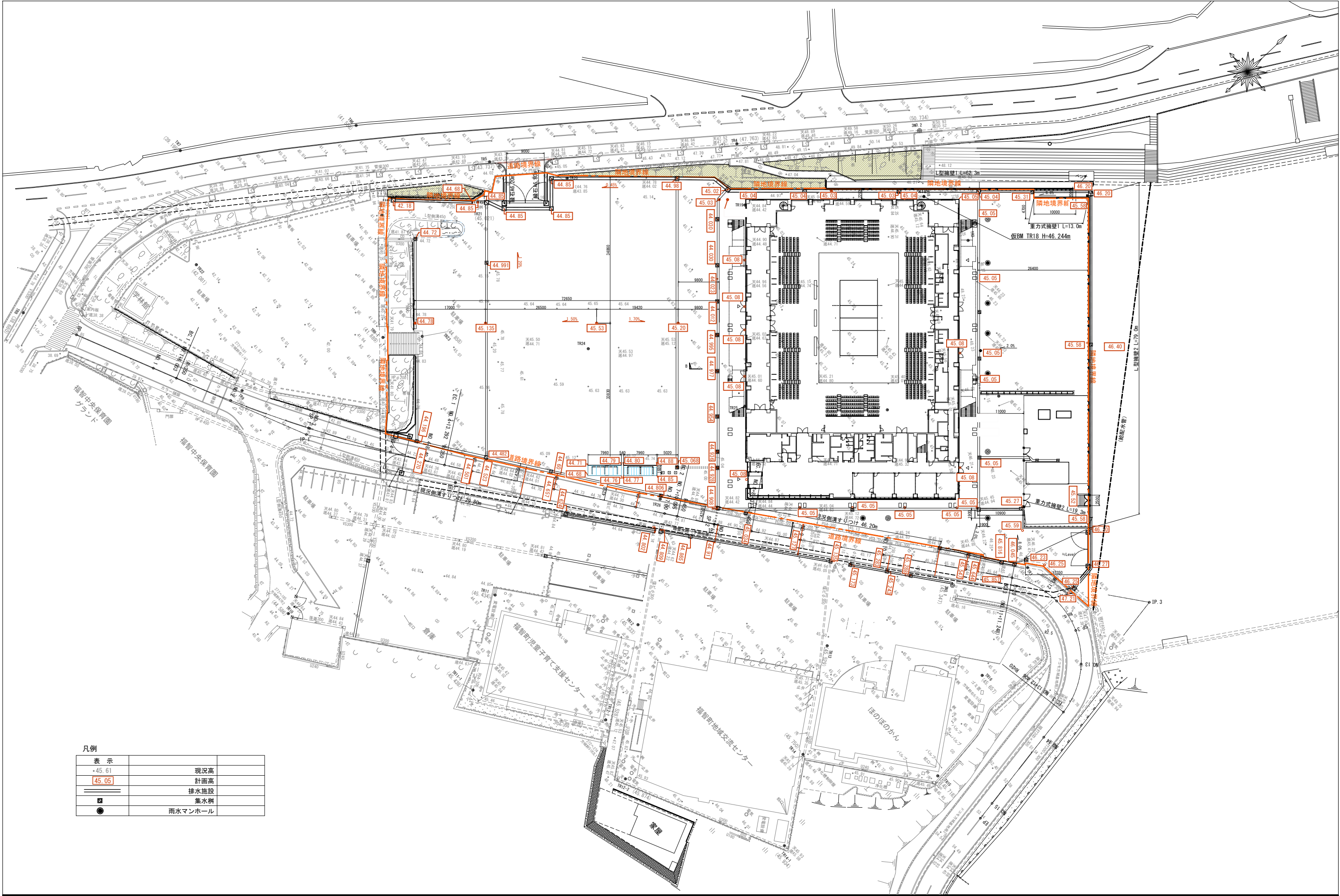
部位	仕上・仕様	備考
屋根	屋根露出防水絶縁工法 (D-2) 立上り: 砂付ルーフィング、アルミ水切り押え金物 パラペット天端: ウレタン塗膜防水 (X-2)	排水溝 W250 RD 鋳鉄製、呼径100φ 壁 鋳鉄製、呼径100φ
外壁	C塗装の上換水材 (エスケー化研 ミクロンガード同等)	カラーVP管100φ

内部仕上表

法規制等の凡例は以下の通り 不: 令112条 第9項 第4項等 一: 令126条の2 第1項 第1号		三: 令126条の2 第1項 第3号 ①: 告示1436号 第4項へ(1) ②: 告示1436号 第4項へ(2)		③: 告示1436号 第4項へ(3) ④: 告示1436号 第4項へ(4)		レベル欄: 上段は仕上レベル、下段は構造躯体 (増打ち分を除く)レベルを示す () 内記号は、エレバント図番号を示す。	
階	室名	法規制等	床	壁	天井	天井高	備考
1階	MWC		レベル ±0 下地 Mコテの上床タイルC 仕上	巾木 下地 (F3) C塗装の上換水材 EP 仕上	廻縁 PVC (C5) ケイカル板t6.0の上 NAD	2500	鏡: 350×800、手摺、トイレブース汚垂石、洗面カウンター、パイプ棚モップ掛け
1階	WWC		レベル ±0 下地 Mコテの上床タイルC 仕上	巾木 (F3) C塗装の上換水材	PVC (C5) ケイカル板t6.0の上 NAD	2500	鏡: 350×800、トイレブース洗面カウンター
1階	HWC		レベル ±0 下地 Mコテの上床タイルC 仕上	巾木 (F3) C塗装の上換水材	PVC (C5) ケイカル板t6.0の上 NAD	2500	鏡: 350×800、手摺、ベビーシート
1階	廊下		レベル ±0 下地 Mコテの上床タイルC 仕上	巾木 (F3) C塗装の上換水材	PVC (C5) ケイカル板t6.0の上 NAD	2500	パイプ棚、モップ掛け

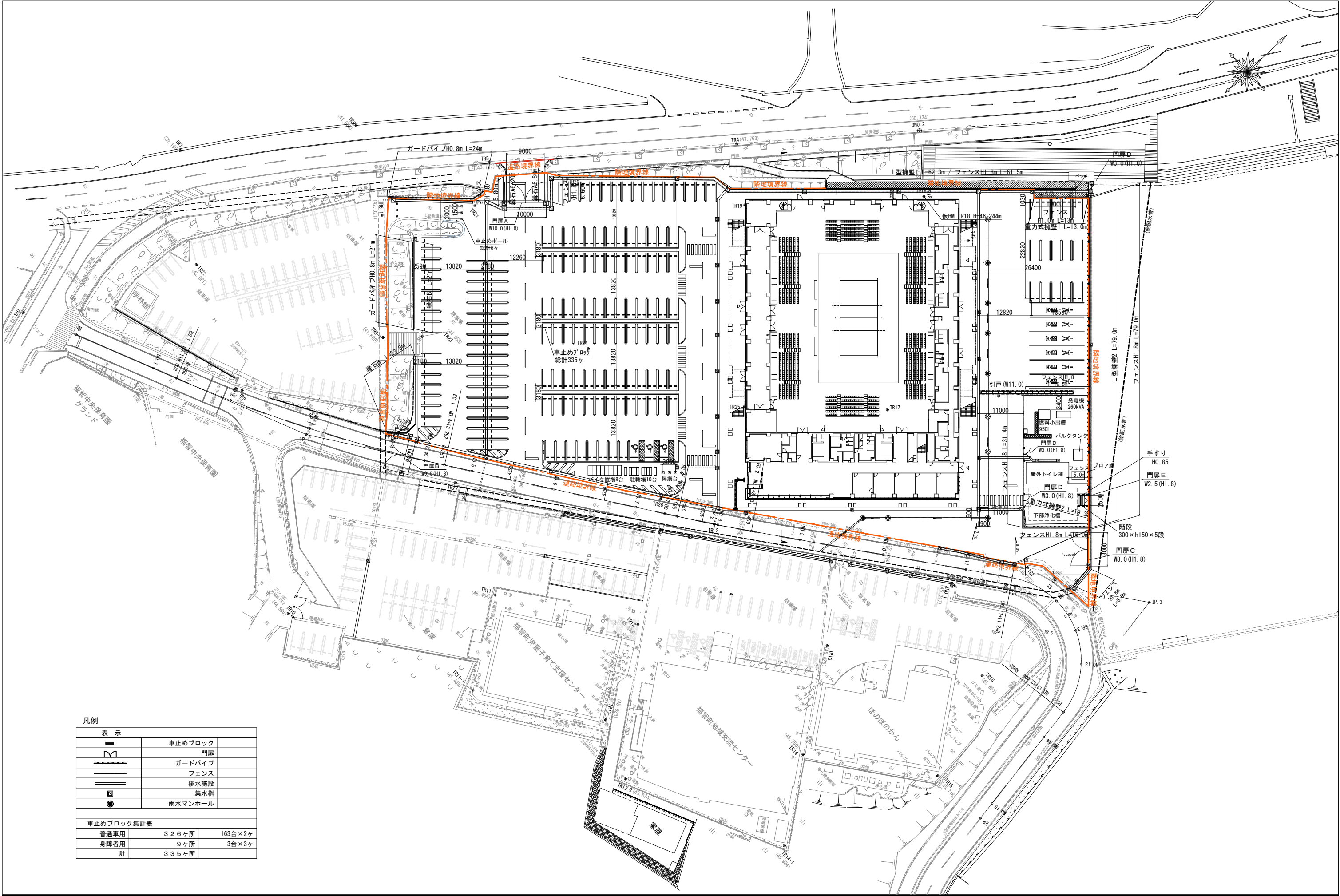


- 凡例
- 山留(親杭横矢板): H300×300φ1.5m L=10.5m(1段梁)
切梁支柱: H-250×250×9×14、矢板: 60mm
腹起し、火打ち梁: H-300×300×10×15
 - 枠組足場
 - 敷き鉄板 t=22
 - 資材置場・鉄骨ヤード
 - 現場事務所・便所
 - 仮囲い鋼板製H=2.0m
(グラウンド側H=3.0m)
 - A型バリケード
 - 山留: 親杭横矢板(板体面から1m離し)
(親杭:H-250×250φ1200 根入深さ6m, 横矢板: 40cm
打込: ア-ス-カー併用, 親杭引抜: 油圧工法)
 - パネルゲート
W=8.0m×3(常時閉鎖)
 - 工事用車両動線
 - 交通誘導員(常駐)
 - 交通誘導員(根切〜鉄骨建方)



凡例

表示		
+45.61		現況高
45.05		計画高
==		排水施設
■		集水樹
●		雨水マンホール

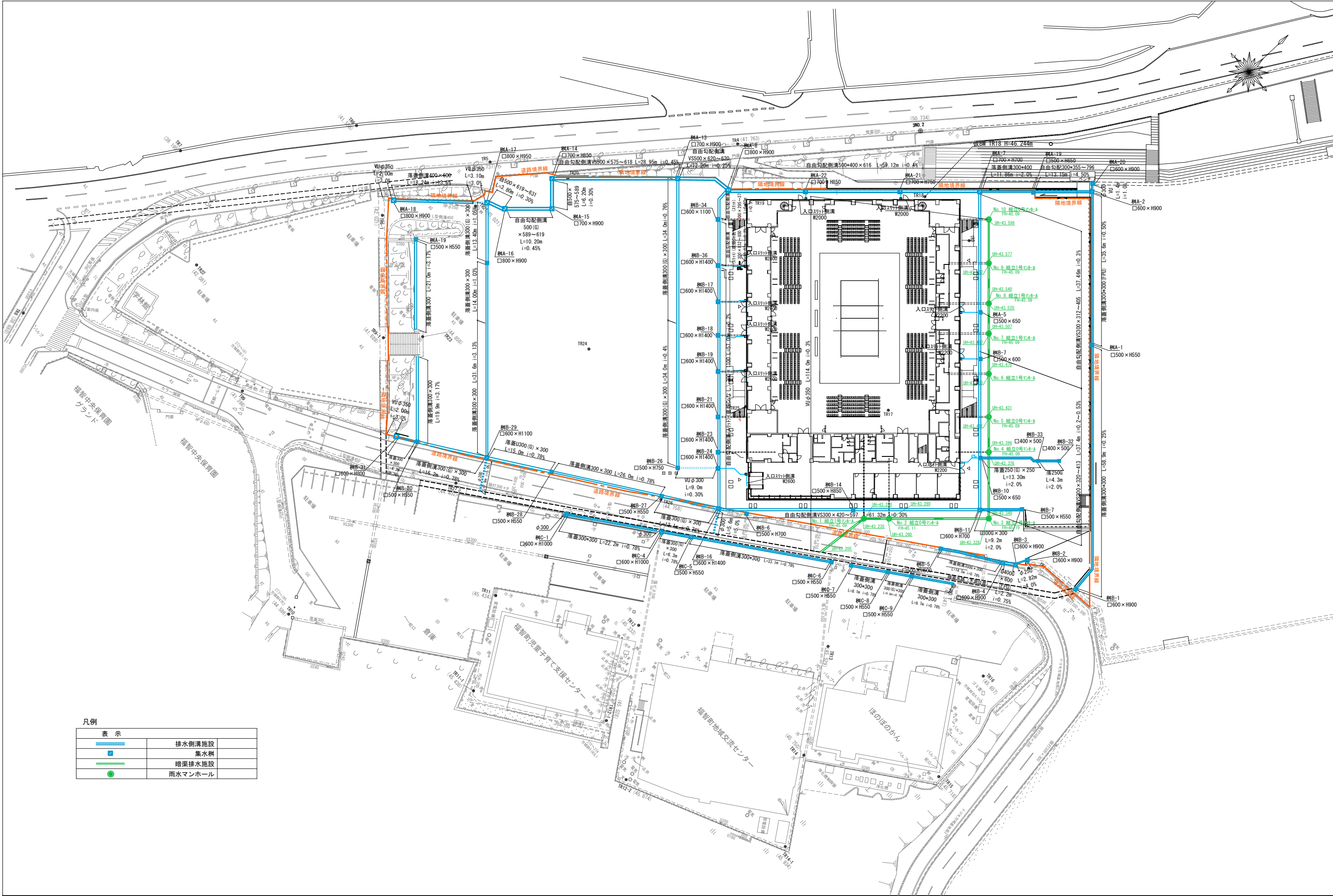


凡例

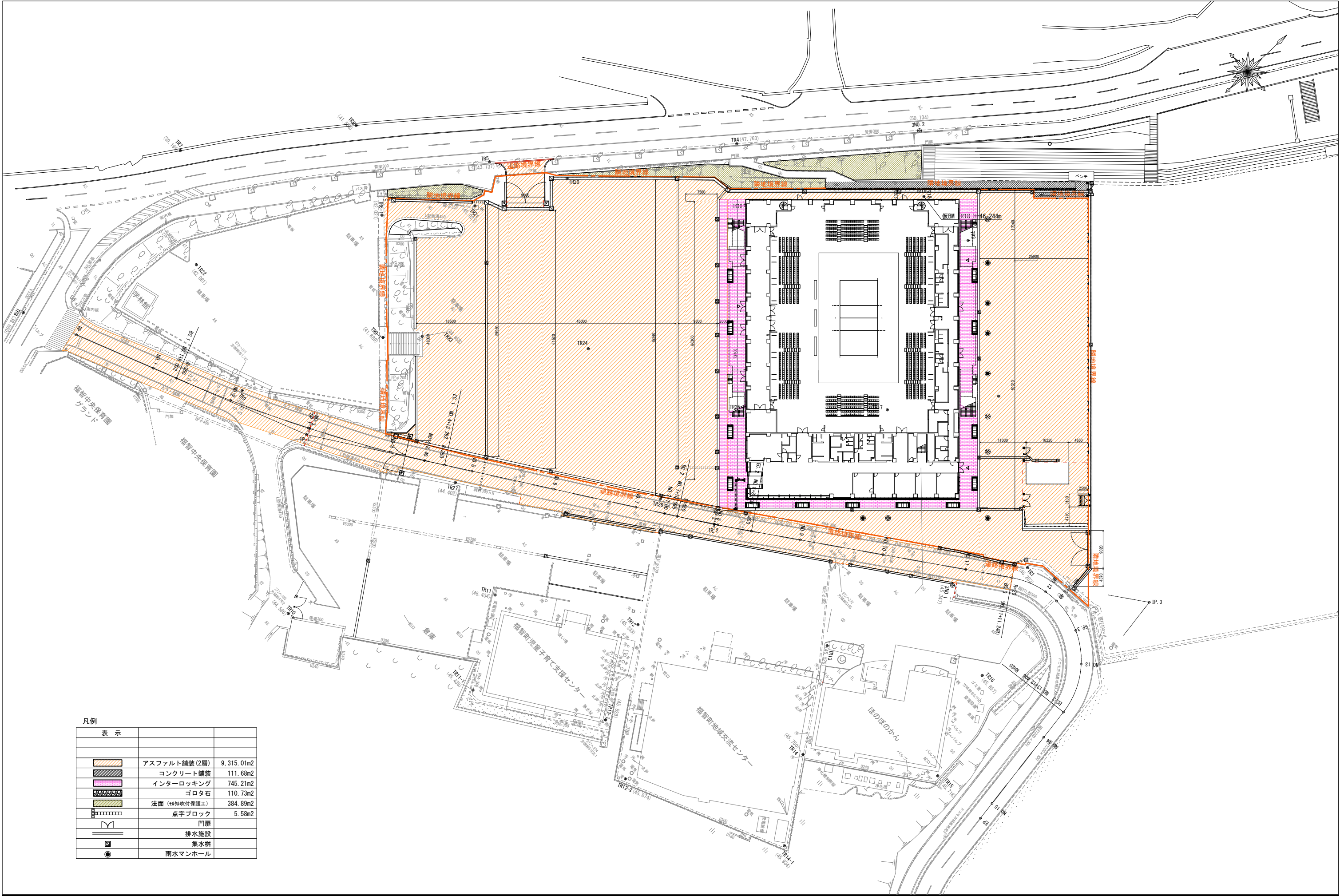
■	車止めブロック
⌒	門扉
—	ガードパイプ
—	フェンス
—	排水施設
■	集水樹
●	雨水マンホール

車止めブロック集計表

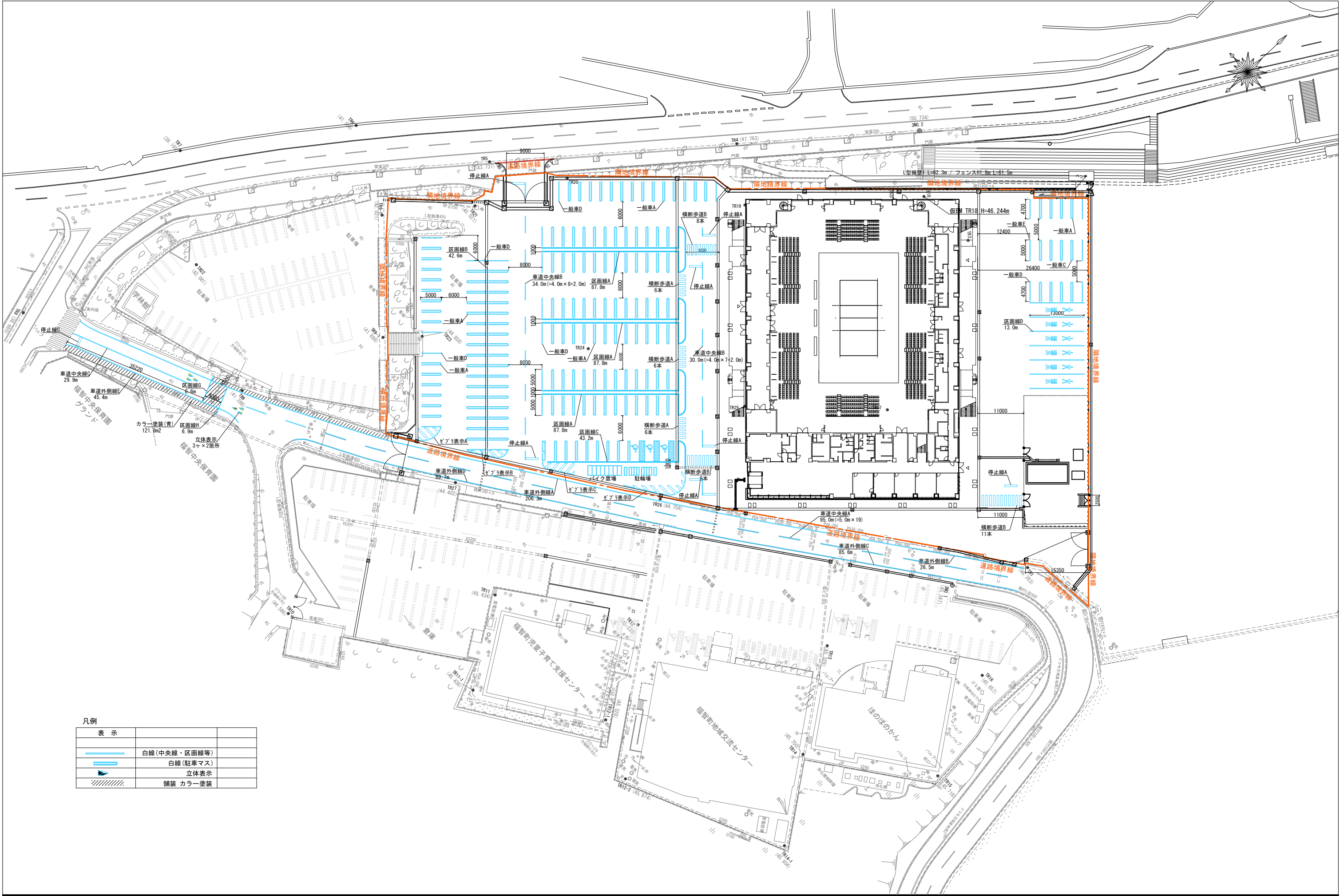
普通車用	326ヶ所	163台×2ヶ
身障者用	9ヶ所	3台×3ヶ
計	335ヶ所	



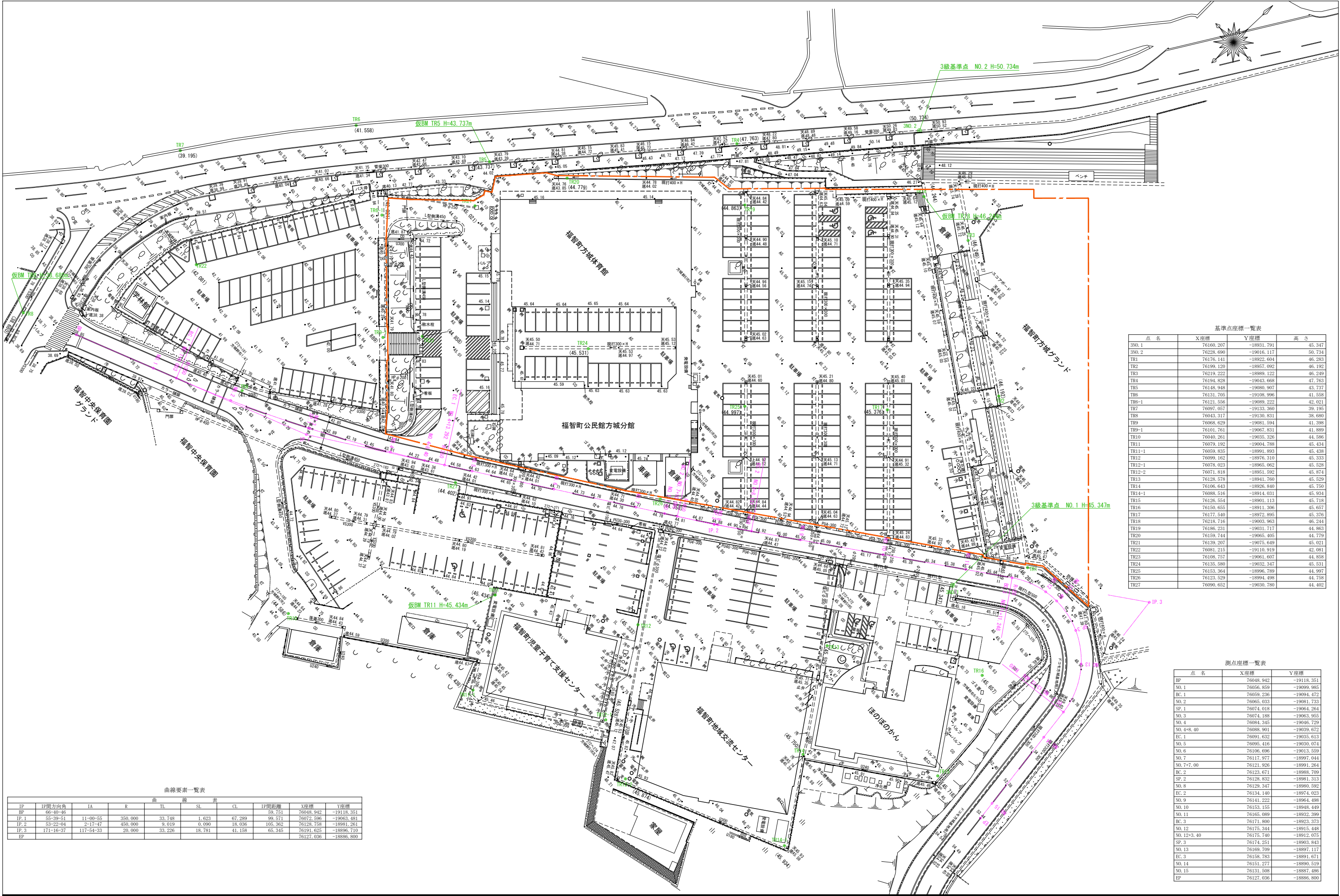
凡例	
表示	
	排水側溝施設
	集水樹
	暗渠排水施設
	雨水マンホール



凡例		
表 示		
	アスファルト舗装(2層)	9,315.01m ²
	コンクリート舗装	111.68m ²
	インターロッキング	745.21m ²
	ゴロタ石	110.73m ²
	法面(砂吹付保護工)	384.89m ²
	点字ブロック	5.58m ²
	門扉	
	排水施設	
	集水樹	
	雨水マンホール	



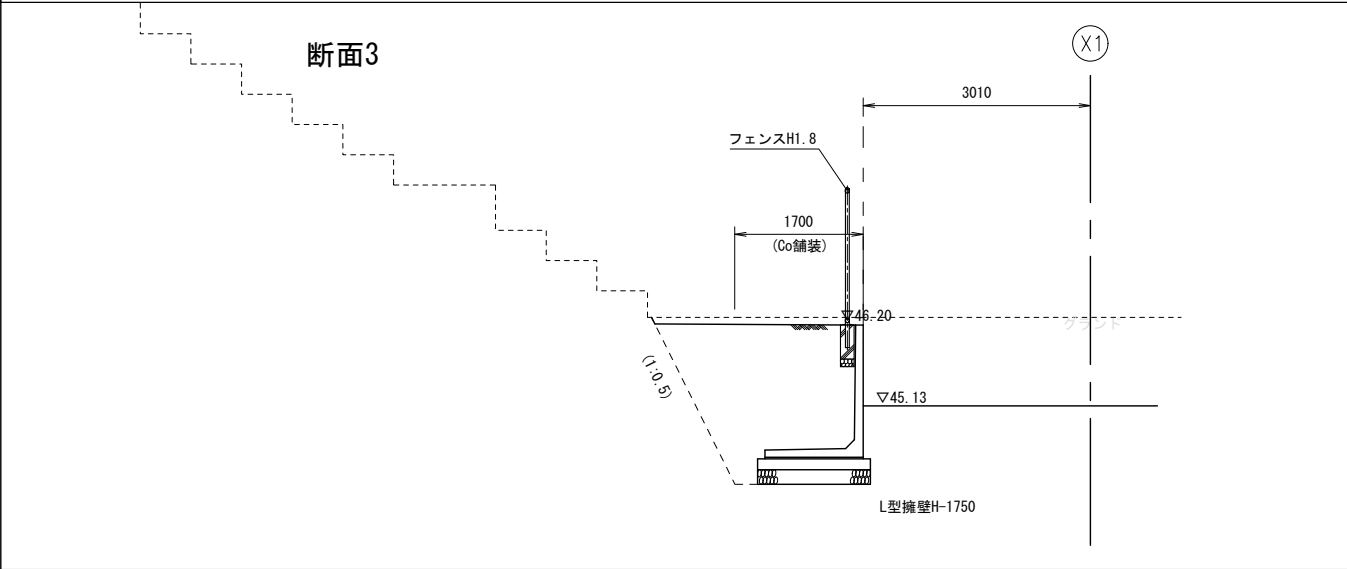
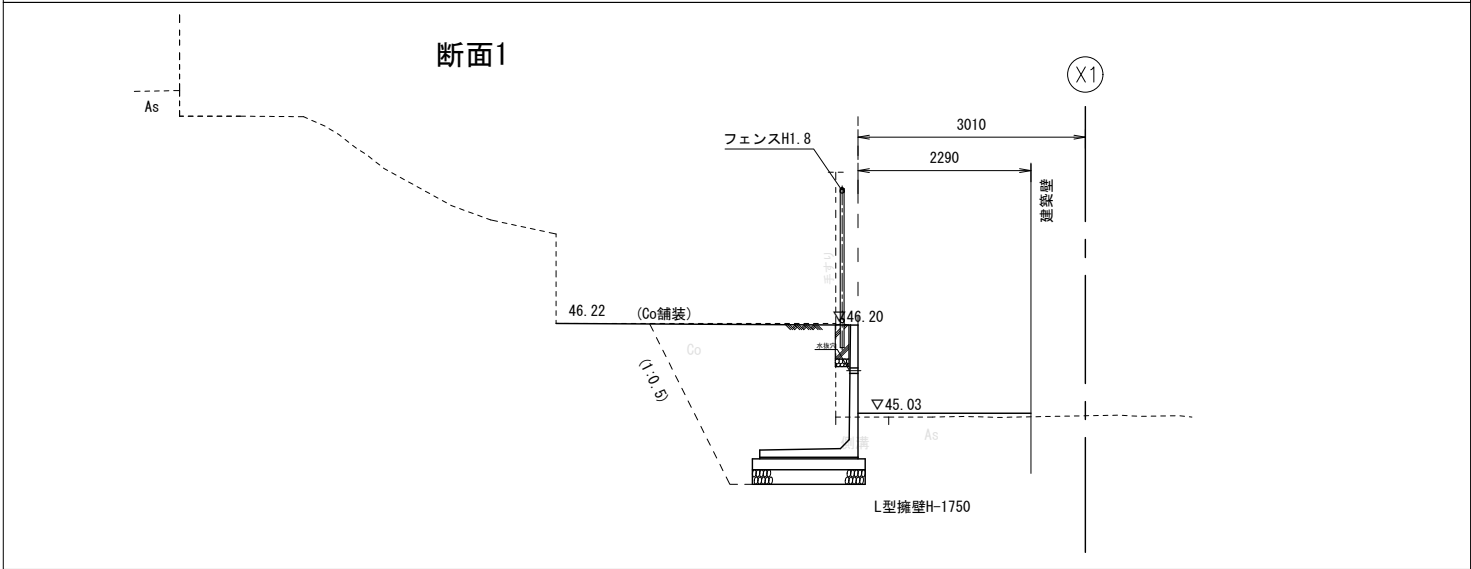
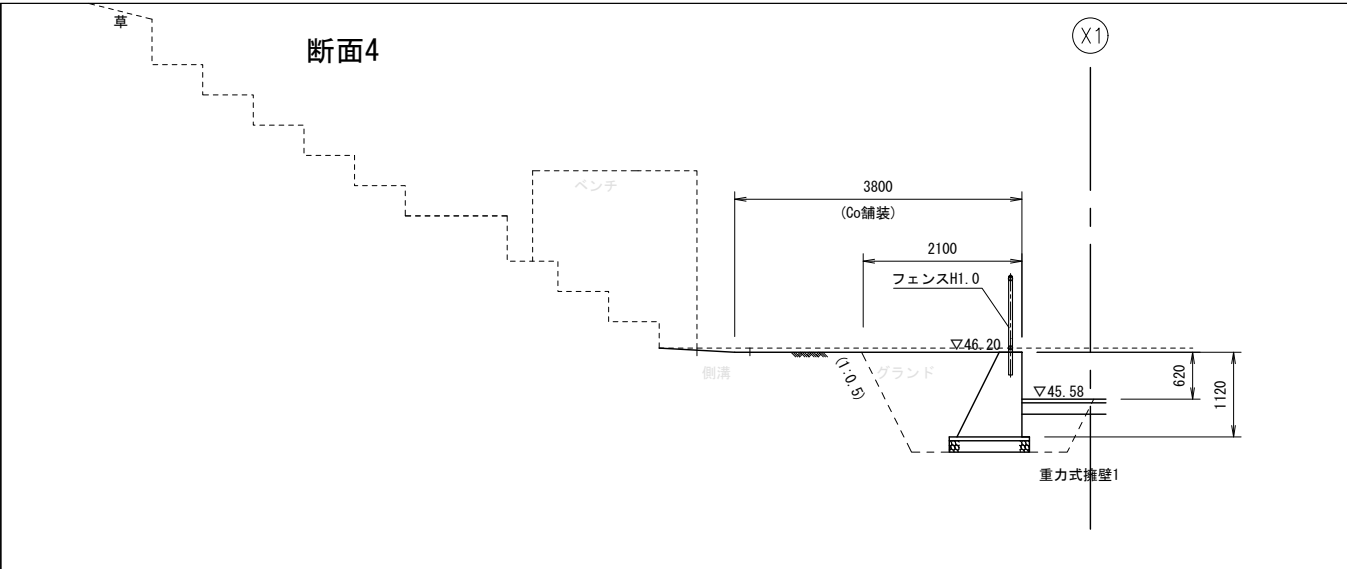
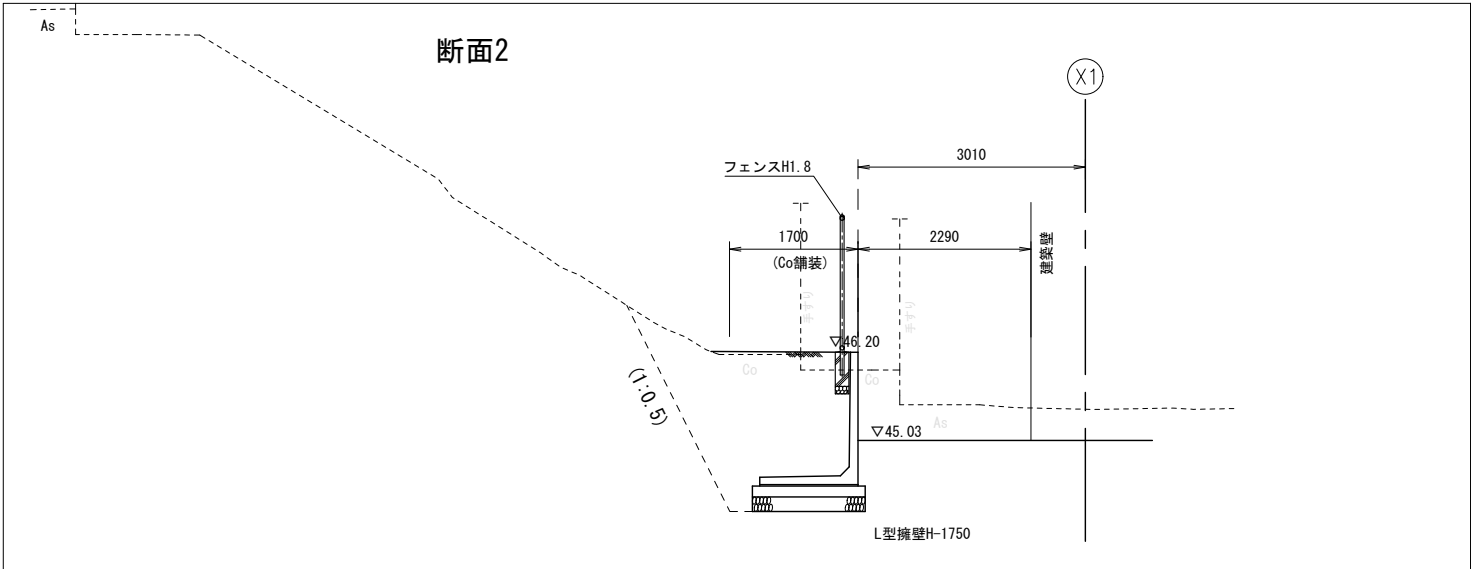
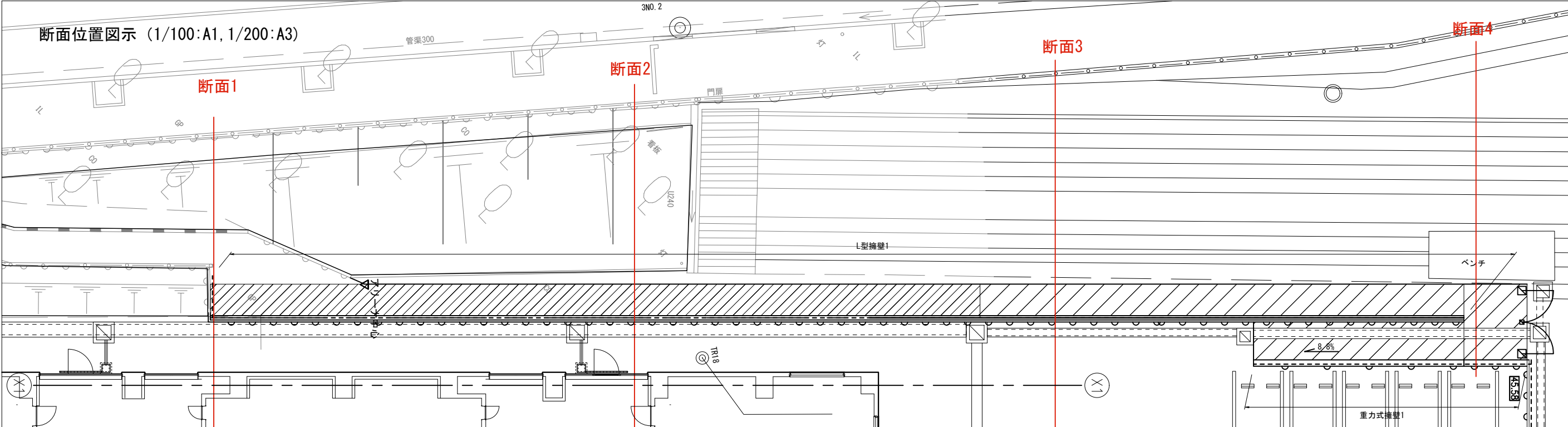
凡例		
表 示		
	白線(中央線・区画線等)	
	白線(駐車マス)	
	立体表示	
	舗装 カラー塗装	

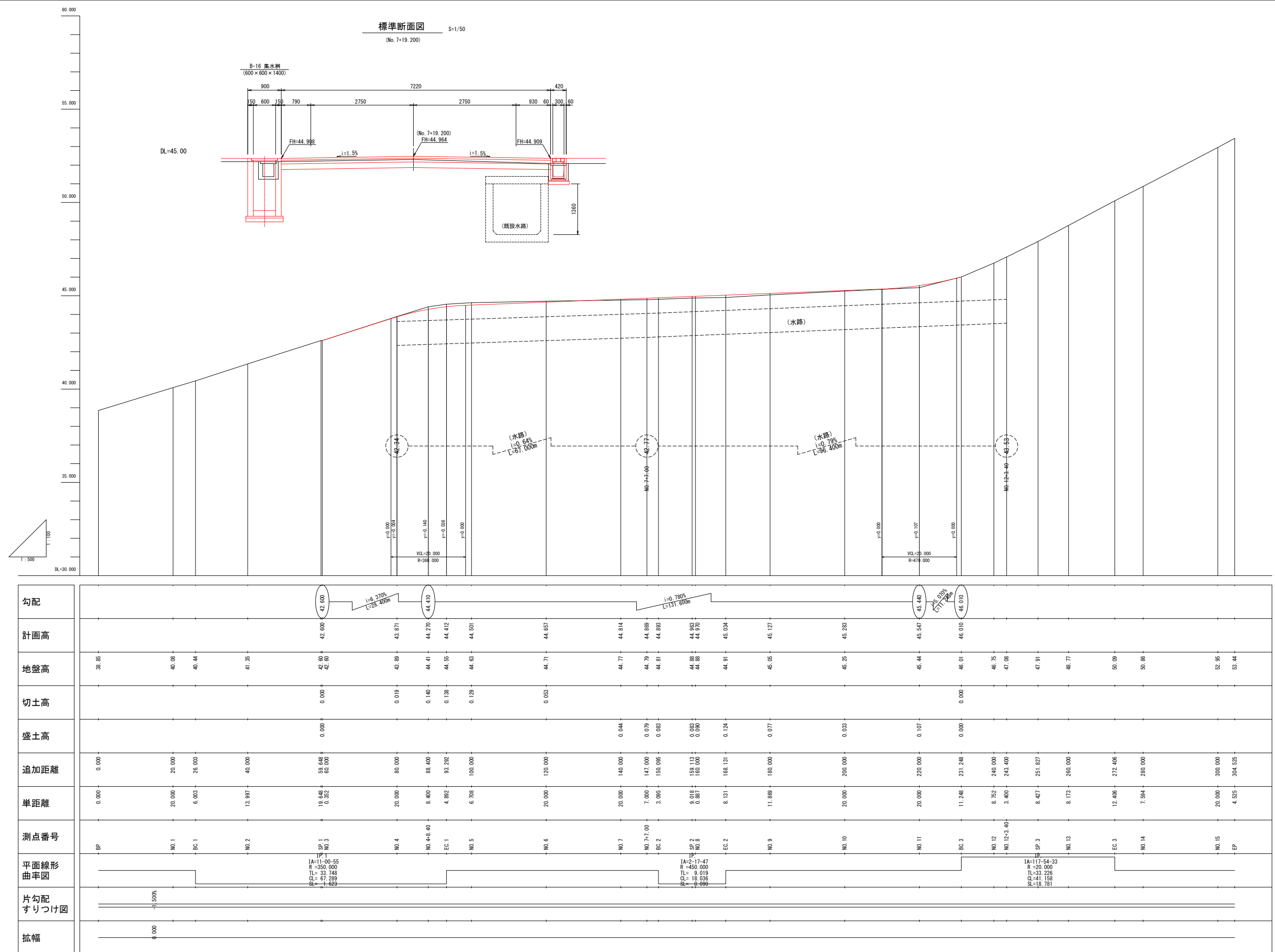


基準点座標一覧表			
点名	X座標	Y座標	高さ
3NO.1	76160.207	-18931.791	45.347
3NO.2	76228.690	-19016.117	50.734
TR1	76176.141	-18922.604	46.283
TR2	76199.120	-18957.092	46.192
TR3	76219.222	-18989.122	46.249
TR4	76194.828	-19043.668	47.763
TR5	76148.948	-19080.907	43.737
TR6	76131.705	-19108.996	41.558
TR6-1	76121.556	-19089.222	42.021
TR7	76097.057	-19133.360	39.195
TR8	76043.317	-19130.831	38.680
TR9	76068.629	-19081.594	41.398
TR9-1	76101.761	-19067.831	41.889
TR10	76040.361	-19035.326	44.586
TR11	76079.192	-19094.788	45.534
TR11-1	76059.835	-18991.892	45.438
TR12	76099.162	-18976.310	45.333
TR12-1	76078.023	-18965.062	45.528
TR12-2	76071.818	-18951.592	45.874
TR13	76128.578	-18941.760	45.529
TR14	76106.643	-18926.840	45.750
TR14-1	76088.516	-18914.031	45.934
TR15	76126.554	-18901.113	45.718
TR16	76150.655	-18911.306	45.657
TR17	76177.540	-18972.895	45.376
TR18	76218.716	-19003.963	46.244
TR19	76186.231	-19031.717	44.863
TR20	76159.744	-19065.405	44.779
TR21	76139.307	-19075.649	45.021
TR22	76081.215	-19110.919	42.081
TR23	76108.757	-19061.607	44.858
TR24	76135.580	-19032.347	45.531
TR25	76153.364	-18996.789	44.997
TR26	76123.529	-18994.498	44.758
TR27	76090.652	-19030.780	44.402

測点座標一覧表		
点名	X座標	Y座標
BP	76048.942	-19118.351
NO.1	76056.859	-19099.985
BC.1	76059.236	-19094.472
NO.2	76065.033	-19081.735
SP.1	76074.018	-19064.264
NO.3	76074.188	-19063.955
NO.4	76084.345	-19046.729
NO.4+8.40	76088.901	-19039.672
EC.1	76091.632	-19035.613
NO.5	76095.416	-19030.074
NO.6	76106.696	-19013.559
NO.7	76117.977	-18997.044
NO.7+7.00	76121.926	-18991.264
BC.2	76123.671	-18988.709
SP.2	76128.832	-18981.313
NO.8	76129.347	-18980.592
EC.2	76134.140	-18974.023
NO.9	76141.222	-18964.498
NO.10	76153.155	-18948.449
NO.11	76165.089	-18932.399
BC.3	76171.800	-18923.373
NO.12	76175.344	-18915.448
NO.12+3.40	76175.740	-18912.075
SP.3	76174.251	-18903.843
NO.13	76169.709	-18897.117
EC.3	76158.783	-18891.671
NO.14	76151.277	-18890.519
NO.15	76131.508	-18887.486
EP	76127.036	-18886.800

曲線要素一覧表									
IP	IP間方向角	IA	R	曲線	SL	CL	IP間距離	X座標	Y座標
BP	66-40-46			TL			59.751	76048.942	-19118.351
IP.1	55-39-51	11-00-55	350.000		1.623		67.289	76072.596	-19063.481
IP.2	53-22-04	2-17-47	450.000		0.090		18.036	76128.758	-18981.261
IP.3	171-16-37	117-54-33	20.000		33.226		41.158	76191.625	-18896.710
EP								76127.036	-18886.800





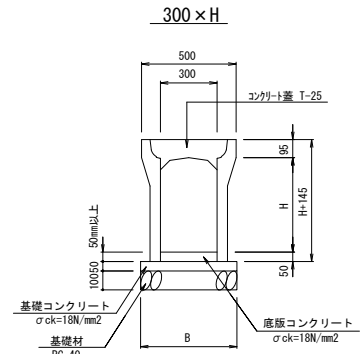
A	アスファルト舗装(車道用)	1/10	B	インターロッキング舗装	1/10	C	コンクリート舗装	1/10	D			M	点字ブロック	1/50
									余白					
											詳細図 T:4 (A1) / 1:8 (A3) 仕様 点装タイプ(警告/とまれ) 仕様 線装タイプ(誘導/すめ)			
E	法面保護工	1/5	F	緑石A	1/5	G	緑石B	1/5	H	緑石C	1/5	I	ゴロタ石敷き	1/5
※高木の切株は巻込みとする(吹付なし) ※低木は除根のこと												余白		

				(帝金: AK-07CT 310Z リン酸亜鉛処理仕上 同等品)									

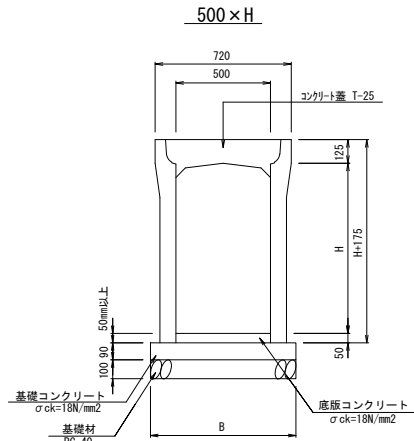
		完成図作成 (受注者名)	完成図承認	法定合確認欄 構造設計一級建築士 山田 和生 証文付番号 第 11279号 本図 (仕録書) に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。 構造設計一級建築士 証文付番号	法定合確認欄 設備設計一級建築士 証文付番号 本図 (仕録書) に記載された事項は、設備関係規定に適合することを確認した。 設備設計一級建築士 証文付番号	製作日 2025.03.31 ファイル名	代表設計者 一級建築士 大臣登録第280701号 西 重隆 日付 2025.03.31	設計者 一級建築士 大臣登録第365367号 三田井 知希	担当者 一級建築士 大臣登録第376383号 中川 達也	業務名称 〈仮称〉福岡市総合体育館新築工事 図面名称 舗装構成・緑石・車止め標準図	業務契約コード 108557-02 縮尺 A1:1/10 A3:1/20	図面番号 A-144	管理建築士 一級建築士 大臣登録第280701号 西重隆
--	--	--------------	-------	---	--	----------------------------	--	--	---------------------------------------	--	--	---------------	---------------------------------------

排水施設構造図(その1)

自由勾配型側溝構造図

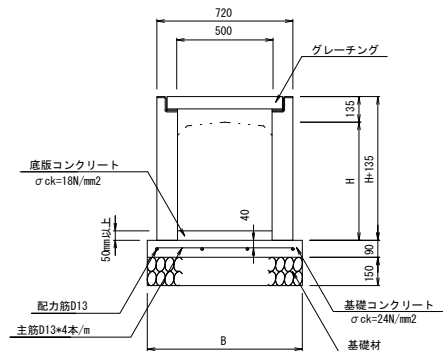


種 別	H	B	コンクリート蓋	基礎材	基礎コンクリート	基礎型枠
300 × 400	400	510	10.00 枚	5.10 m ²	0.255 m ³	1.00 m ²
300 × 500	500	510	10.00 枚	5.10 m ²	0.255 m ³	1.00 m ²
300 × 600	600	530	10.00 枚	5.30 m ²	0.265 m ³	1.00 m ²
300 × 700	700	530	10.00 枚	5.30 m ²	0.265 m ³	1.00 m ²
300 × 800	800	530	10.00 枚	5.30 m ²	0.265 m ³	1.00 m ²
300 × 900	900	550	10.00 枚	5.50 m ²	0.275 m ³	1.00 m ²



種 別	H	B	コクリト蓋	基礎材	基礎コクリト	基礎型枠
500× 500	500	740	10.00 枚	7.40 m2	0.666 m3	1.80 m2
500× 600	600	740	10.00 枚	7.40 m2	0.666 m3	1.80 m2
500× 700	700	740	10.00 枚	7.40 m2	0.666 m3	1.80 m2

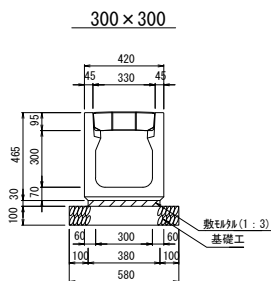
自由勾配型側溝構造図



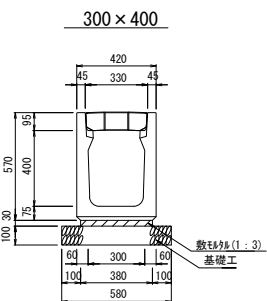
数 量 表							10m当り
種 別	H	B	ゲレチン [®] 蓋	基礎材	基礎コンクリート	基礎型枠	鉄筋D13
500×700	740	820	1.00 枚	8.20 m ²	0.738 m ³	1.80 m ²	68.46kg

1mあたり
主鉄筋 D13*4本/m (250ピッチ)
配力筋 D13*4本/m

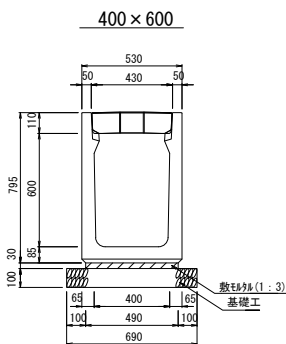
落蓋式側溝構造図 (縦断用) S=1/20



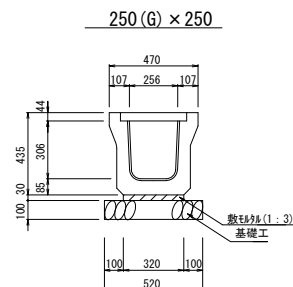
種 別	算 式	数 量
基礎材	0.58×10.0	5.80 ㎡ ²
敷き砂	$0.38 \times 0.03 \times 10.0$	0.11 ㎡ ³
側溝	L=2000	5.0 本
コンクリート蓋	L=500	10.0 枚



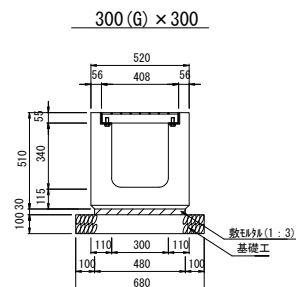
材料表		10.0m当り
種 別	算 式	数 量
基礎材	0.58×10.0	5.80 m ²
敷設片	$0.38 \times 0.03 \times 10.0$	0.11 m ³
側溝	L=2000	5.0 本
コンクリート蓋	L=500	10.0 枚



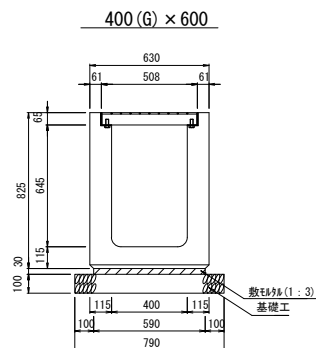
材料表		10.0m当り
種 別	算 式	数 量
基礎材	0.69×10.0	6.90 m ²
敷木丸	$0.49 \times 0.03 \times 10.0$	0.15 m ³
側溝	L=2000	5.0 本
コンクリート蓋	L=500	10.0 枚



数量表			10m当り	
名 称	規 格	算 定 式	単位	数量
基 礎 材		0.52×10.00	m ²	5.20
敷モルタル	1 : 3	$0.32 \times 0.03 \times 10.00$	m ³	0.10
側 溝 本 体	250	10.0/1.0	本	10.00
グレーチング蓋	250用		枚	10.00



種 別	算 式	数 量
基礎材	0.68×10.0	6.80 m ²
敷砂利	$0.48 \times 0.03 \times 10.0$	0.14 m ³
側溝	L=2000(勾「レチン」付)	5.0 本

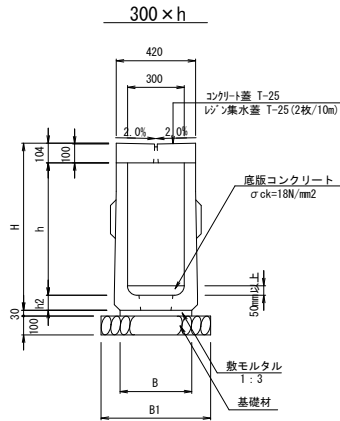


種 別	算 式	数 量
基礎材	0.79×10.0	7.90 m ²
敷材料	$0.59 \times 0.03 \times 10.0$	0.18 m ³
側溝	L=2000(ケーシング付)	5.0 本

※コンクリート蓋の仕様はT-25とする。
 ※グレーチング蓋の仕様はT-25・細目・ボルト固定。
 ※Coスランプ値S-8とする。

排水施設構造図(その2)

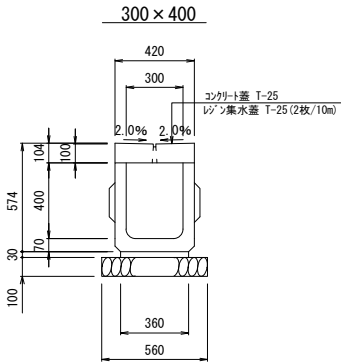
自由勾配型側溝構造図
(スリットタイプ 縦断用)



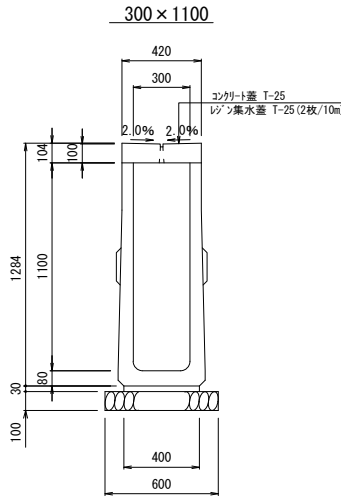
数量表										10m当り
種 別	h	H	h2	B	B1	コンクリート蓋	リソ集水蓋	敷砂材	基礎材	
300 × 400	400	574	70	360	560	8.00 枚	2.00 枚	0.11 m ³	5.60 m ²	
300 × 500	500	674	70	360	560	8.00 枚	2.00 枚	0.11 m ³	5.60 m ²	
300 × 900	900	1084	80	400	600	8.00 枚	2.00 枚	0.12 m ³	6.00 m ²	

※G0スランプ値S-8とする。

スリットタイプ側溝構造図
(縦断用)



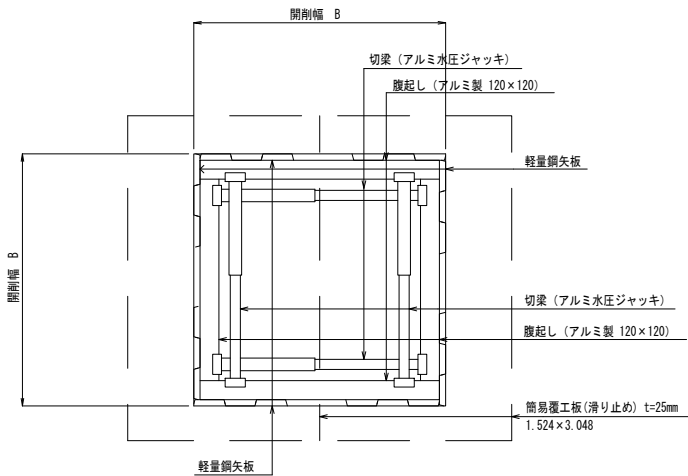
材料表				10.0m当り
種 別	算 式	数 量		
基礎材	0.56 × 10.0	5.60	m ²	
敷砂材	0.36 × 0.03 × 10.0	0.11	m ³	
側溝	L=2000	5.0	本	
コンクリート蓋	L=1000	8.0	枚	
リソ集水蓋	L=1000	2.0	枚	



材料表				10.0m当り
種 別	算 式	数 量		
基礎材	0.60 × 10.0	6.00	m ²	
敷砂材	0.40 × 0.03 × 10.0	0.12	m ³	
側溝	L=2000	5.0	本	
コンクリート蓋	L=1000	8.0	枚	
リソ集水蓋	L=1000	2.0	枚	

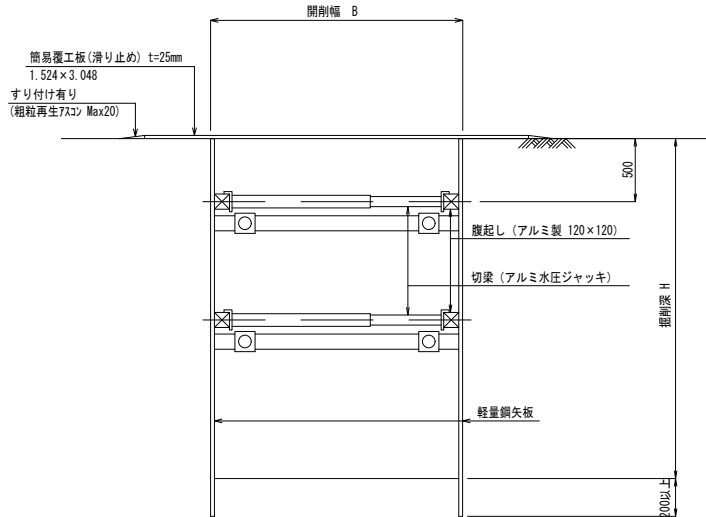
集水部土留工図

平面図



※掘削幅については以下の通り。
集水部 (600 × 600) → 2000 × 2000 (アルミ製掘削機)

断面図



※支保工の段数については以下の通り。
掘削深1.5mを超え2.0m以下 → 1段
掘削深2.0mを超え3.5m以下 → 2段 とする。

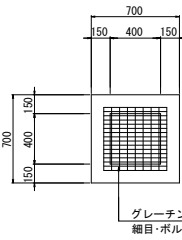
排水施設構造図(その3)

集水樹構造図
(二次製品)

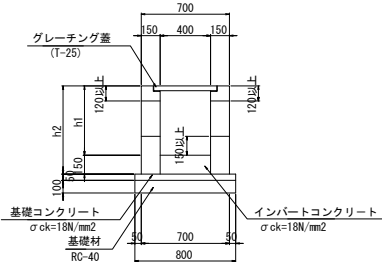
S=1/30

400×400×h1

平面図

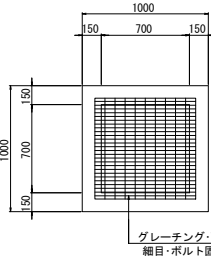


断面図

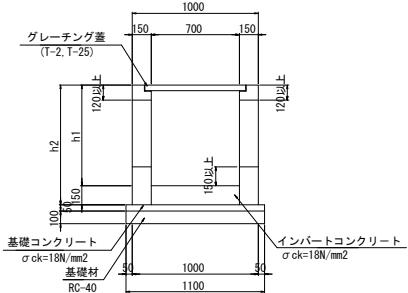


700×700×h1

平面図



断面図

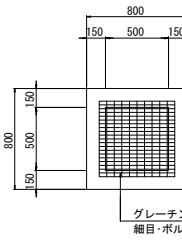


寸法表

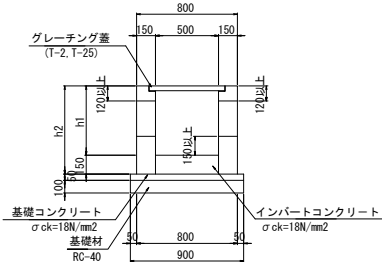
番号	h1	h2	流入①	流入②	流出	摘要
B-32	500	650	-	-	250×230	
B-33	500	650	250×230	-	250×230	

500×500×h1

平面図



断面図

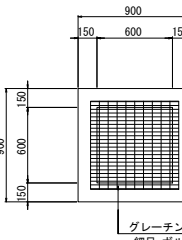


寸法表

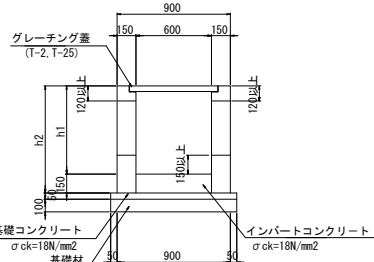
番号	h1	h2	流入①	流入②	流出	摘要
A-1	550	700	-	-	300×275	
A-3						欠番
A-4						欠番
A-5	650	800	300×350	VUφ125	300×350	
A-6						欠番
A-19	650	800	300×330	-	300×375	グレーチング蓋 T-2
B-5	600	750	300×275	-	300×275	
B-6	700	850	300×275	-	250×250	
B-7	600	750	300×311	VUφ125	300×311	
B-8						欠番
B-9						欠番
B-10	650	800	300×353	VUφ125	300×353	
B-12						欠番
B-13						欠番
B-14	850	1000	300×538	-	300×538	
B-15						欠番
B-26	750	900	300×275	-	VUφ300	
B-27	550	700	300×275	-	300×275	
B-28	550	700	300×275	-	300×275	
B-30	550	700	300×275	-	300×275	
C-5	550	700	300×275	-	300×275	
C-6	550	700	VUφ300	-	300×275	
C-7	550	700	300×275	-	VUφ200	
C-8	550	700	300×275	-	300×275	
C-9	550	700	300×275	-	300×275	

600×600×h1

平面図



断面図



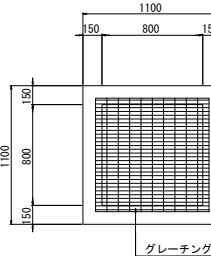
寸法表

番号	h1	h2	流入①	流入②	流出	摘要
A-2	900	1050	300×275	VUφ300	300×630	グレーチング蓋 T-2
A-20	900	1050	400×715	-	VUφ300	グレーチング蓋 T-2
B-1	900	1050	400×730	300×275	400×730	
B-2	900	1050	400×740	-	VUφ300	
B-3	900	1050	VUφ300	-	400×590	
B-4	900	1050	400×590	-	400×400	
B-11	700	850	300×388	300×275	300×450	
B-16	1400	1550	300×492	300×1080	VUφ300	
B-17	1400	1550	300×1080	VUφ250	300×1080	
B-18	1400	1550	300×1080	VUφ250	300×1080	
B-19	1400	1550	300×1080	VUφ250	300×1080	
B-20						欠番
B-21	1400	1550	300×1080	VUφ250	300×1080	
B-22						欠番
B-23	1400	1550	300×1080	VUφ150	300×1080	
B-24	1400	1550	300×1080	VUφ300	300×1080	
B-25						欠番
B-29	1100	1250	300×275	300×275	VUφ300	
B-31	800	950	300×275	-	VUφ300	
B-34	1100	1250	VUφ250	-	300×812	
B-35						欠番
B-36	1400	1550	300×830	VUφ250	300×1080	
B-37						欠番
C-1	1000	1150	300×275	-	VUφ300	
C-4	1000	1150	300×275	VUφ300	VUφ300	

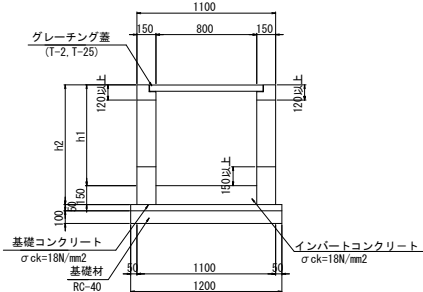
※掘削深が1.5mを超える場合は土留工を布設すること。

800×800×h1

平面図



断面図



寸法表

番号	h1	h2	流入①	流入②	流出	摘要
A-8	900	1050	500×621	300×351	500×625	
A-16	900	1050	500×624	-	500×624	
A-17	950	1100	500×636	300×275	VUφ350	
A-18	900	1050	400×590	-	VUφ350	グレーチング蓋 T-2

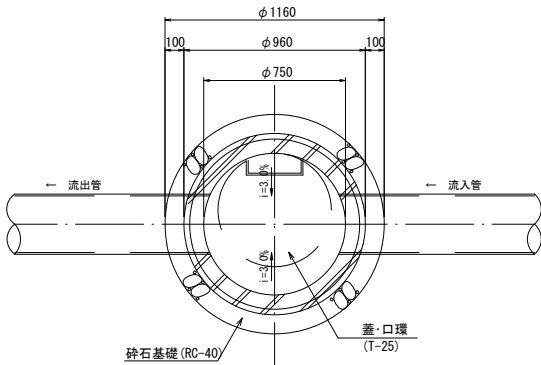
※摘要欄に記載ないものはT-25とする。

※VU管と集水樹の接続部は、突合せとせず
樹の内空面と合わせて設置すること。

※Ooスランプ値S-8とする。

雨水 組立 0号マンホール構造図 S=1/20

平面图

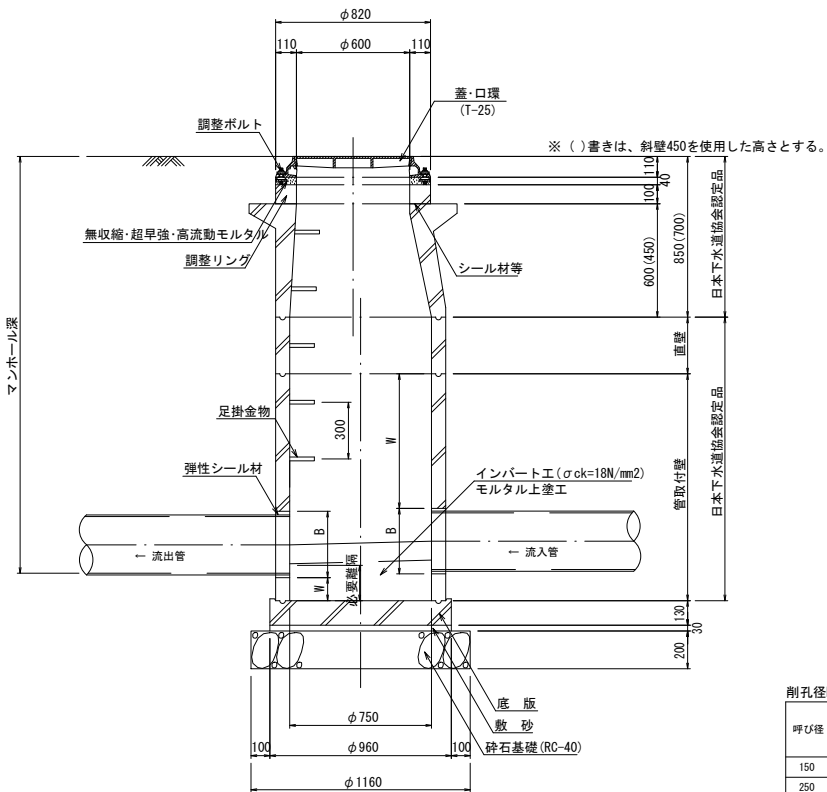


上記の足掛金物の位置は、参考とする。

※ 足掛金物の位置は、下流方向左90度もしくは、
下流方向右90度の位置に設置する事。
又、本管が矩形渠である場合は左90度もしくは、
右90度の位置に設置する事。
製品発注時に再度、足掛金物の位置を確認する事。

側 面 図

(斜壁部)



呼び径	塩ビ管 (VU)	
	外径	孔径
	(mm)	(mm)
150	165	304
250	267	356
350	370	464

最小幅W

削孔径 B	最小幅 W
410mm以下	100
410mmを超え586mm以下	150

※最小幅Wは、各メーカーによって異なるため、
現場で使用される製品は、搬入時に確認する事。

上記表より、必要離隔を算出すると

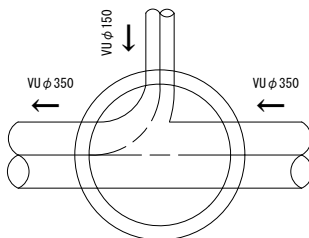
1) 硬質塩化ビニル管VUφ150の場合	$\lceil (304-165) \div 2 \rceil + 100 = 170 \text{ (178)}$
2) 硬質塩化ビニル管VUφ250の場合	$\lceil (356-267) \div 2 \rceil + 100 = 145 \text{ (154)}$
3) 硬質塩化ビニル管VUφ350の場合	$\lceil (464-370) \div 2 \rceil + 150 = 197 \text{ (207)}$

組立0号マンホール組合せ表

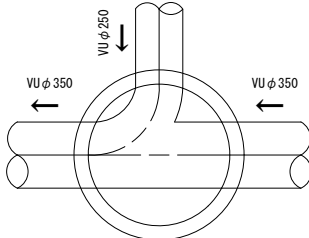
[illegible]

インバート図

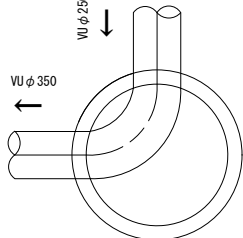
No. 2, No. 4 マンホール部



No. 5 マンホール部



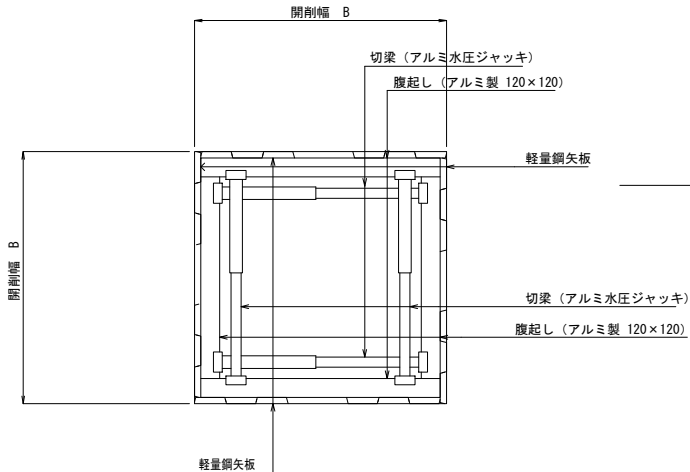
No. 10 マンホール部



マンホール部土留工図

(参 考 图)

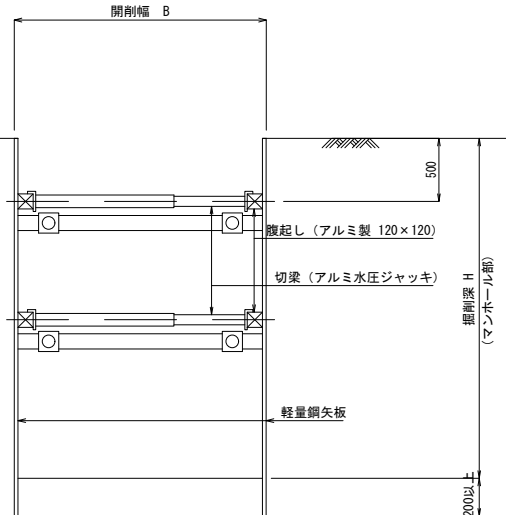
平面图



※掘削幅については以下の通り。

0号組立マンホール → 2000×2000(アルミ製腹起し)
1号組立マンホール → 2000×2000(アルミ製腹起し)

断面図



※支保工の段数については以下の通り。
掘削深1.5mを超え2.0m以下 → 1段
掘削深2.0mを超え3.5m以下 → 2段 とする。

$$S = 1/20$$

Technical drawing of a circular manhole cover assembly. The drawing shows a top-down view of a circular cover with a central square opening. Dimensions are given in millimeters: outer diameter is 1310, inner diameter of the cover is 1110, and the diameter of the central opening is 900. The cover is mounted on a base with four bolts. Labels include "流出管" (outlet pipe) on the left, "流入管" (inlet pipe) on the right, "砂石基礎 (RC-40)" (gravel base) at the bottom left, and "蓋・口環 (I-25)" (cover and ring) at the bottom right.

※ 足掛金物の位置は、下流方向左90度もしくは、
下流方向右90度の位置に設置する事。
又、本管が矩形渠である場合は左90度もしくは、
右90度の位置に設置する事。
製品発注時に再度、足掛金物の位置を確認する事。

組立1号マンホール組合せ表

マホー番号	マホー天端高	流入管底高	流出管底高	建物流入管底高	管勾配	マホー深さ	マホー形式及び最低土被り		マンホール組合高		副管形状		マンホール蓋		マンホール資材										掘削深	土工工		備考									
							土被	形式	組合高②	必要離間③	側壁高①-②+③	管径	高さ	通常型	通常型	リフ及び仕様	床版及び斜壁			管取付壁						床版130	頂版150		経通鋼矢板	軒並金剛鉄支保工							
																	床版スラブ	斜壁	600	900	1200	1500	1800														
																								450							600						
No. 1	45.09	43.250	43.230	43.812	0.20	1.86	1.02	斜壁	0.70	0.207	1.367	組	1	1	1						1	1	2.560	H=3.00m	2段												
No. 3	45.19	43.346	43.326	-	0.20	1.86	1.48	斜壁	0.70	0.207	1.367	組	1	1	1						1	1	2.560	H=3.00m	2段												
No. 6	45.09	43.470	43.450	43.582	0.20	1.64	1.15	斜壁	0.70	0.207	1.147	組	1	1	1						1	1	2.260	H=3.00m	2段												
No. 7	45.09	43.507	43.487	43.582	0.20	1.60	1.15	斜壁	0.70	0.207	1.107	組	1	1	1						1	1	2.260	H=2.50m	2段												
No. 8	45.09	43.540	43.520	43.582	0.20	1.57	1.15	斜壁	0.70	0.207	1.077	組	1	1	1						1	1	2.260	H=2.50m	2段												
No. 9	45.09	43.577	43.557	43.582	0.20	1.53	1.15	斜壁	0.85	0.207	0.887	組	1	1	1						1	1	2.110	H=2.50m	2段												
合計												組	6	6	個	個	個	個	個	個	個	個	個														
												組	6	6	個	個	個	個	個	個	個	個	個														

No. 3 マンホール部

No. 3 マンホール部

No. 6, No. 7, No. 8, No. 9 マンホール部

マンホール蓋

調整ボルト

調整リング

無収縮・超早強・高流動モルタル

足掛金物

弾性シーリング材

流出管

流入管

インパート工 (σ ck=18N/mm²)
モルタル上塗り

マンホール蓋 (T-25)

蓋取付壁

底版

敷砂

砕石基礎 (RC-40)

※ Coスランプ値S-8とする。
※ () 書きは、斜壁450を使用

820

110

φ 600

110

110

100

40

600 (450)

850 (700)

300

W

B

W

130

200

100

φ 900

φ 1110

φ 1310

日本下水建設協会認定品

※ ()書きは、斜壁450を使用した高さとする。

呼び径	塩ビ管 (VU)	
	外径	孔径
	(mm)	(mm)
250	267	356
350	370	464

削孔径 B	最小幅 W
410mm以下	100
410mmを超え644mm以下	150
644mmを超え	200

※最小幅Ⅲは、各メーカーによって異なるため、
現場で使用される製品は、搬入時に確認する事。

上記表より、必要離隔を算出すると

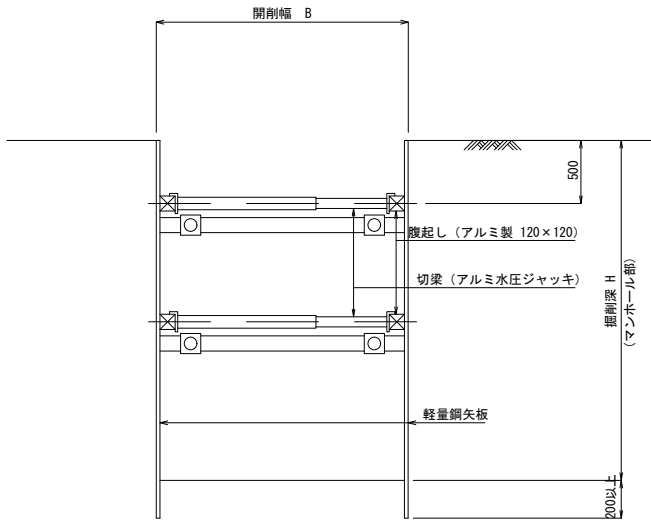
1) 硬質塩化ビニル管VUφ250の場合 $\{(356-267) \div 2\} + 100 = 145$ (154)

2) 硬質塩化ビニル管VUφ350の場合 $\{(464-370) \div 2\} + 150 = 197$ (207)

(参 考 图)

平面图

断面図

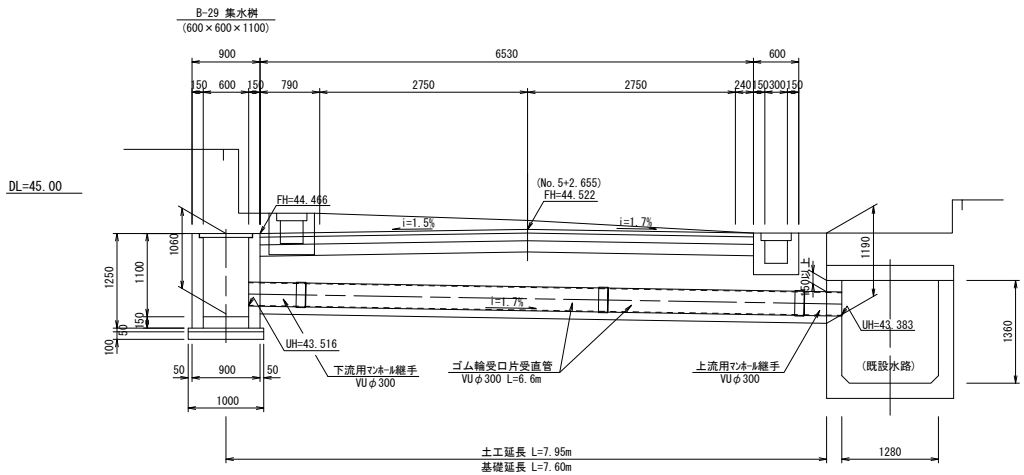


※支保工の段数については以下の通り。
掘削深1.5mを超え2.0m以下 → 1段
掘削深2.0mを超え3.5m以下 → 2段 とする。

※掘削幅については以下の通り。

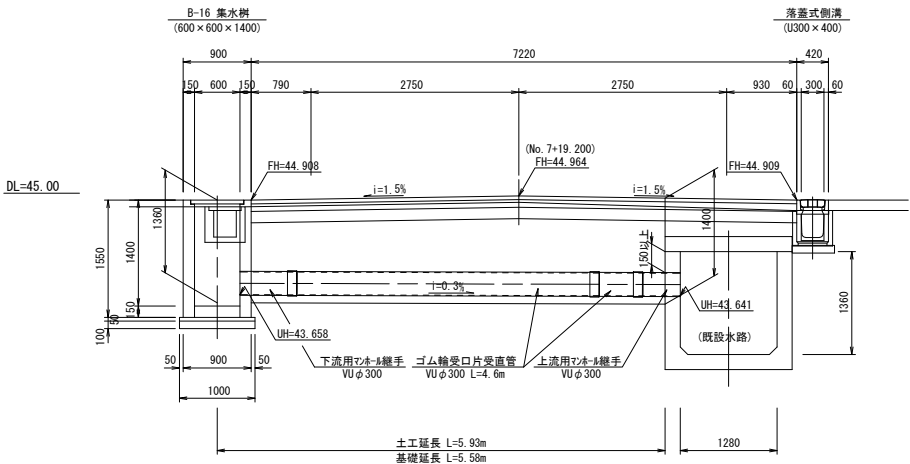
0号組立マンホール	→	2000×2000(アルミ製腹起し)
1号組立マンホール	→	2000×2000(アルミ製腹起し)

1号取付管詳細図 S=1/50



※埋設管の最低土被りはh=0.60m以上とする。

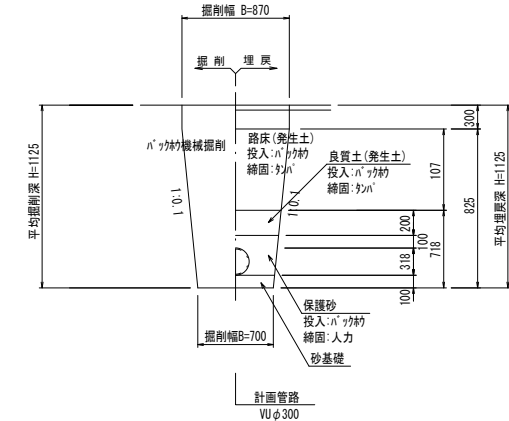
2号取付管詳細図 S=1/50



雨水土工標準図 S=1/30

素掘り

(掘削深 H=1.5m以下の場合)



掘削幅(素掘り)				
管種・管径	D(管外径)	B2(掘削幅)	t(基床厚)	摘要
VUφ300	318	700	100	取付管

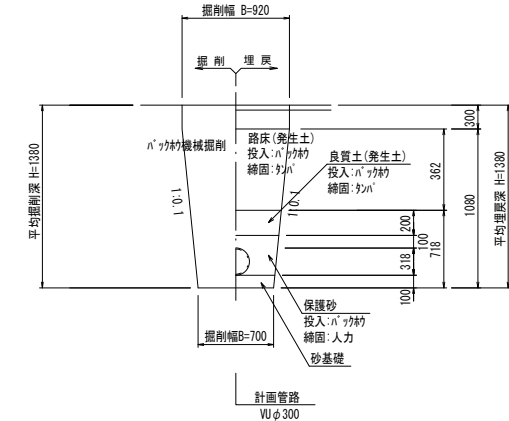
※素掘り区間については、地山が安定しない場合等現場条件の変更が生じた場合には、監督員と別途協議を行うこと。

※掘削時には、簡易覆工板(滑り止め) 1.524×3.048 t=25mmを布設すること。

雨水土工標準図 S=1/30

素掘り

(掘削深 H=1.5m以下の場合)

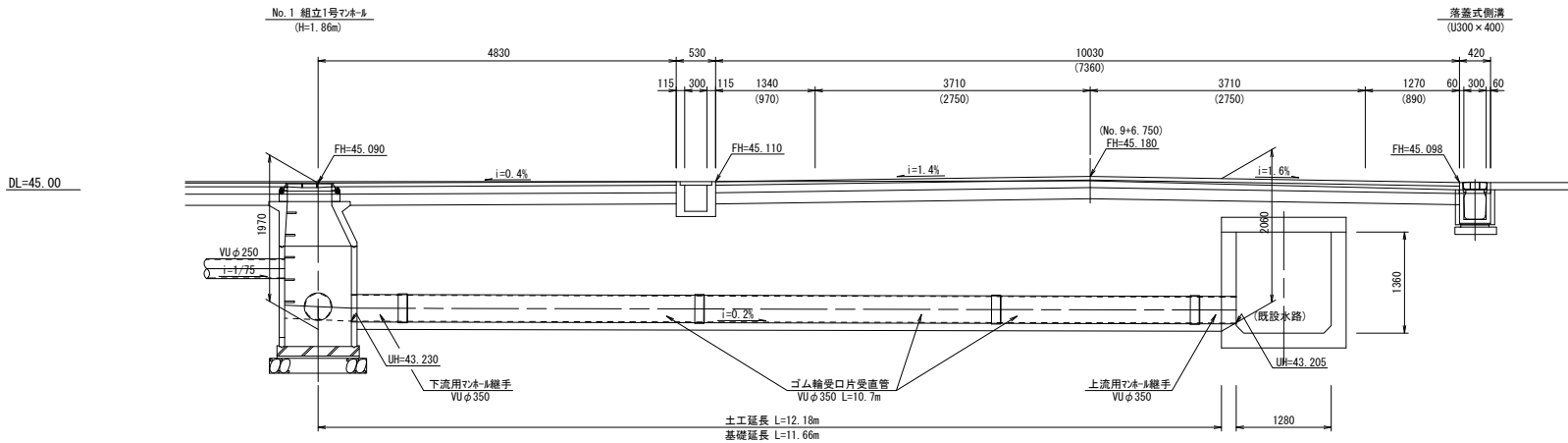


掘削幅(素掘り)				
管種・管径	D(管外径)	B2(掘削幅)	t(基床厚)	摘要
VUφ300	318	700	100	取付管

※素掘り区間については、地山が安定しない場合等現場条件の変更が生じた場合には、監督員と別途協議を行うこと。

※掘削時には、簡易覆工板(滑り止め) 1.524×3.048 t=25mmを布設すること。

3号取付管詳細図 S=1/50



雨水土工標準図

S = 1 / 3 0

管路土留め工標準図

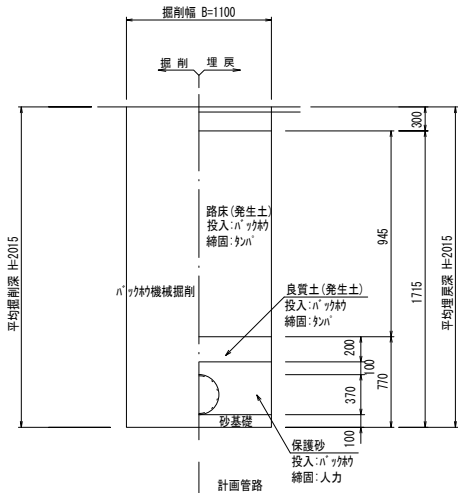
S = 1 / 3 0

土留め工施工手順

(参 考 図)

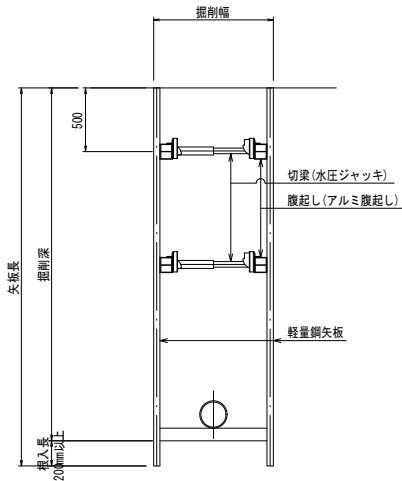
軽量鋼矢板建込工

(掘削深 H=1.5mを超える場合)



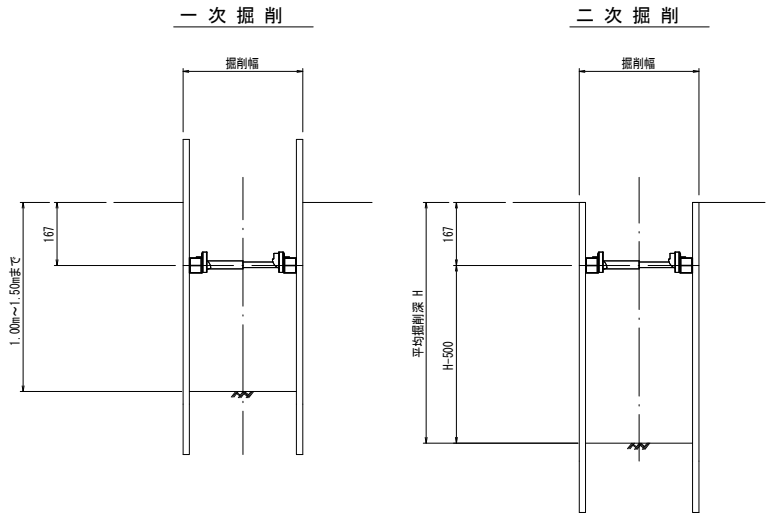
掘削幅(軽量鋼矢板建込工法) (mm)				
管種・管径	D(管外径)	B1(掘削幅)	t(基礎厚)	摘要
VUφ 350	370	1100	100	取付管

※埋戻工の一層仕上げ厚は、20cm以内とする。
※埋戻時の良質土については、75mmふるい通過質量百分率が100%のものとする。
※発生土のCR値は6%以上とする。
※購入土のCR値は20%以上とする。
※掘削時には、簡易覆工板(滑り止め) 1.524×3.048 t=25mmを布設すること。



※支保工の段数については以下の通り。
掘削深1.5mを超え2.0m以下 → 1段
掘削深2.0mを超え3.5m以下 → 2段 とする。

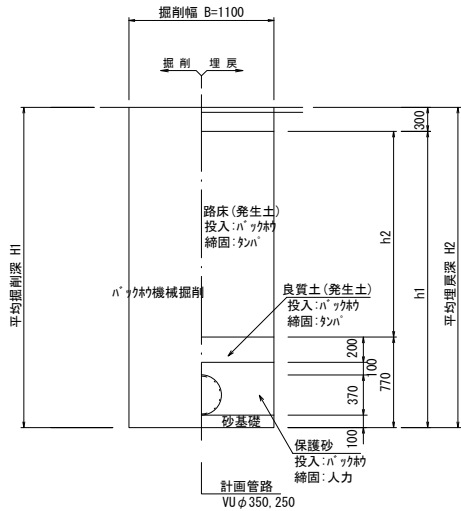
※土留工については、任意仮設とする。



※1次掘削後、支保工を設置し、2次掘削を行う事。

雨水土工標準図 S = 1 / 3 0

軽量鋼矢板建込工
(掘削深 H=1.5mを超える場合)



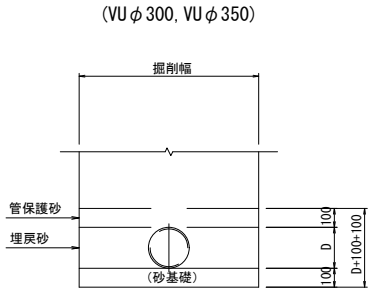
掘削幅(軽量鋼矢板建込工法) (mm)				
管種・管径	D(管外径)	B1(掘削幅)	t(基床厚)	摘要
VUφ 350	370	1100	100	取付管
VUφ 250	267	1000	100	取付管

※埋戻土の一層仕上げ厚は、20cm以内とする。
※埋戻時の良質土については、75mmふるい通過質量百分率が100%のものとする。
※発生土のCBR値は6%以上とする。
※購入土のCBR値は20%以上とする。

土工数量諸元									
マノール 番 号	地盤高	区間距離	管底高	掘削深	平均掘削深	土工			摘要
						軽量鋼矢板	金属支保工		
No. 1	45.09	5.000	43.250	1.95	1.955	H=2.50m	1段		
			43.260	1.96					
No. 2	45.11	24.750	43.280	1.94	1.955	H=2.50m	1段		
			43.326	1.97					
No. 3	45.19	15.842	43.346	1.95	1.885	H=2.50m	1段		
			43.376	1.82					
No. 4	45.09	8.378	43.396	1.80	1.795	H=2.00m	1段		
			43.411	1.79					
No. 5	45.09	10.270	43.431	1.77	1.760	H=2.00m	1段		
			43.450	1.75					
No. 6	45.09	9.575	43.470	1.73	1.720	H=2.00m	1段		
			43.487	1.71					
No. 7	45.09	7.170	43.507	1.70	1.690	H=2.00m	1段		
			43.520	1.68					
No. 8	45.09	9.575	43.540	1.66	1.650	H=2.00m	1段		
			43.557	1.64					
No. 9	45.09	9.756	43.577	1.62	1.610	H=2.00m	1段		VUφ 250
			43.596	1.60					

摘要が空欄箇所はVUφ 350

雨水管布設図 S=1/20



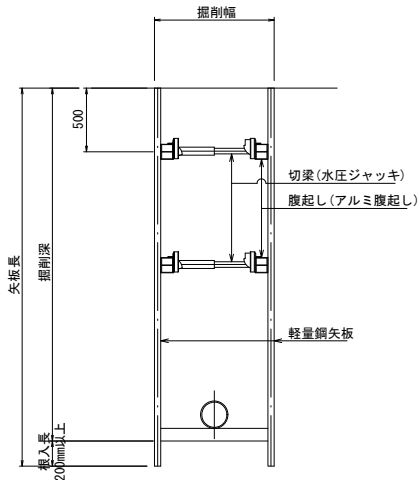
※ Dについては、管外径とする。

管路土留め工標準図 S = 1 / 3 0

(参 考 図)

土留め工施工手順

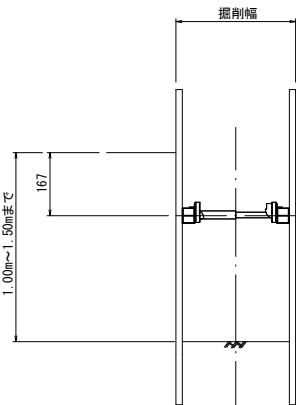
(参 考 図)



※支保工の段数については以下の通り。
掘削深1.5mを超え2.0m以下 → 1段
掘削深2.0mを超え3.5m以下 → 2段 とする。

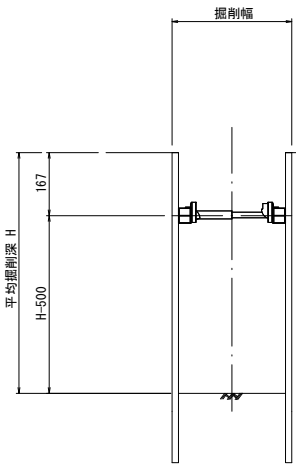
※土留工については、任意仮設とする。

一 次 掘 削



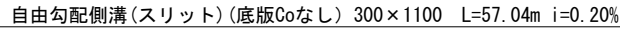
※支保工の段数については以下の通り。
掘削深1.5mを超え2.0m以下 → 1段
掘削深2.0mを超え3.5m以下 → 2段 とする。

二 次 掘 削



※1次掘削後、支保工を設置し、2次掘削を行う事。

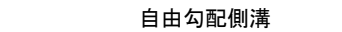
A系統・B系統(建物周り：正面)

$$A1:H=1:100$$


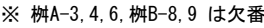
※ 柵B-20, 22, 25, 35, 37 は欠番

A系統・B系統(建物周り：南東)

A1:H=1:100
M=1:25

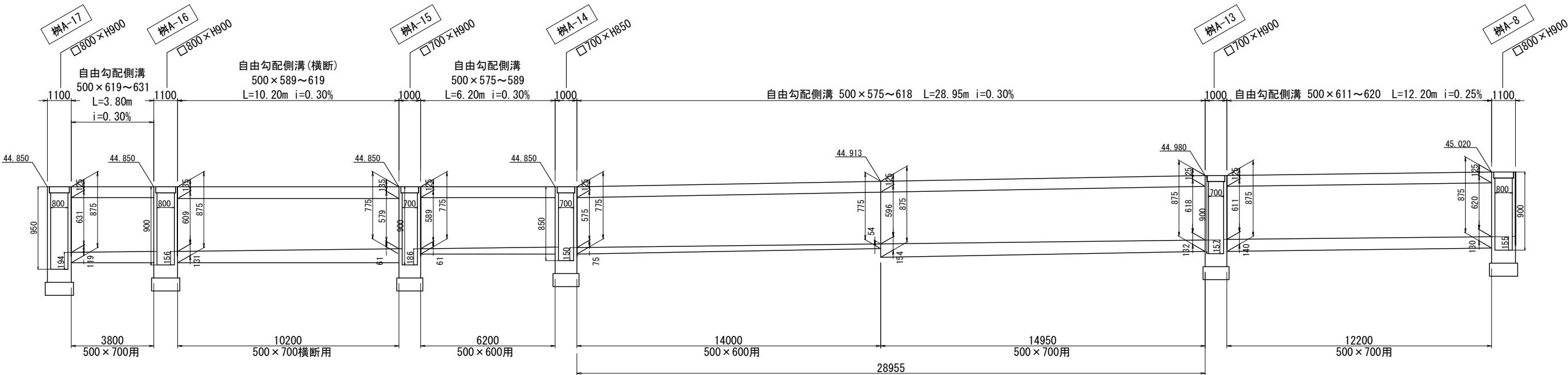
DL=45.0DL=44.0

※ 枡B-12, 13, 15 は欠番



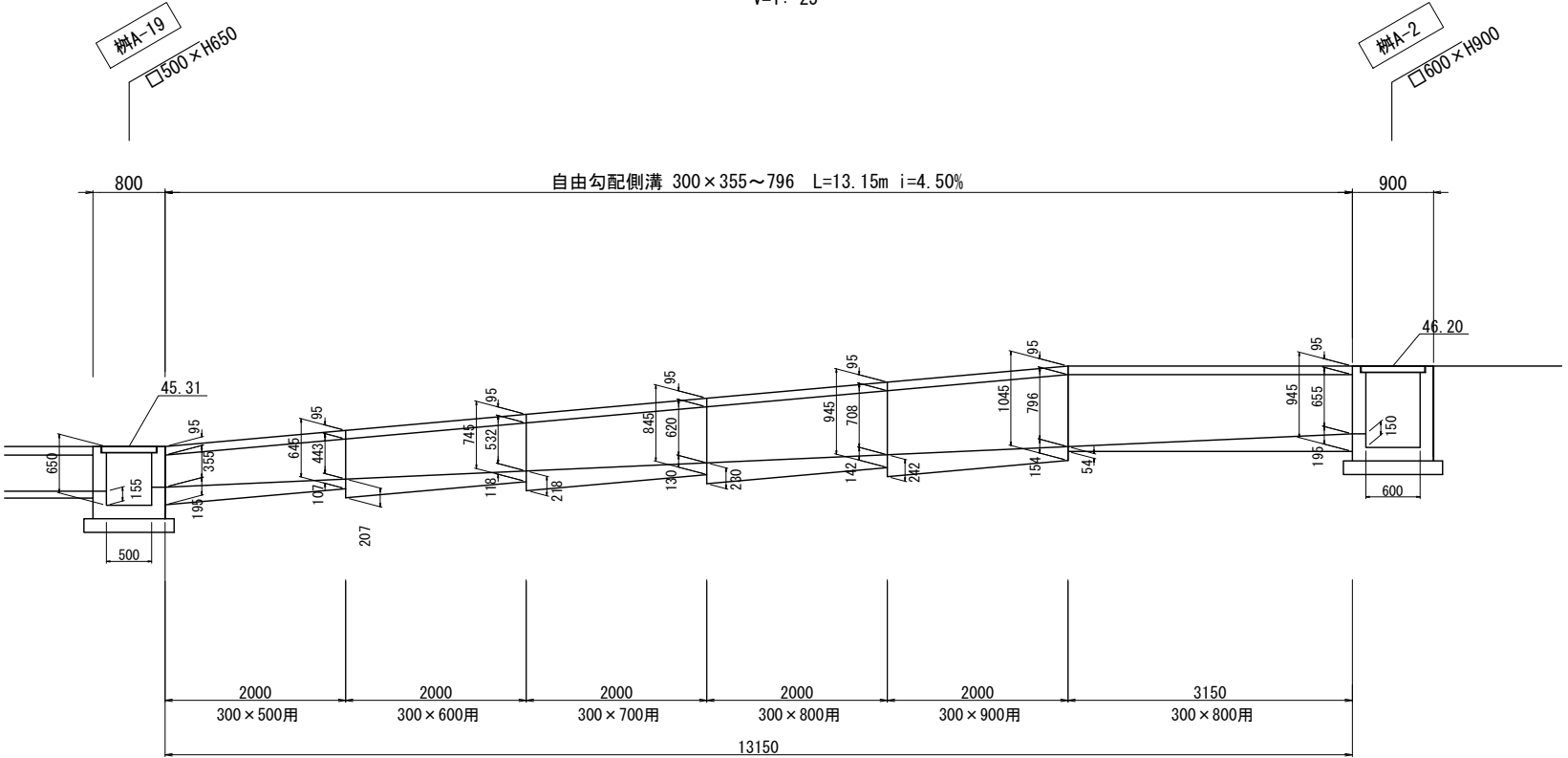
自由勾配側溝
A系統（駐車場南西側）

A1:H=1:100
V=1: 25

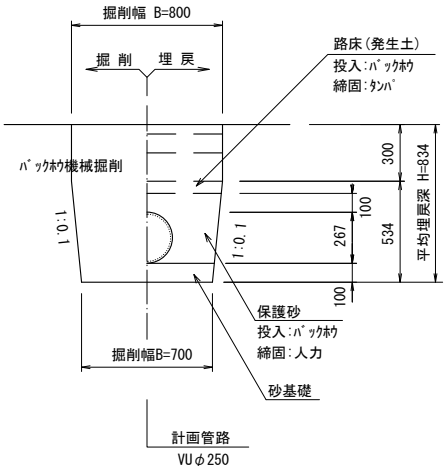


自由勾配側溝
A系統（駐車場南東側）

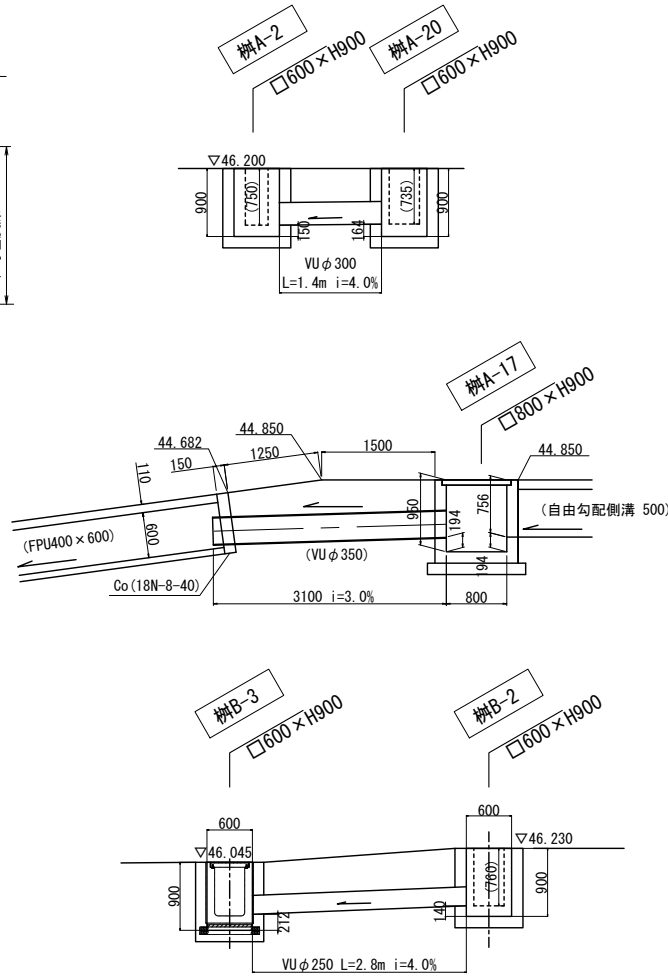
A1:H=1:100
V=1: 25



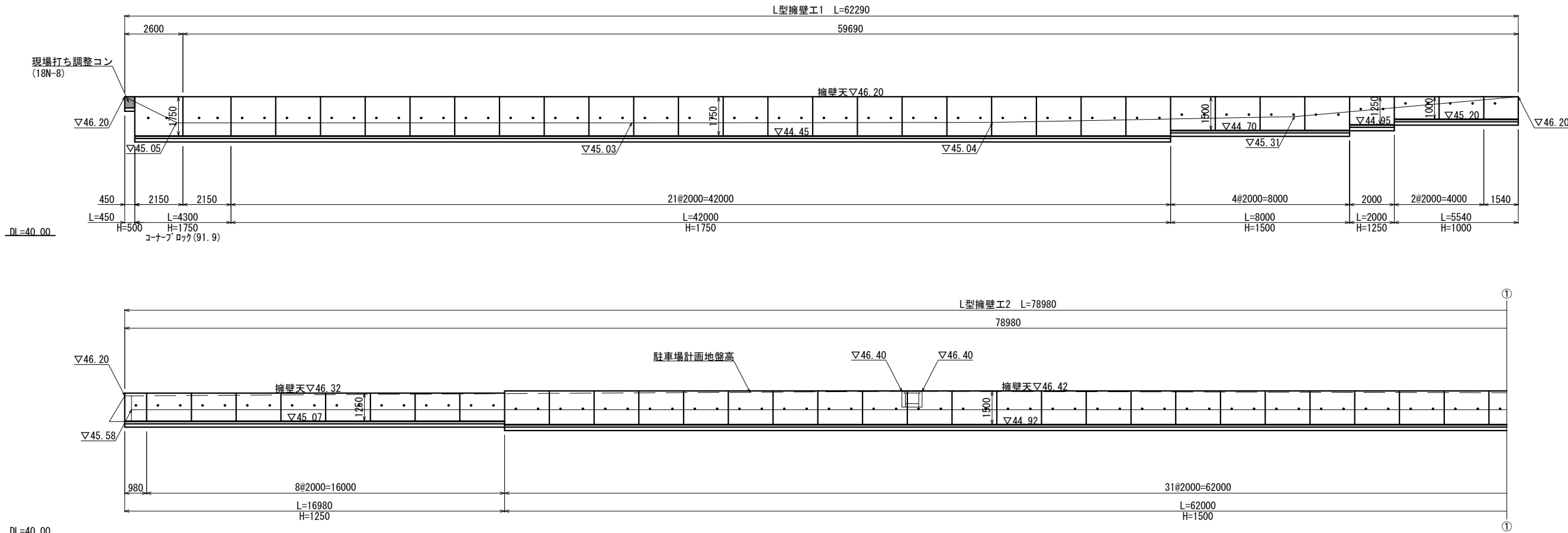
雨水管布設図 S=1:20
(VUφ250)



樹接続管 S=1:50

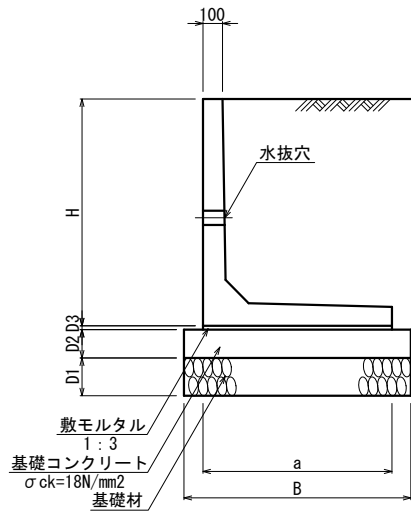


L型擁壁展開図
S=1:100



L型擁壁構造図

H-1000～H-1750

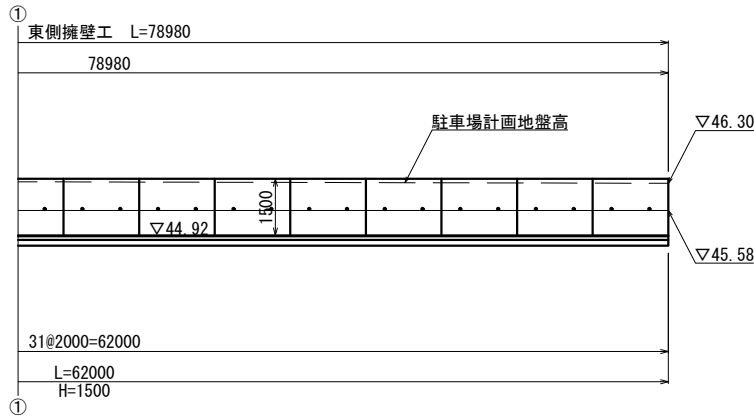


仕上：FCC(フッ素樹脂カラークリアー)とします。
基礎Coおよび現場打ち調整CoともFc=18N/mm2、S-8とします。

寸法及び数量表

呼 び 名	H	a	L	B	D1	D2	D3	敷モルタル (m3)	基礎コン (m3)	基礎型枠 (m2)	基礎材 (m2)	必要地耐力 (kN/m2)
H-1000	1000	840	2000	940	150	100	20	0.17	0.94	2.00	9.40	46
H-1250	1250	1000		1100				0.20	1.10		11.00	57
H-1500	1500	1150		1250				0.23	1.25		12.50	67
H-1750	1750	1300		1500				0.26	1.50		15.00	77

※擁壁施工時に必要地耐力が確保できることを確認すること

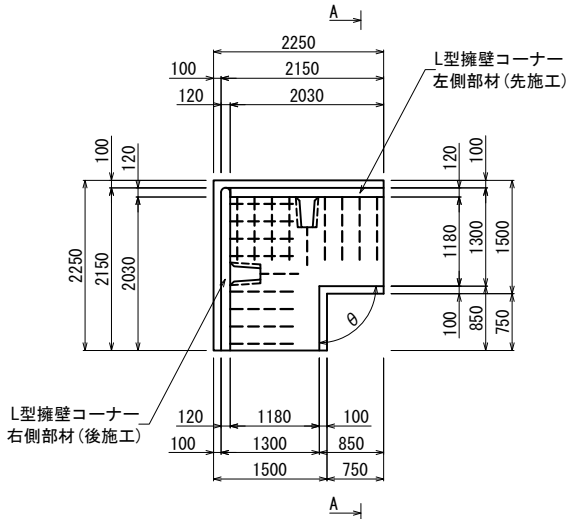


底版形状图·配筋图 S=1:50

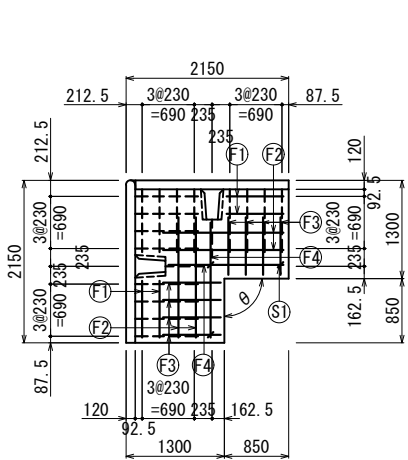
S=1 : 50

H-1750 ($90^\circ \leq \theta < 95^\circ$)

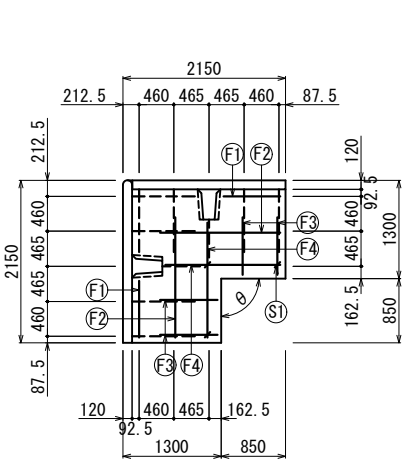
平面图



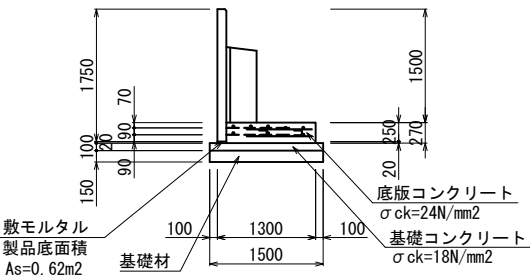
底版上側配筋図



底版下側配筋図



A-A 断面图

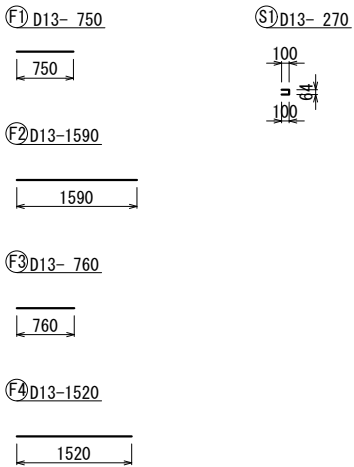


数量表

名 称	規 格	算 定 式	単位	数量
基礎材	t=150mm	$(2.250+0.750) \times 1.500 \times 1/2 \times 2$	m2	4.50
基礎コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	$(2.250+0.750) \times 1.500 \times 1/2 \times 0.100 \times 2$	m3	0.45
同上型枠		$(2.250+0.750) \times 0.100 \times 2$	m2	0.60
底版コンクリート	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$	$(2.030+0.850) \times 1.180 \times 1/2 \times 0.270 \times 2$	m3	0.92
同上型枠		$(1.180+0.850) \times 0.270 \times 2$	m2	1.10
敷モルタル		0.62×0.02	m3	0.01
鉄筋量	SD345	配筋表より	kg	29.9
左側部材	L=2150mm		個	1
右側部材	L=2150mm		個	1

仕上：FCC(フッ素樹脂カラークリアー)とします。
コンクリートスランプ値は、基礎コンクリート:S-8、底版コンクリート:S-12とします。

鉄筋加工図



※ 製品の鉄筋と現場打ち鉄筋との重ね継手は最低 460 mm とする。

配筋表

	徑 mm	長 さ mm	本 数 本	單位重量 kg/m	重 量 kg	形 狀	備 考
㊦	D13	750	6	0.995	4.5	—	
㊧	D13	1590	6	0.995	9.5	—	
㊨	D13	760	12	0.995	9.1	—	
㊩	D13	1520	4	0.995	6.0	—	
㊪	D13	270	3	0.995	0.8	ㄣ	幅止筋
鉄筋重量 29.9 kg							

重力式擁壁工1

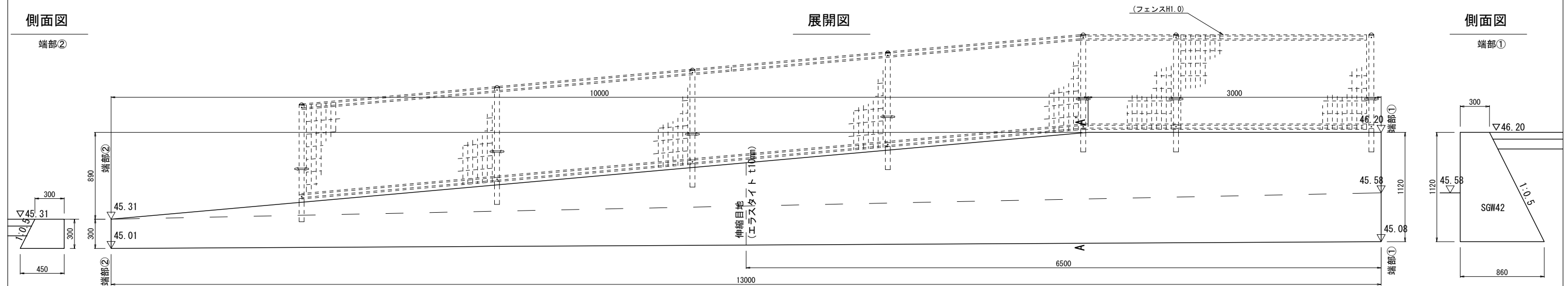
側面図

端部②

展開図

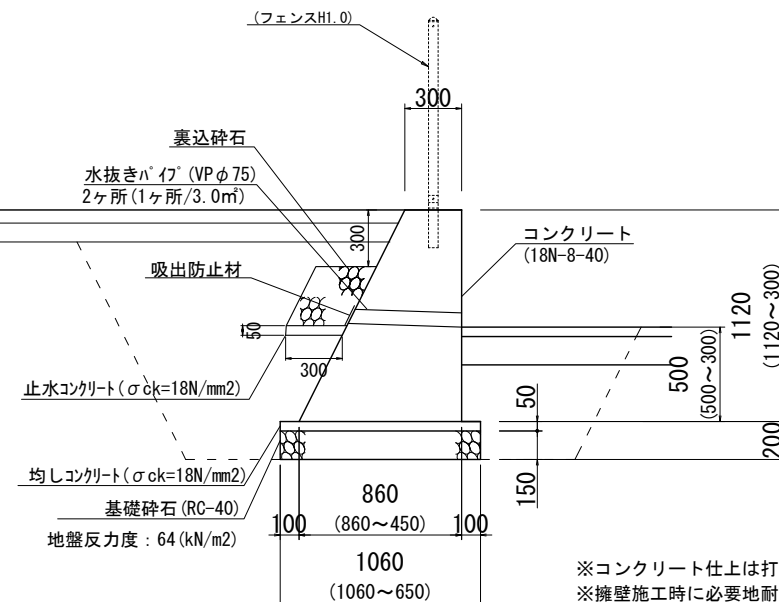
側面図

端部①



標準断面図

A1=1:20
A3=1:40



※コンクリート仕上は打放+FGC(フッ素樹脂カラークリアー)とする。
※擁壁施工時に必要地耐力が確保できることを確認すること

	型枠 (m ²)		
	勾配	斜長比	
正面	1:0.5	1.118	11.81m ²
背面	1:0.0	1.000	10.56m ²
端部①	-	-	0.65m ²
端部②	-	-	0.11m ²
			23.13m ²

コンクリート (m3)			
	延長	断面積	コンクリート
端部①	3.0m	0.65㎡	1.95 m³
AA' 断面	10.0m	0.65㎡	3.80 m³
端部②		0.11㎡	5.75 m³
基礎・均しCo			11.86㎡

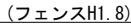
原題	完成図作成 (委託者名) 日付 監理技術者 担当者	完成図承認 日付 監理者 担当者	法定合建築士 構造設計一級建築士 山田 和生 証交付番号 第11279号 本図(仕様書)に記載された事項は、 建築関係規定に適合することを確認した。	法定合建築士 設備設計一級建築士 証交付番号 本図(仕様書)に記載された事項は、 設備関係規定に適合することを確認した。	製作日 2025.03.31 ファイル名	代表設計者 一級建築士 大臣登録第280701号 西 重隆 日付 2025.03.31	設計者 一級建築士 大臣登録第365367号 三田 知希	担当者 一級建築士 大臣登録第376383号 中川 達也	業者名称 (仮称) 福岡町総合体育館新築工事 図面名称 重力式構壁工1	業者契約コード 108557-02 縮尺 A1:1/20 A3:1/40	図面番号 A-159	管理建築士 一級建築士 大臣登録第280701号 西重隆
----	---------------------------------------	---------------------------	--	--	----------------------------	--	---------------------------------------	---------------------------------------	--	--	---------------	---------------------------------------

重力式擁壁工2

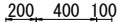
平面图



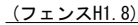
展開区



端部②



A1=1:25
A3=1:50

型棒 (m2)

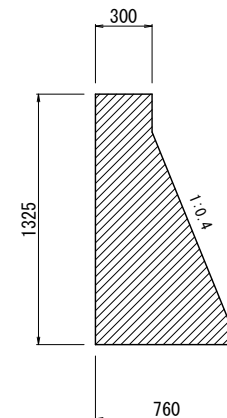
コンクリート (m3)



※擁壁施工時に必要地耐力が確保できることを確認すること

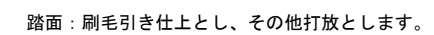
A1=1:20
A3=1:40

袖板寸法図

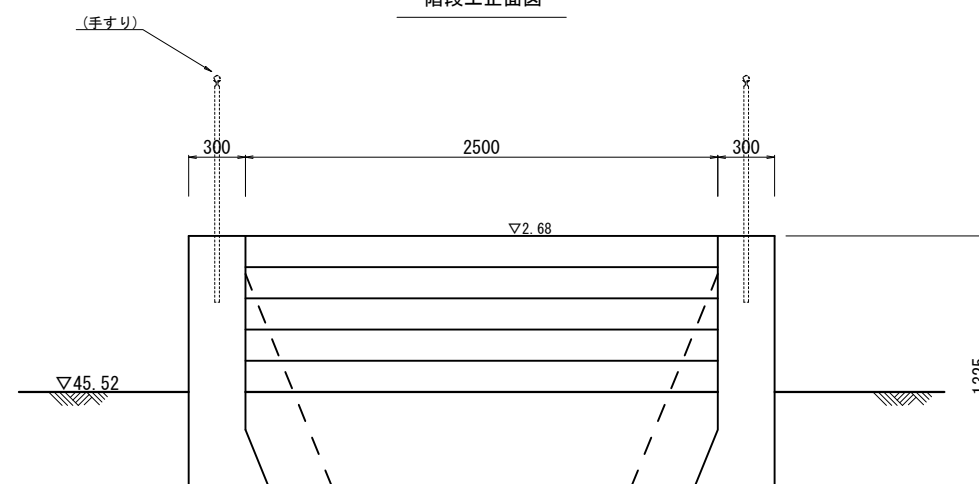


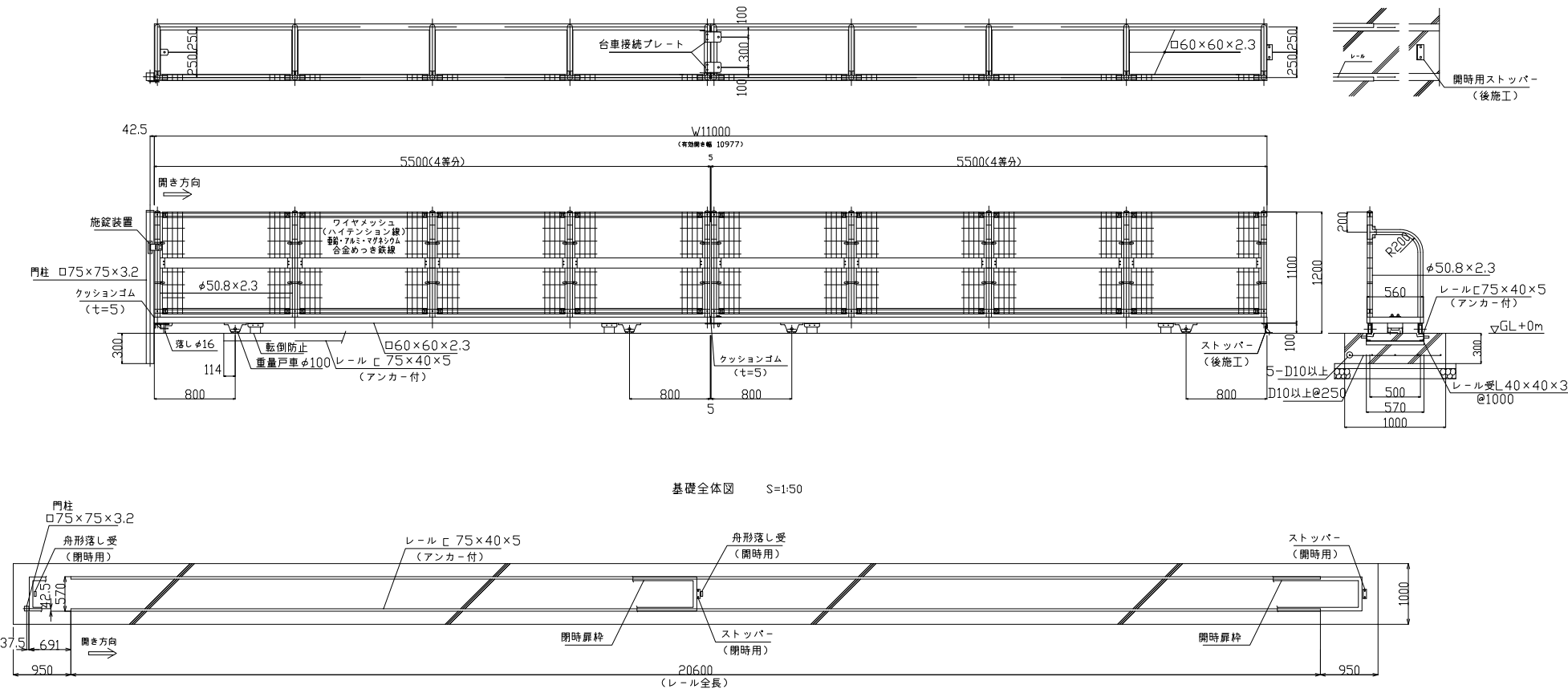
1基(片側)当り		コンクリート(m3)	
	延長	断面積	コンクリート
端部①	1.5m	0.17㎡	0.61 ㎡
AA' 断面	1.0m	0.65㎡	0.65 ㎡
端部②		0.65㎡	
			1.26 ㎡
基礎・均しCo			2.31㎡

A1=1:25
A3=1:50

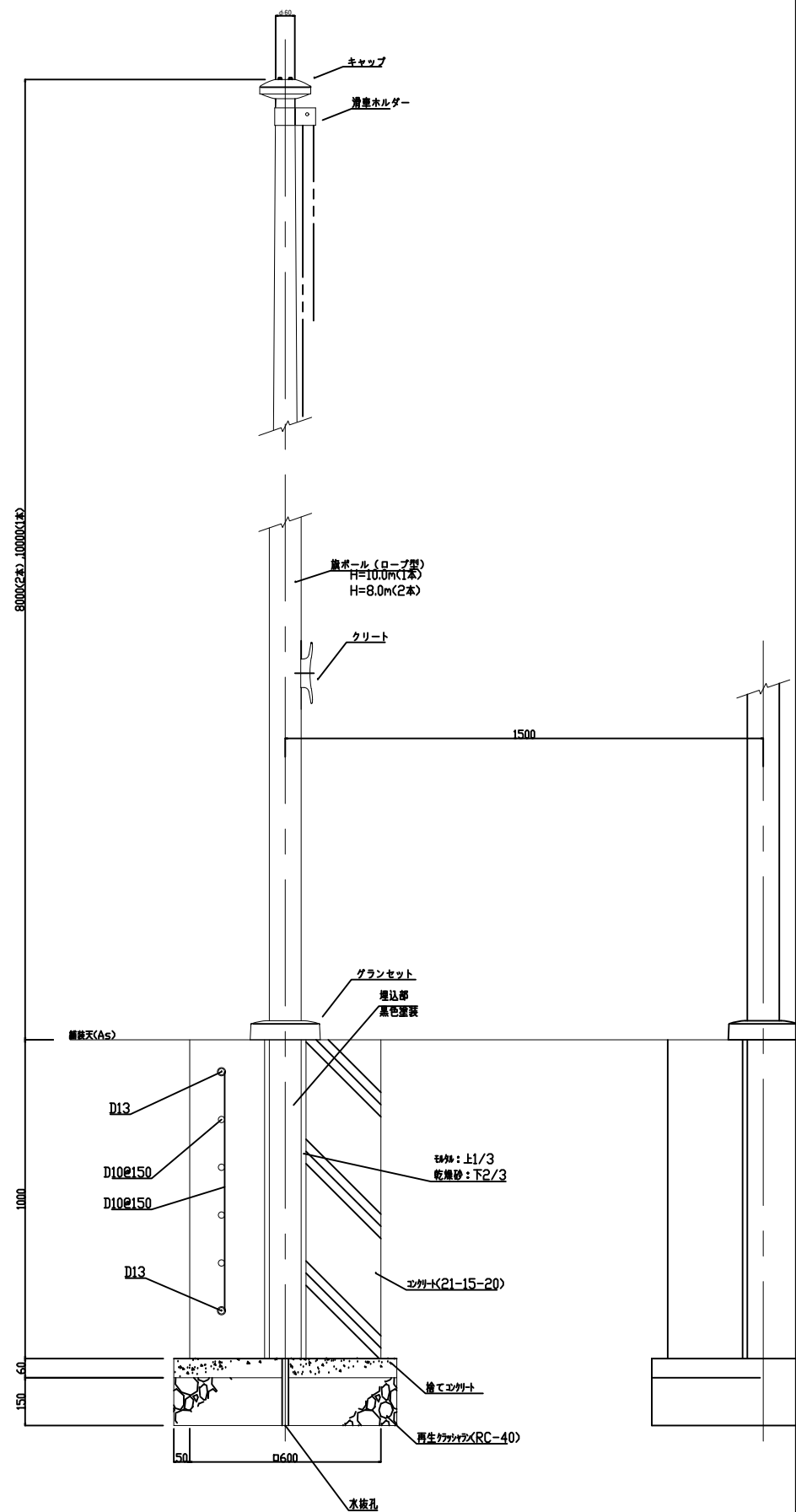


階段工正面図





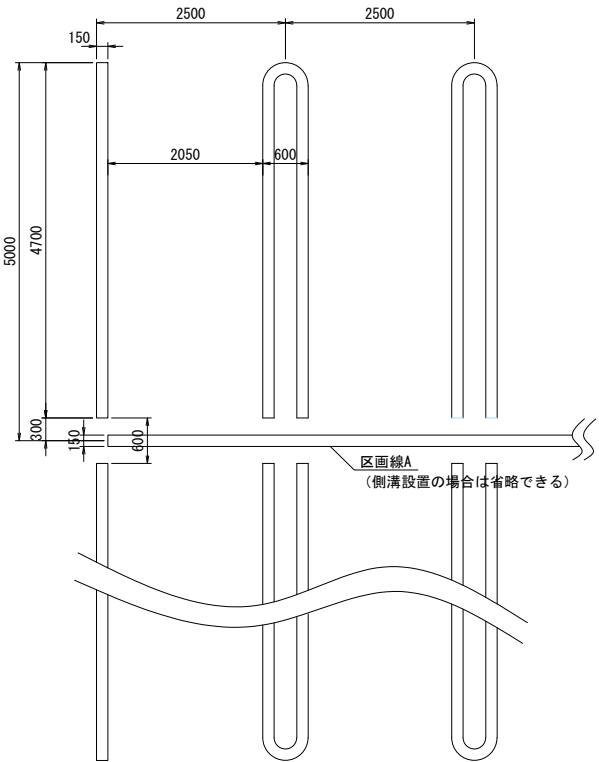
指示なき基礎コンクリートは強度 18N/mm^2 ,スランプ値S-8とする。



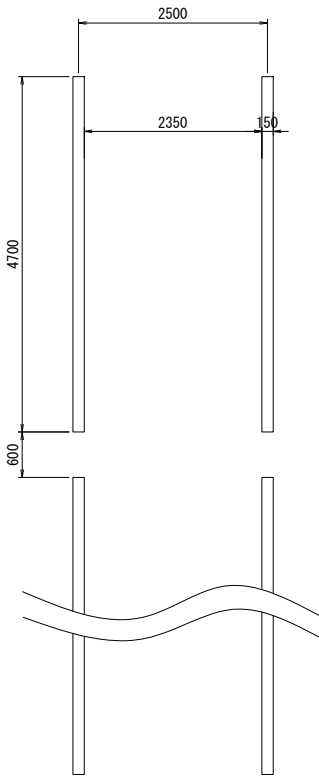
指示なき基礎コンクリートは強度 18N/mm^2 ,スランプ値S-8とする。

白線詳細図1

一般車 区画平面図1



一般車 区画平面図2

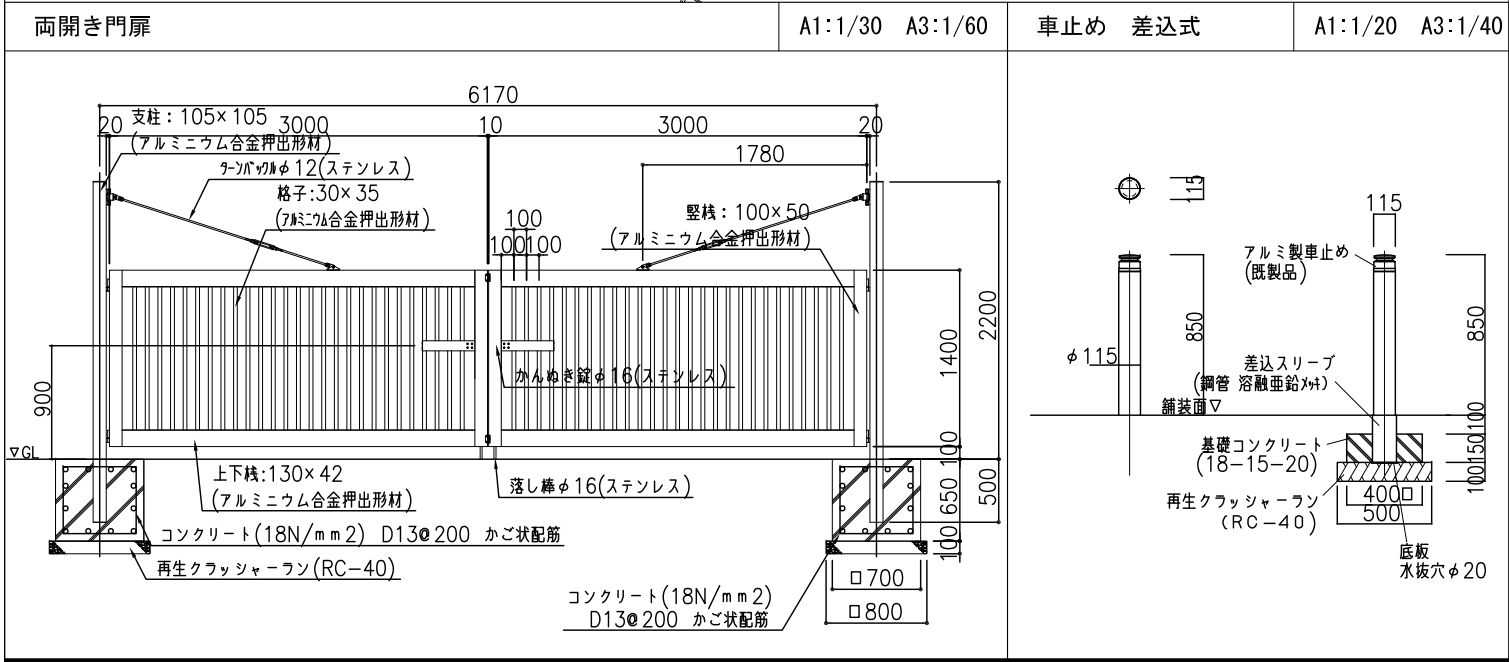
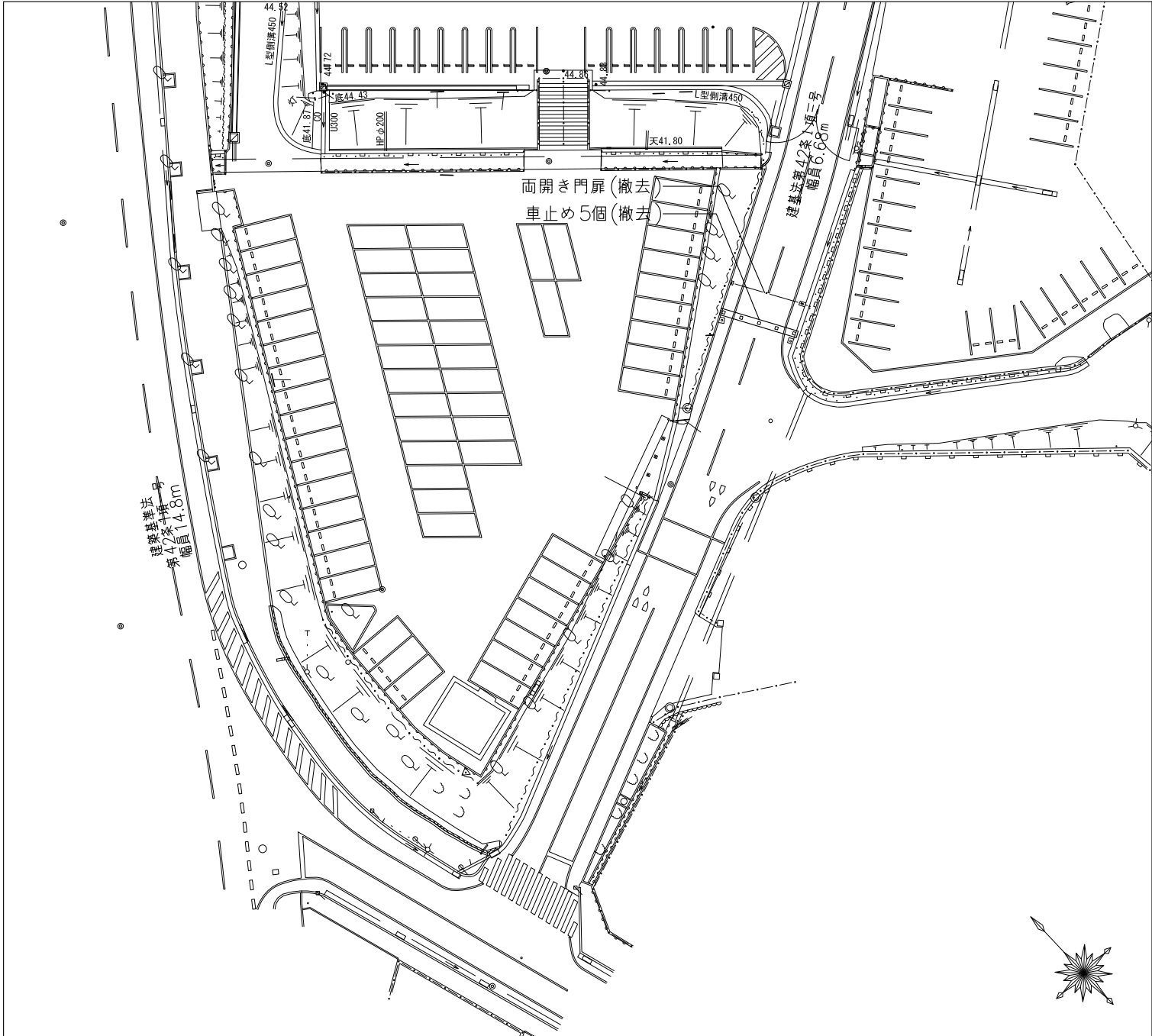


1	一般車A	2	一般車B	3	一般車C	4	一般車D	5	一般車E
W:150 S:1.43m ² 延長換算:L=9.53m 150ヶ所		W:150 S:1.37m ² 延長換算:L=9.13m 該当なし		W:150 S:1.53m ² 延長換算:L=10.20m 4ヶ所		19ヶ所		1ヶ所	

6	身障者駐車場	7	車道中央線A	9	区画線	11	文字（大型）
1台あたり ゼブラ W:150 S:3.67m² 延長換算:L=24.47m 身障者標示 W:150 S:0.77m² 延長換算:L= 5.13m S:4.44m² 延長換算:L=29.60m 4.44×3台=13.32m² 延長換算:L=88.8m		延長換算:L=95.0m (=5.0m×19)		区画線A 87.8m ×3ヶ所 区画線B 42.6m ×1ヶ所 区画線C 43.2m ×1ヶ所 区画線D 13.0m ×7ヶ所 区画線E 該当なし 区画線F 該当なし 区画線G 6.6m ×1ヶ所 区画線H 6.9m ×1ヶ所		W:150 S:2.32m² 延長換算:L=15.5m (×6ヶ所)	
8		車道中央線B		10		車道外側線	
34.0m (=4.0m×8+2.0m) 30.0m (=4.0m×7+2.0m) 12.0m (=4.0m×3)		車道外側線A 206.3m ×1ヶ所 車道外側線B 26.5m ×1ヶ所 車道外側線C 85.6m ×1ヶ所 車道外側線D 89.7m ×1ヶ所 車道外側線E 45.4m ×1ヶ所		W:150 S:1.35m² 延長換算:L=9.00m (×8ヶ所)		W:450 18本	
14		横断歩道B					
W:450 27本							

白線詳細図2

15	停止線A	17	ゼブラ表示A	18	ゼブラ表示B	19	ゼブラ表示C
3000 450 W: 450 8本		5400 450 1000 150 3130 R4500 W: 150 S: 4. 80m2 延長換算: L=32. 0m		9650 450 1000 150 1760 R1000 R2500 W: 150 S: 4. 29m2 延長換算: L=28. 6m		7650 7220 420 150 6480 1690 R1650 1000 450 2770 5400 8170 W: 150 S: 6. 71m2 延長換算: L=44. 7m	
16	停止線B					20	ゼブラ表示D
2850 450 W: 450 6本						14820 13820 1000 150 6760 2440 150 4430 1000 450 R4000 W: 150 S: 9. 28m2 延長換算: L=61. 7m	
		21	オートバイ置き場			23	停止線C
		8000 1000 100 2300 W: 100 S: 3. 60m2 延長換算: L=36. 0m		2630 450 W: 450 1本		25	立体表示
						500 1040 530 510 450 600 色: 黄, 青, 白 1箇所あたり: 3ヶ × 2箇所 (積水樹脂 (株) ソリッドシート マウンテンタイプS 同等品)	
		22	駐輪場			24	車道中央線C
		2400 600 100 600 100 520 1900 W: 100 S: 3. 80m2 延長換算: L=38. 0m		L 150 車道中央線C L=29. 9m × 1ヶ所			



 石本建築事務所 ISHIMOTO architectural & engineering firm, inc.	履歴 ----- ----- ----- ver.20221201	完成図作成 (受注者名)	完成図承認	法適合確認 構造設計一級建築士 山田 和生 証交付番号 第 11279号 本図(仕様書)に記載された事項は、設 計関係規定に適合することを確認した。 構造設計一級建築士 証交付番号	法適合確認 設備設計一級建築士 証交付番号 本図(仕様書)に記載された事項は、設 計関係規定に適合することを確認した。 設備設計一級建築士 証交付番号	製作日	代表設計者	設計者	担当者	業務名称	業務契約コード	図面番号	管理建築士
		日付	日付			2025.03.31	一級建築士 大臣登録第280701号 西 重隆	一級建築士 大臣登録第365367号 三田井 知希	一級建築士 大臣登録第376383号 中川 達也	(仮称) 福岡市総合体育館新築工事	108557-02		
		監理技術者	監理者			ファイル名	日付	2025.03.31		図面名称 外構解体図	縮尺 A1:S=1/300 A3:S=1/600		一級建築士 大臣登録第280701号 西重隆